

令和元年度

業 務 年 報

令和 2 年 3 月

鳥 取 県 病 害 虫 防 除 所

目 次

I 病虫害防除所の概要

1 組織・業務体制の変遷	1
2 業務内容	2
3 組織・人員	
(1) 職員	2
(2) 病虫害発生状況調査員	3
(3) 病虫害防除所および関係機関の体制	4

II 病虫害発生予察事業

1 事業の目的	5
2 事業実施方針	5
3 対象病虫害の種類	5
4 発生予察情報の種類と用語の使用法	7
5 令和元年度に発表した情報	
(1) 発表状況	9
(2) 内 容	
ア 警 報	10
イ 注意報	10
ウ 特殊報	18
エ 発生予報	22
オ 指導情報	24
カ ホームページのアクセス件数、更新回数	26
(3) 情報の発送先とその伝達手段	27
(4) 情報発信の流れ図	28
6 普通作物病虫害の発生予察調査結果	
(1) 主な普通作物病虫害の発生程度別面積	29
(2) 主な病虫害の発生概要と発生原因の解析	31
(3) 調査の概要と結果	
ア イ ネ	35
イ ムギ類 (二条オオムギ)	55
ウ ダイズ	58

7 果樹病害虫の発生予察調査結果	
（１）主な果樹病害虫の発生程度別面積	63
（２）主な病害虫の発生概要と発生原因の解析	64
（３）調査の概要と結果	
ア ナ シ	66
イ ブドウ	80
ウ カ キ	82

8 野菜病害虫の発生予察調査結果	
（１）主な野菜病害虫の発生程度別面積	85
（２）主な病害虫の発生概要と発生原因の解析	87
（３）調査の概要と結果	
ア スイカ	93
イ キャベツ	95
ウ ブロッコリー	98
エ ネ ギ	101
オ イチゴ	105
カ ナガイモ	106
キ ラッキョウ	106
ク サトイモ	107
ケ トマト	107

Ⅲ ミバエ類等侵入警戒調査事業	108
-----------------	-----

付表 平成31年・令和元年半旬別気象表

1 鳥取市（鳥取地方気象台）	109
2 北栄町（園芸試験場）	111

本業務年報中の表における注意事項	113
------------------	-----

I 病虫害防除所の概要

1 組織・業務体制の変遷

- ・昭和 16 年： 昭和 15 年の北日本のいもち病、西日本のウンカによる被害を発端として、普通作物病虫害発生予察事業を全国で開始
- ・昭和 25 年： 植物防疫法制定
- ・昭和 26 年： 植物防疫法の一部改正
 - ・指定病虫害、指定外病虫害を規定
- ・昭和 27 年： 植物防疫法に基づき病虫害発生予察事業開始
県下 8 か所（鳥取、岩美、気高、八頭、東伯、西伯、米子、日野）に病虫害防除所設置
- ・昭和 40 年： 果樹等病虫害発生予察事業開始
普通作物病虫害発生予察事業実施要綱の制定
 - ・県予察員、地区予察員の設置
- ・昭和 41 年： 県下 5 か所（鳥取、八頭、倉吉、米子、日野）に病虫害防除所を統合
- ・昭和 51 年： 県下 3 か所（鳥取、倉吉、米子）に病虫害防除所専任職員配置
（昭和 49 年の斑点米カメムシ類被害により発生予察体制の強化）
- ・昭和 55 年： 野菜病虫害発生予察事業開始
- ・昭和 60 年： 植物防疫法一部改正により、指定病虫害発生予察事業補助金の一部交付金化
 - ・病虫害防除所の設置形態、名称、事業内容の規定
 - ・発生予察情報の提供責任者を原則として病虫害防除所に規定
（水稻病虫害に係る警報については、都道府県主管部長に限る）
 - 植物防疫事業実施要項及び同運用の制定
 - 植物防疫推進事業実施要領及び同運用の制定
 - ・県予察員、地区予察員の名称区分廃止
- ・昭和 61 年： 鳥取市橋本に病虫害防除所を統合し、鳥取県病虫害防除所が発足
- ・平成 4 年： 県農業共済組合連合会からの依頼に基づき、県農業共済組合職員 25 人を病虫害防除員に委嘱
- ・平成 9 年： 植物防疫情報総合ネットワーク（J P P-N E T）の本格稼働により
J P P-N E T へ予察データの送信開始
アメダスデータ（気温、降水量、日照時間、風速）利用による、水稻いもち病発生予察システム（B L A S T A M）の稼働開始
- ・平成 10 年： 花き病虫害発生予察事業開始

- ・平成 12 年： 病虫害防除所のホームページを開設
- ・平成 15 年： 植物防疫法の一部改正
植物防疫事業交付金の一部を一般財源化
食品安全基本法の制定
農林水産省消費・安全局の設置
農薬取り締まり業務を県農林水産部から県生活環境部へ移管
- ・平成 16 年： 病虫害防除所のインターネット利用者に対する予報情報のメール配信の開始
- ・平成 20 年： 鳥取県農林総合研究所農業試験場内に、病虫害防除所を設置。
農業試験場・園芸試験場環境研究室の研究員が兼務する体制となる。
- ・平成 23 年： 病虫害防除員を休止
- ・平成 26 年： 農林総合研究所の廃止による再編に伴い、再び農業試験場内に病虫害防除所を設置(農業試験場・園芸試験場環境研究室の研究員が兼務する体制は継続)。

2 業務内容

- (1) 発生予察事業に関する事務
- (2) 植物の検疫に関する事務
- (3) 防除についての企画に関する事務
- (4) その他防除に関し必要な事務
- (5) 農薬の使用等に関する助言、指導、その他の援助

3 組織・人員

(1) 職 員

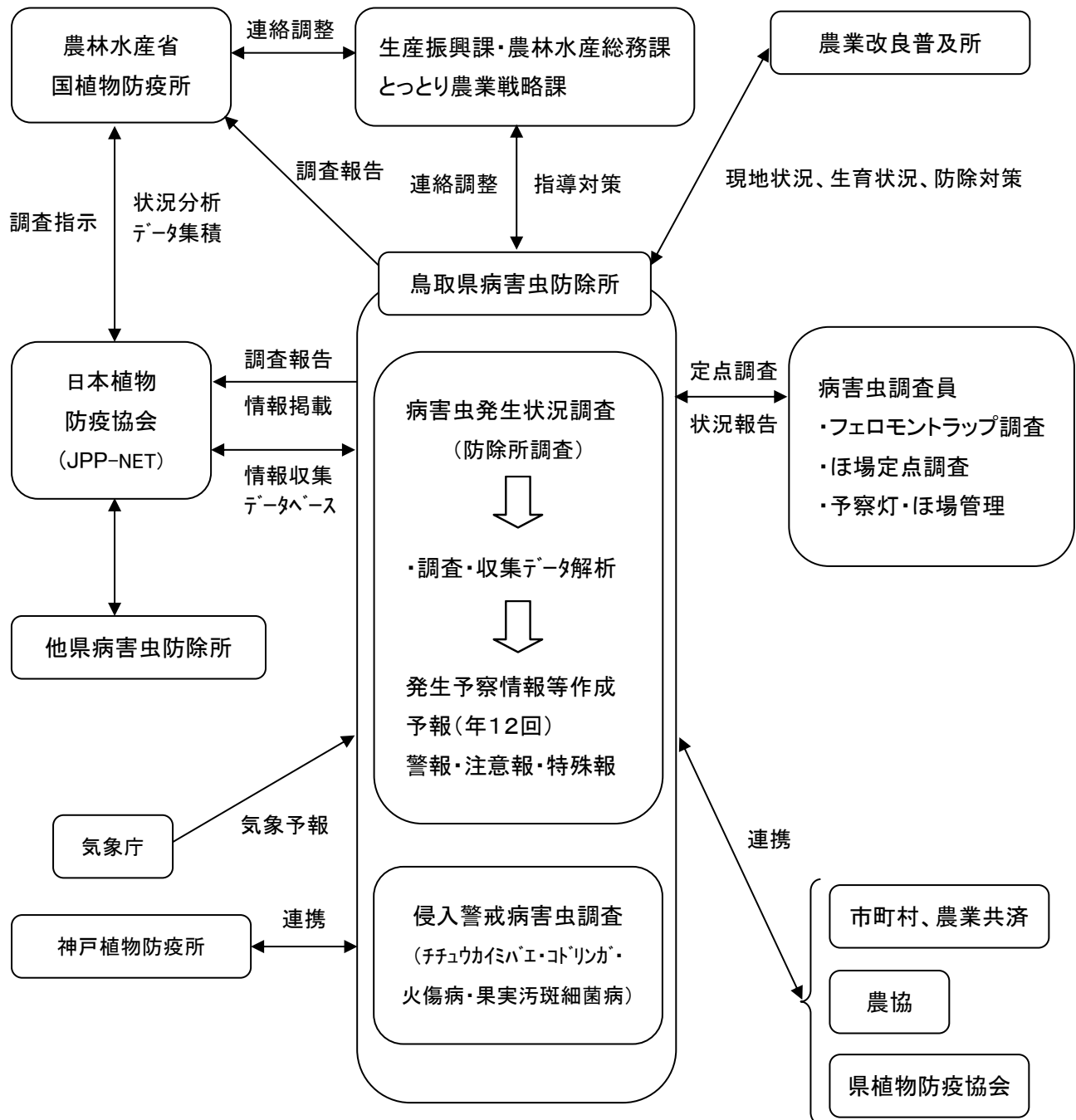
職 名	氏 名	担 当 作 物
所 長 補 長 佐	米 山 肇	本務：農業試験場
課 長 補 佐	前 田 浩 一	本務：〃
〃	長 谷 川 優 健	本務：〃
〃	中 田 健	本務：園芸試験場
係 長	香 河 良 行	普通作物（本務：農業試験場）
〃	奥 谷 恭 代	普通作物（本務：〃）
〃	田 中 陽 子	野菜（本務：園芸試験場）
農 林 技 師	宇 山 啓 太	普通作物（本務：農業試験場）
〃	小 椋 真 実	普通作物（本務：〃）
〃	山 田 高 之	果樹（本務：園芸試験場）
〃	古 井 佑 樹	果樹（本務：〃）
〃	松 村 和 洋	野菜（本務：〃）
〃	岩 田 侑 香 里	野菜（本務：〃）

(2) 病虫害発生状況調査ほ調査員

防除所職員でカバーしきれない調査、予察灯管理等について、補完的業務を行うために設置。調査ならびに調査ほの管理については調査員が行う。

区 分	調 査 地 点	対 象 病 害 虫	備 考
普通作	岩美郡岩美町牧谷	イネ害虫	予察灯設置
	東伯郡琴浦町光好	〃	〃
	西伯郡日吉津村富吉	〃	〃
	東伯郡北栄町大谷	ニカメイガ（イネ）	フェロモントラップ調査
	東伯郡琴浦町下大江	斑点米カメムシ類（イネ）	〃
	鳥取市河原町和奈見	ハスモンヨトウ（ダイズ）	〃
果 樹	八頭郡八頭町池田	ナシ病害虫	観察・フェロモントラップ調査
	東伯郡湯梨浜町北福	〃	〃
	鳥取市福部町湯山	ナシ害虫	フェロモントラップ調査
	八頭郡八頭町花原	〃	予察灯設置
	東伯郡湯梨浜町別所	〃	〃
野 菜 ・ 花 き	倉吉市下米積	コナガ（キャベツ）	フェロモントラップ調査
	西伯郡大山町下甲	ハスモンヨトウ、コナガ（ブロッコリー）	〃
	倉吉市沢谷	イチゴ病害虫	観察
	東伯郡湯梨浜町橋津	〃	〃
	東伯郡湯梨浜町はわい長瀬	〃	〃
	米子市夜見町	シロイチモジヨトウ（ネギ）	フェロモントラップ調査

(3) 病虫害防除所および関係機関の体制



Ⅱ 病虫害発生予察事業

1 事業の目的

農業生産の安定を確保し、生産物の品質を向上させるためには農作物の有害動植物の防除を適期に経済的に行う必要がある。そのため、有害動植物の繁殖、気象、農作物の生育状況などを調査して、その発育と損害を予察し、これに基づく情報を関係者に広く提供し、効率的な防除に資するとともに、農作物の有害動植物による損害を未然に防止することを目的とする。

2 事業実施方針

発生予察実施要綱並びに要領に基づき普通作物、果樹、野菜、花卉の発生予察に必要な基礎調査と発生状況の把握を行い、的確な予察情報の提供に務める。

3 対象病虫害の種類

(1) 植物防疫法における指定有害動植物等の根拠規定

ア. 指定有害動植物（指定病虫害）

植物防疫法第22条の規定に基づく病虫害

（鳥取県の該当は農作物12作目、対象病虫害60種類）

イ. 指定有害動植物以外の有害動植物（重要病虫害）

植物防疫法第31条の規定に基づく病虫害

（鳥取県の該当は農作物12作目、対象病虫害52種類）

(2) 対象病虫害一覧表

区 分	対象作物	指 定 病 害 虫	重 要 病 害 虫
普通作物	イ ネ	いもち病、紋枯病、ばか苗病、縞葉枯病、もみ枯細菌病、ニカメイガ、ツマグロヨコバイ、ヒメトビウンカ、フタオビコヤガ、コブノメイガ、トビイロウンカ、セジロウンカ、斑点米カメムシ類、イネミズゾウムシ	ごま葉枯病、苗立枯病、心枯線虫病、イチモンジセセリ
	ム ギ	うどんこ病、赤かび病	黒穂病、斑葉病、黒節病、網斑病
	ダイズ	吸実性カメムシ類、ハスモンヨトウ	紫斑病、モザイク病、子実害虫類（シロイチモジマダラメイガ、マメシנקイガ）

区 分	対象作物	指 定 病 害 虫	重 要 病 害 虫
果 樹	ナ シ	黒斑病、黒星病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、カメムシ類、ハダニ類、アブラムシ類	赤星病、うどんこ病、輪紋病、ニセナシサビダニ、コナカイガラムシ類（クワコナカイガラムシ、マツモトコナカイガラムシ）
	カ キ	炭疽病、カキノヘタムシガ、アザミウマ類、カイガラムシ類、カメムシ類、ハマキムシ類	うどんこ病、灰色かび病、樹幹害虫（ヒメコスカシバ、フタモンマダラメイガ）
	ブドウ	灰色かび病、晩腐病、べと病	黒とう病、チャノキイロアザミウマ、ハマキムシ類
野 菜	スイカ	アブラムシ類	つる枯病、炭疽病、疫病、うどんこ病、菌核病、ハダニ類（カンザワハダニ、ナミハダニ）
	キャベツ	黒腐病、菌核病、ヨトウガ、シロイチモジヨトウ、コナガ、アブラムシ類、ハスモンヨトウ	軟腐病、べと病、黒斑細菌病、モンシロチョウ、タマナギンウワバ
	ブロッコリー	コナガ、ハスモンヨトウ、ヨトウガ、シロイチモジヨトウ	軟腐病、黒腐病、べと病、黒すす病、アブラムシ類、モンシロチョウ、タマナギンウワバ
	ネ ギ	黒斑病、さび病、べと病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、アザミウマ類、シロイチモジヨトウ	萎縮病、軟腐病、白絹病、萎ちよう病、ネギハモグリバエ
	イチゴ	炭疽病、うどんこ病、灰色かび病、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、ハダニ類	
	ナガイモ	シロイチモジヨトウ	炭疽病、ナガイモコガ、カンザワハダニ
	ラッキョウ		白色疫病、灰色かび病、ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ

4 発生予察情報の種類と用語の使用法

(1) 根拠法令等

ア. 発生予察情報の種類

植物防疫事業の運用について（平成18年4月7日17消安第12412号）

イ. 用語の基準とその使用法

発生予察事業の調査実施基準（病虫害発生予察資料8 病虫害発生予察事業の実施について 平成13年3月 農林水産省生産局植物防疫課発行）

(2) 発生予察情報の種類

ア. **発生予報**：有害動植物の発生予想を定期的に発表するものとする。発表の時期及び回数については、農作物、有害動植物の性質等の考慮のうえ、防除に有効に利用されるよう定めるものとする。記載事項は、有害動植物名、有害動植物の発生時期、発生面積、発生程度、発生地域及びそれらの平年比、前年比、予報の根拠の概要、防除上注意すべき事項（防除の要否、回数、防除時期、使用薬剤等）、その他必要な事項とする。

イ. **警報**：重要な有害動植物が大発生することが予想され、かつ早急に防除措置を講ずる必要が認められる場合に発表するものとする。記載事項は、有害動植物名、発生の予想される地域及び時期、発生程度、防除時期及び防除法、その他必要な事項とする。

ウ. **注意報**：警報を発表するほどではないが、重要な有害動植物が多発することが予想され、かつ早目に防除措置を講ずる必要が認められる場合に発表するものとする。記載事項は、有害動植物名、発生の予想される地域及び時期、発生程度、防除時期及び防除法、その他必要な事項とする。

エ. **特殊報**：新規に有害動植物を発見した場合、重要な有害動植物の生態及び発生消長に特異な現象が認められた場合に速やかに発表するものとする。記載にあたっては、その内容により問題の重要性、意義等につき解説を加えるよう配慮するものとする。

(3) 用語の定義とその使用法

ア. **発生面積**：発生の認められるほ場の面積をいう。ただし、ここでいう発生とは、病害の場合には農作物に肉眼で認められる病徴の出現した状態のことをいい、害虫の場合にはほ場に生息している状態のことをいう。

イ. **発生量**：発生の程度と広がり両面を加味したものをいい、数値で（例えば、単位面積当たりの虫数）、又は（4）のイの（イ）のように表現する。

(4) 用語の基準とその使用法

ア. 平年値

(ア) 気象上の観測値

気象庁では過去 30 年の観測値の平滑平年値をとっているため、これに準ずる。
30 年の資料がない場合には、全観測値の平均を平年値とする。

(イ) 病害虫の発生時期、発生量、発生面積

原則として、過去 10 か年の平均とする。

(ウ) 農作物の生育時期

原則として、過去 5 か年の平均とする。

イ. 平年値との比較

(ア) 時 期

平 年 並	平年値を中心として前後 2 日以内。
やや早い	平年値より 3～5 日早い。
やや遅い	平年値より 3～5 日遅い。
早 い	平年値より 6 日以上早い。
遅 い	平年値より 6 日以上遅い。

(イ) 量（発生量、発生面積及び被害量等）

平 年 並	平年値を中心にして40%の度数の入る幅
やや多い	平年並の外側20%の度数の入る幅
やや少ない	同 上
多 い	上記三者の外側10%の度数の入る幅
少 な い	同 上

ウ. 半旬のとり方

半旬については、暦日半旬を用いるものとする。

エ. 発生程度別基準

発生程度は、甚、多、中、少、無の 5 段階に分ける。この基準は各論で病害虫ごとに定める。

5 令和元年度に発表した情報

(1) 発表状況

種 類	発表回数	対 象 病 害 虫 及 び 回 数
警 報	発表なし	
注意報	3回	[果樹全般] カメムシ類 [イネ] 斑点米カメムシ類、トビイロウンカ
特殊報	2回	[トルコギキョウ] トルコギキョウ斑点病 [ネギ] ネギハモグリバエ
予 報	12回	[イネ] 葉いもち3回、穂いもち3回、紋枯病3回、苗立枯病2回、 ばか苗病3回、イネシンガレセンチュウ2回、縞葉枯病(ヒメトビ ウンカ)3回、斑点米カメムシ類3回、イネミズゾウムシ3回、セ ジロウンカ2回、トビイロウンカ2回、コブノメイガ1回、フタ オビコヤガ2回 [オオムギ] 赤かび病1回、うどんこ病1回、網斑病1回 [ダイズ] 紫斑病2回、カメムシ類2回、ハスモンヨトウ3回 [ナシ] 黒斑病8回、黒星病8回、赤星病2回、輪紋病2回、ハダニ 類7回、カメムシ類3回、クワコナカイガラムシ2回、アブラム シ類2回、ニセナシサビダニ1回、シンクイムシ類5回 [カキ] 落葉病1回、炭疽病4回、うどんこ病1回、灰色かび病 1回、カキノヘタムシガ2回、樹幹害虫(ヒメコスカシバ・フタ モンマダラメイガ)2回 [ブドウ] ベと病4回、灰色かび病1回、チャノキイロアザミウマ 2回、ハマキムシ類2回 [果樹共通] カメムシ類6回 [ネギ] さび病4回、黒斑病5回、軟腐病2回、ベと病5回、白絹病 2回、ネギハモグリバエ5回、ネギアザミウマ5回、シロイチモ ジヨトウ2回、ネギハモグリバエ・ネギアザミウマ1回 [ネギ・ナガイモ] シロイチモジヨトウ2回 [スイカ] つる枯病2回、うどんこ病3回、菌核病2回、褐色腐敗病 ・疫病1回、つる枯病・炭疽病2回、アブラムシ類3回、ハダニ 類3回 [スイカ・メロン] アブラムシ類2回、ハダニ類1回 [ナガイモ] 炭疽病3回、ナガイモコガ2回、ハダニ類2回、シロイ チモジヨトウ1回 [ラッキョウ] 灰色かび病1回、白色疫病2回 [イチゴ] うどんこ病3回、灰色かび病1回、炭疽病2回、アブラム シ類2回、ハダニ類2回 [キャベツ・ブロッコリー・イチゴ] ハスモンヨトウ2回 [キャベツ・ブロッコリー] 軟腐病2回、黒腐病2回、ベと病2回、 黒すす病2回、コナガ2回、ヨトウムシ1回、ハスモンヨトウ 2回、アブラムシ類2回 [ブロッコリー] コナガ1回

種 類	発表回数	対 象 病 害 虫 及 び 回 数
指導情報	86回	病虫害発生予察指導情報 [イネ] いもち病6回、いもち病・もみ枯細菌病1回、斑点米カメムシ類4回、トビイロウンカ2回 [ナシ] 黒斑病5回、黒星病4回、ニセナシサビダニ5回、ハダニ類2回、カメムシ類1回、クワコナカイガラムシ2回、アブラムシ類1回、黒斑病胞子飛散情報14回、黒星病飛散情報15回 [カキ] フジコナカイガラムシ1回 [果樹全般] 果樹カメムシ類16回、クサギカメムシ1回 [ブロッコリー] 黒すす病2回、べと病・黒すす病1回 [ネギ] べと病1回 [トマト] 葉かび病1回 [果樹・野菜] 長雨・台風等により注意が必要な病害1回

(2) 内 容

ア. 警 報

発表なし

イ. 注意報

令和元年度病虫害発生予察注意報第1号（令和元年7月11日）

注意報の概要

7月上旬現在、カメムシ類の発生量が多く、果樹全般において果実被害の発生が懸念される。今後、7月中下旬頃から果樹園への飛来量が増加すると予想されるため、防除を徹底する必要がある。

病虫害名：果樹カメムシ類

- 1 対象作物 果樹全般
- 2 発生地域 県下全域
- 3 発生時期 平 年 並
- 4 発 生 量 多 い

5 注意報発令の根拠

- (1) カメムシ類の予察灯及び集合フェロモントラップにおける調査では、越冬世代成虫の発生量となる6月下旬までの総誘殺数がチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシともに平年を上回っている（表1、2）。
- (2) 向こう1か月の気象予報（7月4日発表）から、今後、カメムシ類の活動に好適な条件になると予想される。
- (3) 6月下旬現在、果樹園におけるカメムシ類の多飛来は確認していないが、カメムシ類の越冬世代成虫の発生量はやや多いと見込まれることから、第1世代成虫が発生する7月中下旬以降に、果樹園への飛来量が増加すると予想される。

6 防除上注意すべき事項

- (1) カメムシ類の被害や飛来状況は、ほ場間差が大きいいため、園内外をこまめに見回り、早期発見に努め、被害果実やカメムシ類の発生が多い場合は早急に防除を行う（ネオニコチノイド系又は合成ピレスロイド系殺虫剤のいずれかを選択）。特に、過去が多発年に早期に被害を受けた地域では注意する。
- (2) 果樹園への飛来量が増加する時期は、例年、第1世代成虫が発生する7月中下旬頃であるが、多発生年において、7月上旬頃から果樹園への飛来量が増加した事例があるので注意する。
- (3) 防除は、カメムシ類が飛来する夕方か早朝が効果的である。ただし、薬剤が乾きにくい気象条件では薬害が発生しやすいため夕方散布を実施しない。また、カメムシ類は移動性が高いため、広域的な防除に努める。
- (4) 合成ピレスロイド系殺虫剤の多用が、カイガラムシ類及びハダニ類の発生を助長した事例があるので、必要最小限の使用にとどめる。
- (5) 各樹種の防除薬剤は表3を参考とする。また、農薬の使用基準を遵守するとともに、使用上の注意事項を守る。

表1 予察灯における果樹カメムシ類の総誘殺数（4月上旬～6月下旬）

調査地点	チャバネアオカメムシ		クサギカメムシ		ツヤアオカメムシ	
	令和元年	平年	令和元年	平年	令和元年	平年
八頭町	<u>977</u>	305.0	73	84.6	<u>279</u>	154.2
鳥取市河原町	<u>749</u>	169.7	<u>26</u>	20.7	<u>232</u>	103.0
湯梨浜町	<u>556</u>	189.8	9	12.2	<u>318</u>	125.9
北栄町	<u>345</u>	205.3	6	9.7	<u>496</u>	187.9

平年：平成21～30年の平均値、下線部は平年を上回る誘殺数を示す。

表2 集合フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの総誘殺数（4月上旬～6月下旬）

調査地点	令和元年	平年
八頭町	<u>363</u>	137.7
北栄町	<u>261</u>	112.7



チャバネアオカメムシ成虫



クサギカメムシ成虫

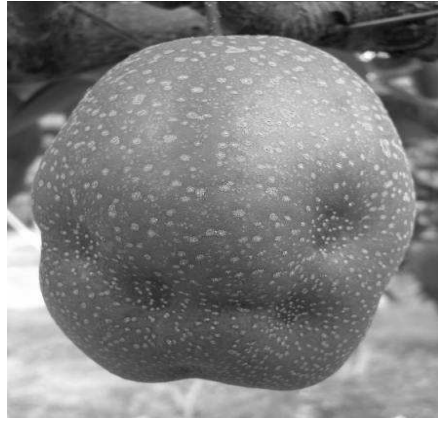


ツヤアオカメムシ成虫

写真1 主要な果樹カメムシ類



二十世紀の被害（有袋）



王秋の被害（無袋）

写真2 果樹カメムシ類による果実被害（収穫期）

表3 果樹カメムシ類の主な防除薬剤と使用基準*

作物	薬剤名	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	IRAC コード**	薬剤の系統
ナシ	スプラサイド水和剤	1,500	有袋：収穫7日前まで 無袋：収穫21日前まで	3回以内 2回以内	1B	有機リン系
	スミチオン乳剤	1,000	有袋：収穫14日前まで 無袋：収穫21日前まで	6回以内		
	ジノテフラン水溶剤 (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000	収穫前日まで	3回以内	4A	ネオニコチノイド系
	アクトラ顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内		
	シベルメトリン水和剤 (アグロスリン水和剤)	1,000～2,000	収穫前日まで	3回以内	3A	合成ピレスロイド系
	シベルメトリン水和剤 (イカズチWDG)	1,500	収穫前日まで			
	テルスターフロアブル	3,000～6,000	収穫前日まで	2回以内		
カキ	スプラサイド水和剤	1,500	収穫30日前まで	3回以内	1B	有機リン系
	スミチオン水和剤 40	800～1,000	収穫45日前まで	3回以内		
	キラップフロアブル	2,000	収穫7日前まで	2回以内	2B	フェニルピラゾール系
	ジノテフラン水溶剤 (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000	収穫前日まで	3回以内	4A	ネオニコチノイド系
	アクトラ顆粒水溶剤	2,000	収穫3日前まで	3回以内		
	アグロスリン水和剤	1,000～2,000	収穫前日まで	3回以内	3A	合成ピレスロイド系
ブドウ	ジノテフラン水溶剤 (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000	収穫前日まで	3回以内	4A	ネオニコチノイド系
リンゴ	スプラサイド水和剤	1,500	収穫30日前まで	2回以内	1B	有機リン系
	スミチオン水和剤 40	800～1,000	収穫30日前まで	3回以内		
	ジノテフラン水溶剤 (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000	収穫前日まで	3回以内	4A	ネオニコチノイド系
リンゴ	MR. ジョーカー水和剤	2,000	収穫14日前まで	2回以内	3A	合成ピレスロイド系
モモ	スミチオン水和剤 40	800～1,000	収穫3日前まで	6回以内	1B	有機リン系
	ジノテフラン水溶剤 (アルバリン顆粒水溶剤 又はスタークル顆粒水溶剤)	2,000	収穫前日まで	3回以内	4A	ネオニコチノイド系
	アグロスリン水和剤	2,000	収穫前日まで	5回以内	3A	合成ピレスロイド系

*農薬の登録内容は令和元年7月8日現在

**IRAC コードは殺虫剤の作用機構の分類を示す。

令和元年度病害虫発生予察注意報第2号（令和元年8月21日）

注意報の概要

現在、斑点米の原因となるカメムシ類が多発している。中生品種、遅植えの早生品種等、8月中旬以降に出穂する水田では斑点米の発生が懸念されるため、穂揃い期から乳熟初期のカメムシ類の防除を徹底する必要がある。

病害虫名：斑点米カメムシ類

1 対象作物 イネ

2 発生地域 県下全域

（特に中生品種、遅植えのコシヒカリ等、8月中旬以降に出穂する水田）

3 発生量 やや多い

4 注意報発令の根拠

- （1）8月17日現在、巡回調査地区の穂揃い期～乳熟期の水田における斑点米カメムシ類の発生は場率は89.4%（平年：73.0%）、要防除水準を超えているほ場率は51.5%（平年：40.7%）と平年よりやや高く、平均すくい取り虫数は10.7頭（25往復50回振り虫数、平年：8.1頭）と平年よりやや多い（表1）。
- （2）クモヘリカメムシの発生量が平年より多く、特に中平坦部では本種の斑点米被害が予想される。
- （3）本県の最重要種であるアカスジカスミカメの第3世代成虫の発生盛期は8月下旬と予想される。本時期は中生品種、遅植えのコシヒカリ等の出穂期～乳熟期と一致するため、イネ科雑草等で増殖した本種成虫の水田への飛来が予想される。

5 防除上注意すべき事項

- （1）薬剤防除を適期に行う。

ア 中生品種および遅植えの早生品種等、8月中旬以降に出穂する水田では下記を参考にする。

（ア）粉剤、水和剤などを使用する場合

薬剤防除は穂揃い期から乳熟初期に行い、その後も発生が多い場合は7～10日間隔で1～2回の追加防除を行う。防除は地域一斉で行うと効果が高い。

（イ）粒剤を使用する場合

病害虫防除指針等を参考にして、各薬剤の散布適期に湛水散布を行う（湛水散布にあたっては、農薬のラベルに記載されている止水に関する注意事項などを確認するとともに、止水期間を7日間とし、また、農薬の流出を防止するために必要な措置を講じるように努める）。また、散布後も発生が多い場合は粉剤、水和剤などで追加防除を行う。

イ ヒトめぼれ、コシヒカリ等、8月上旬に出穂を迎えた水田で穂揃い期～乳熟初期にかけて防除を行っていないほ場では、粉剤、水和剤などで直ちに防除を行う。

ウ 防除薬剤は表2を参考とする。また、農薬の使用基準を遵守するとともに、使用上の注意事項を守り、散布作業者の安全の確保に努める。

- （2）水田内で穂をつけたヒエ類は、カメムシ類の発生を助長するので直ちに除去する。

- (3) クモヘリカメムシはイネの登熟後期まで水田内で発生する。そのため、防除を行ったほ場においても発生状況に注意する。

表1 水田における斑点米カメムシ類発生状況

調査年	発生ほ場率	要防除水準を超えている 発生ほ場率	すくい取り虫数
令和元年	89.4%	51.5%	10.7頭
平年	73.0%	40.7%	8.1頭

注1) 調査期間：8月10日～8月17日、調査ほ場の熟期：穂揃い期～乳熟期。

注2) 調査ほ場：病害虫防除所巡回調査定点22地区の3ほ場／地区を調査。

注3) すくい取り虫数は捕虫網25往復50回振り虫数を表す。

表2 斑点米カメムシ類の主な防除薬剤

剤型等	薬剤名	
粉剤	トレボン粉剤DL	MR. ジョーカー粉剤DL
	エルサンバッサ粉剤20DL	キラップジョーカー粉剤DL
	スタークル粉剤DL	ダントツH粉剤DL 等
粒剤	スタークル粒剤	ダントツ粒剤 等
水和剤等	トレボン乳剤	MR. ジョーカーEW
	スタークル液剤10	ダントツフロアブル 等
無人 ヘリコプター 防除剤	トレボンエアー	MR. ジョーカーEW
	スタークル液剤10	ダントツフロアブル
	キラップジョーカーフロアブル	等

令和元年度病害虫発生予察注意報第3号（令和元年9月11日）

注意報の概要

現在、トビイロウンカが平年より多く発生し、一部ほ場では坪枯れが発生しています。特に5月下旬までに移植した中生～晩生品種栽培ほ場では、今後、トビイロウンカ幼虫の急増及び坪枯れの発生が懸念されますので、適切な防除対策を行ってください。

病害虫名：トビイロウンカ

1 対象作物 イネ

2 発生地域 県下全域

（特に5月下旬までに移植した中生～晩生品種栽培ほ場）

3 発生量 多い

4 注意報発令の根拠

- （1）9月6～8日の巡回調査（ウンカ類調査定点および巡回調査定点）の結果、発生ほ場率は45.6%（平年：2.9%）と平年より高い。また、株あたりのはらい落とし虫数は3.5頭／株であり、8月下旬調査時より急増している。
- （2）ほ場では成虫及び若～中齢幼虫が発生しており、増殖率の高い短翅成虫も確認されている。
- （3）現在、5月下旬までに移植した一部ほ場でトビイロウンカによる坪枯れが確認されている。また、坪枯れが発生したほ場の周辺では、要防除水準（成幼虫数10頭／株）を超えているほ場も確認されている。
- （4）9月以降、平年より気温が高い状態が続いており、さらに2週間気温予報も高いと予想されていることから、本種の増殖および被害の発生を助長する気象条件が継続する。

5 防除上注意すべき事項

- （1）トビイロウンカの発生は地域間差及びほ場間差が大きいですが、特に5月下旬までに移植した中生～晩生品種栽培ほ場では、今後、トビイロウンカの急増が懸念されるので、注意が必要である。
- （2）要防除水準（成幼虫数10頭／株）を超えた場合もしくは坪枯れを確認した場合は、粉剤、水和剤などで直ちに防除を行う。なお、散布の際、本種の生息場所である株元に農薬が十分かかるようにする。
- （3）収穫期が近いので、防除にあたっては農薬の収穫前日数及び総使用回数に注意する。
- （4）収穫期が迫り、防除が出来ないほ場は収穫適期の範囲内で早めに収穫する。
- （5）必要以上に早い落水は、坪枯れの発生を助長するので、適期落水に努める。

表1 トビイロウンカの主な防除薬剤

剤型	薬剤名	収穫前日数
粉剤	トレボン粉剤DL	7日前
	MR. ジョーカー粉剤DL	7日前
	エルサンバッサ粉剤20DL	7日前
	スタークル粉剤DL	7日前
	アルバリン粉剤DL	7日前
水和剤等	トレボン乳剤	14日前
	MR. ジョーカーEW	14日前
	スタークル顆粒水溶剤	7日前
	アルバリン顆粒水溶剤	7日前

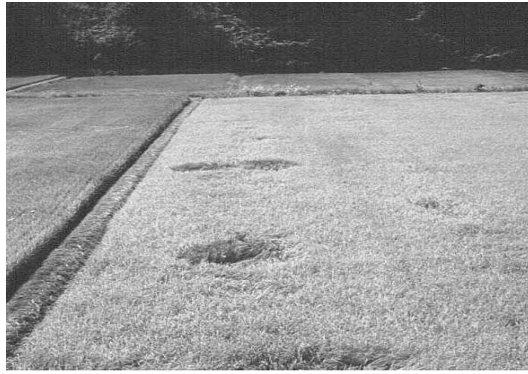


図1 トビイロウンカによる坪枯れ



図2 トビイロウンカの成虫及び幼虫



図3 トビイロウンカが多発したイネ株の株元の様子

ウ. 特殊報

令和元年度病害虫発生予察特殊報第 1 号（令和元年 9 月 6 日）

- 1 病害虫名 トルコギキョウ斑点病
- 2 病 原 *Pseudocercospora nepheloides*
- 3 発生作物 トルコギキョウ
- 4 発生地域 県西部

5 発生確認の経過

令和元年 6 月中旬、県西部のトルコギキョウ施設栽培ほ場において、葉にすす状で灰色の病斑を生じた株が確認された（写真 1）。本件について、農林水産省神戸植物防疫所に同定依頼したところ、本県では未発生の *Pseudocercospora nepheloides* によるトルコギキョウ斑点病であることが確認された。

本病は、平成 20 年に福岡県で初確認され、それ以降、平成 29 年に高知県、大分県、熊本県、宮崎県、長崎県、平成 30 年に和歌山県、沖縄県、広島県、福島県、宮城県、島根県、千葉県、岡山県、栃木県、令和元年に群馬県及び茨城県から特殊報が発表されており、近年発生が拡大している病害である。

6 病徴と発生生態

- （1）下位葉に 5～10mm の退緑斑が発生し、その退緑斑に灰～黒褐色、長さ 20～80μm の分生子が多数形成される（写真 2、3）。分生子は葉の表裏にすす状に形成され、病斑は下位葉から上位葉へと進展していく。
- （2）本病は、高温期を除き、ほぼ通年発生するが、特に春から秋の多湿条件下で多発する。
- （3）発生生態や伝染環についての詳細は不明であるが、育苗中及び本圃で発生し、分生子により伝染する。
- （4）現在確認されている宿主植物は、トルコギキョウのみである。

7 防除対策

- （1）多湿条件下で発生が助長されるため、施設内の通風及び換気に努める。
- （2）発病を認めた場合は、発病葉を除去したのち薬剤防除（表 1）を行う。
- （3）罹病残渣は伝染源になるため、施設外に持ち出して適切に処理する。

表 1 斑点病（花き類・観葉植物）に登録のある薬剤（令和元年 9 月 5 日現在）

農薬名	希釈倍率	使用時期	使用方法	使用回数
ダコニール 1000	1000 倍	—	散布	6 回以内



写真1 ほ場における発病株



写真2 葉の症状



写真3 病斑部に形成された分生子

令和元年度病害虫発生予察特殊報第2号（令和2年2月19日）

1 病害虫名 ネギハモグリバエ（別系統）

Liriomyza chinensis Kato

2 作物名 ネギ

3 発生経過と概要

- （1）令和元年10月に境港市の露地ネギほ場において、従来のネギハモグリバエ（以下、A系統とする）の被害とは異なる症状（図1）が確認された。
- （2）この被害株から採取したネギハモグリバエについて、農業・食品産業技術総合研究機構野菜花き研究部門 野菜病害虫・機能解析研究領域に同定依頼したところ、遺伝子解析により、A系統とは異なる別系統（以下、B系統とする）と同定された。
- （3）B系統の確認は、本県では初めてである。また、B系統は、平成28年に京都府で初めて確認され、以後、茨城県、富山県、千葉県、長野県、埼玉県、新潟県、栃木県、三重県、滋賀県、大阪府、愛知県、東京都、佐賀県及び岐阜県の計15都府県で発生が確認されている。

4 発生生態

（1）生態と形態

両系統ともに成虫が葉の組織内に産卵し、ふ化した幼虫は葉の内部に潜り込み葉肉を食害する（図2）。幼虫は成長すると葉から脱出し、地表又は土中で蛹となる。

また、形態による両系統の識別は困難である。両系統とも成虫の体長は約2mm、胸部と腹部は黒く、その他の部分は淡黄色である（図2）。幼虫はうじ虫状で、成長すると体長約4mmに達し、蛹は体長約3mmの褐色、俵状である。

（2）被害

B系統はA系統と比較して、1葉あたりの幼虫数が多い傾向にある。初期の食害痕は、A系統と同様に不規則な白線状であるが、進展すると近接した食害痕同士が癒合し、葉全体が白化したようになる（図2）。

5 防除対策

- （1）ネギハモグリバエ又はハモグリバエ類に適用のある薬剤を使用し、発生初期の防除を徹底する。
- （2）被害葉及び収穫残渣は本虫の発生源となる場合があるため、ほ場に放置せず、1か所にまとめて積み上げ、ビニル等で覆い、裾部分を土で埋める等、適切に処分する。

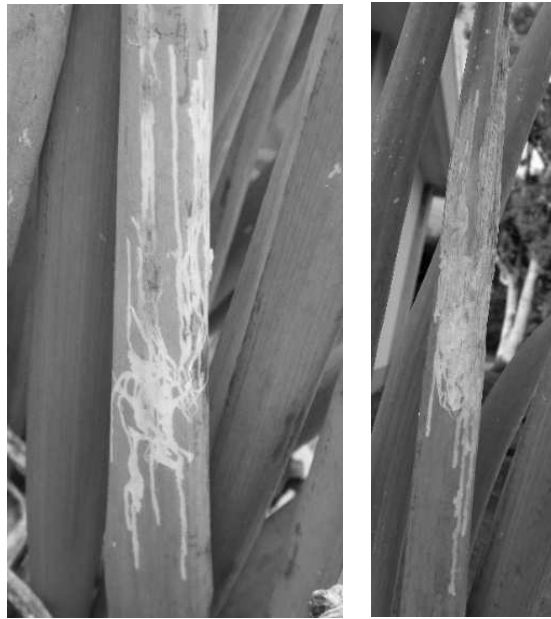


図1 幼虫による葉の食害
(境港市においてサンプルを採取した葉)



図2 ネギハモグリバエ
(左：集中加害されたネギ、中：成虫、右：幼虫の食害)
写真提供は徳丸 晋氏（京都府病虫害防除所）

エ. 発生予報

号	発表日	普 通 作	果 樹	野 菜
1	平成31年 4月 3日	イネ（苗立枯病、ば か苗病、イネシン ガレセンチュウ） オオムギ（赤かび病、 うどんこ病、網斑 病）	ナシ（黒斑病、黒星病、 赤星病、ハダニ類、カ メムシ類）	ラッキョウ（灰色かび病） ネギ（べと病） スイカ・メロン（アブラムシ類）
2	平成31年 4月17日	イネ（苗立枯病、ば か苗病、イネミズ ゾウムシ）	ナシ（黒斑病、黒星病、 赤星病、カメムシ類） カキ（灰色かび病、樹幹 害虫（ヒメコスカシ バ・フタモンマダラメ イガ）） ブドウ（灰色かび病、べ と病）	ネギ（べと病、さび病、 ネギハモグリバエ・ネギアザ ミウマ） スイカ（菌核病、つる枯病） スイカ・メロン（アブラムシ類、 ハダニ類）
3	令和元年 5月15日	イネ（葉いもち、縞 葉枯病（ヒメトビ ウンカ）、イネミ ズゾウムシ）	ナシ（黒斑病、黒星病、 ハダニ類、アブラムシ 類） 果樹共通（カメムシ類）	スイカ（菌核病、つる枯病、う どんこ病、アブラムシ類、ハ ダニ類） ネギ（べと病） ブロッコリー（コナガ）
4	令和元年 6月 5日	イネ（葉いもち、縞 葉枯病（ヒメトビ ウンカ）、イネミ ズゾウムシ）	ナシ（黒斑病、黒星病、 輪紋病、アブラムシ類、 ニセナシサビダニ、シ ンクイムシ類） カキ（落葉病、炭疽病、 カキノヘタムシガ） ブドウ（べと病、チャノ キイロアザミウマ、ハ マキムシ類（チャノコ カクモンハマキ））	スイカ（つる枯病・炭疽病、う どんこ病、アブラムシ類、ハ ダニ類） イチゴ（育苗期）（うどんこ病、 炭疽病、アブラムシ類、ハダ ニ類） ネギ（べと病、さび病、黒斑病、 ネギアザミウマ、ネギハモグ リバエ）
5	令和元年 7月 3日	イネ（葉いもち、穂 いもち、紋枯病、 縞葉枯病（ヒメト ビウンカ）、セジ ロウンカ、斑点米 カメムシ類、フタ オビコヤガ）	ナシ（黒斑病、黒星病、 輪紋病、クワコナカイ ガラムシ、ハダニ類、 シンクイムシ類） カキ（炭疽病、樹幹害虫 （ヒメコスカシバ、フ タモンマダラメイ ガ）） ブドウ（べと病） 果樹共通（カメムシ類）	ネギ（さび病、黒斑病、白絹病、 軟腐病、ネギハモグリバエ、 ネギアザミウマ） スイカ（つる枯病・炭疽病、うど んこ病、褐色腐敗病・疫病、 アブラムシ類、ハダニ類） イチゴ（うどんこ病、炭疽病、 アブラムシ類、ハダニ類） ナガイモ（炭疽病）

号	発表日	普 通 作	果 樹	野 菜
6	令和元年 8月 7日	イネ (穂いもち、紋 枯病、セジロウン カ、トビイロウン カ、斑点米カメム シ類、コブノメイ ガ、フタオビコヤ ガ) ダイズ (紫斑病、ハ スモンヨトウ、カ メムシ類)	ナシ (黒斑病、ハダニ類、 シンクイムシ類) カキ (うどんこ病、炭疽 病、カキノヘタムシガ) 果樹共通 (カメムシ類)	ネギ (軟腐病、白絹病、黒斑病、 ネギハモグリバエ、ネギアザミ ウマ、シロイチモジヨトウ) ナガイモ (炭疽病、ナガイモコ ガ、ハダニ類、シロイチモジ ヨトウ) キャベツ・ブロッコリー (ハス モンヨトウ)
7	令和元年 8月28日	イネ (穂いもち、紋 枯病、トビイロウン カ、斑点米カメム シ類) ダイズ (紫斑病、ハ スモンヨトウ、カ メムシ類)	ナシ (ハダニ類、シンク イムシ類) 果樹共通 (カメムシ類)	キャベツ・ブロッコリー・イチ ゴ (ハスモンヨトウ) ネギ・ナガイモ (シロイチモジ ヨトウ)
8	令和元年 9月11日	ダイズ (ハスモンヨト ウ)	ナシ (黒斑病、黒星病、 クワコナカイガラムシ、 シンクイムシ類、ハダ ニ類) カキ (炭疽病) ブドウ (べと病、チャノ キイロアザミウマ、ハ マキムシ類) 果樹共通 (ナシ・カキ・ ブドウ・リンゴ) (カ メムシ類)	ネギ (黒斑病、ネギハモグリバ エ、ネギアザミウマ) ネギ・ナガイモ (シロイチモジ ヨトウ) ナガイモ (炭疽病、ナガイモコ ガ、ハダニ類) キャベツ・ブロッコリー (べと 病、黒腐病、軟腐病、黒すす 病、アブラムシ類、コナガ、ヨ トウムシ) キャベツ・ブロッコリー・イチ ゴ (ハスモンヨトウ)
9	令和元年 10月 2日		ナシ (黒星病) 果樹共通 (ナシ・カキ ・ブドウ・リンゴ) (カメムシ類)	キャベツ・ブロッコリー (軟腐 病、黒腐病、べと病、黒すす 病、アブラムシ類、コナガ、ハ スモンヨトウ) ネギ (黒斑病、さび病、べと病、 ネギアザミウマ、ネギハモグリ バエ、シロイチモジヨトウ)
10	令和元年 12月 4日			ラッキョウ (白色疫病) イチゴ (うどんこ病、灰色かび 病)
11	令和 2年 2月 5日			ラッキョウ (白色疫病)
12	令和 2年 3月11日	イネ (ばか苗病、 イネシンガレセ ンチュウ)	ナシ (黒斑病、黒星病、ハ ダニ類、カメムシ類)	

オ. 指導情報

[作物名]	病虫害名	発表月日	情報の内容
[イネ]	いもち病・もみ枯細菌病	平成 31 年 4 月 25 日	育苗時・本田初期の防除対策
	いもち病	令和元年 5 月 16 日	感染好適条件の出現状況及び防除対策
		令和元年 6 月 28 日	
		令和元年 7 月 11 日	
		令和元年 7 月 22 日	
		令和元年 8 月 2 日	
		令和元年 8 月 13 日	
	斑点米カメムシ類	令和元年 7 月 2 日	予察灯の誘殺状況
		令和元年 7 月 22 日	発生状況および防除対策
		令和元年 8 月 5 日	
		令和元年 8 月 20 日	
	トビイロウンカ	令和元年 8 月 30 日	発生状況および防除対策
		令和元年 9 月 9 日	
[ナシ]	黒斑病	令和元年 5 月 7 日	ポリ袋検定結果
		令和元年 6 月 27 日	新梢葉の発病状況
		令和元年 7 月 25 日	
		令和元年 10 月 2 日	
		令和 2 年 1 月 21 日	越冬菌密度調査
	黒斑病孢子飛散情報	平成 31 年 4 月 1 日	半旬毎の黒斑病菌孢子飛散状況
		平成 31 年 4 月 8 日	
		平成 31 年 4 月 11 日	
		平成 31 年 4 月 17 日	
		平成 31 年 4 月 22 日	
		平成 31 年 4 月 26 日	
		令和元年 5 月 1 日	
		令和元年 5 月 6 日	
		令和元年 5 月 11 日	
		令和元年 5 月 16 日	
		令和元年 5 月 21 日	
		令和元年 5 月 27 日	
		令和元年 6 月 3 日	
		令和 2 年 3 月 26 日	
	黒星病	平成 31 年 4 月 11 日	発生状況及び防除対策
		令和元年 5 月 21 日	
		令和元年 6 月 27 日	
		令和 2 年 2 月 20 日	腋花芽における病芽率
	黒星病孢子飛散情報	平成 31 年 4 月 1 日	半旬毎の黒星病菌子のう孢子、分生子飛散状況
		平成 31 年 4 月 8 日	
		平成 31 年 4 月 11 日	

[作物名]	病虫害名	発表月日	情報の内容
[ナシ]	黒星病孢子飛散情報	平成31年4月17日	半旬毎の黒星病菌子のう孢子、分生子飛散状況
		平成31年4月22日	
		平成31年4月26日	
		令和元年5月1日	
		令和元年5月6日	
		令和元年5月11日	
		令和元年5月16日	
		令和元年5月21日	
		令和元年5月27日	
		令和元年6月3日	
		令和2年3月23日	
		令和2年3月26日	
	ニセナシサビダニ	令和元年5月16日	発生状況及び防除対策
		令和元年5月23日	
		令和元年6月6日	
		令和元年6月14日	
		令和元年6月26日	
	クワコナカイガラムシ	令和元年5月6日	発生状況及び防除対策
		令和元年7月3日	
	アブラムシ類	令和元年5月31日	発生状況
	ハダニ類	令和元年7月26日	発生状況
		令和2年2月26日	越冬状況及び防除対策
	カメムシ類	令和元年7月26日	巡回調査結果
[カキ]	フジコナカイガラムシ	令和元年6月13日	発生状況及び防除対策
[果樹全般]	カメムシ類	令和元年5月14日	予察灯及びフェロモントラップの誘殺状況
		令和元年5月23日	
		令和元年6月5日	
		令和元年6月14日	
		令和元年6月26日	
		令和元年7月3日	
		令和元年7月18日	
		令和元年7月24日	
		令和元年8月6日	
		令和元年8月19日	
		令和元年8月22日	
		令和元年9月6日	
		令和元年9月13日	
		令和元年9月30日	
		令和元年10月2日	
		令和元年10月18日	
	クサギカメムシ	令和元年12月6日	越冬状況

〔作物名〕	病虫害名	発表月日	情報の内容
〔ネギ〕	べと病	令和元年 6 月 14 日	発生状況及び防除対策
〔ブロッコリー〕	黒すす病	令和元年 5 月 16 日	発生状況及び防除対策
		令和元年 9 月 30 日	
	黒すす病・べと病	令和元年 10 月 31 日	発生状況及び防除対策
〔トマト〕	葉かび病	令和元年 7 月 3 日	発生状況及び防除対策
〔果樹・野菜〕	長雨・台風等により注意が必要な病害	令和元年 9 月 5 日	防除対策

カ. ホームページのアクセス件数、更新回数

令和2年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
アクセス件数	572	952	821	1,040	1,142	433	525	346	417	377	627	734	7,986
更新回数	10	14	9	10	14	9	6	0	2	1	4	3	82

(3) 情報の発送先とその伝達手段（令和元年度）

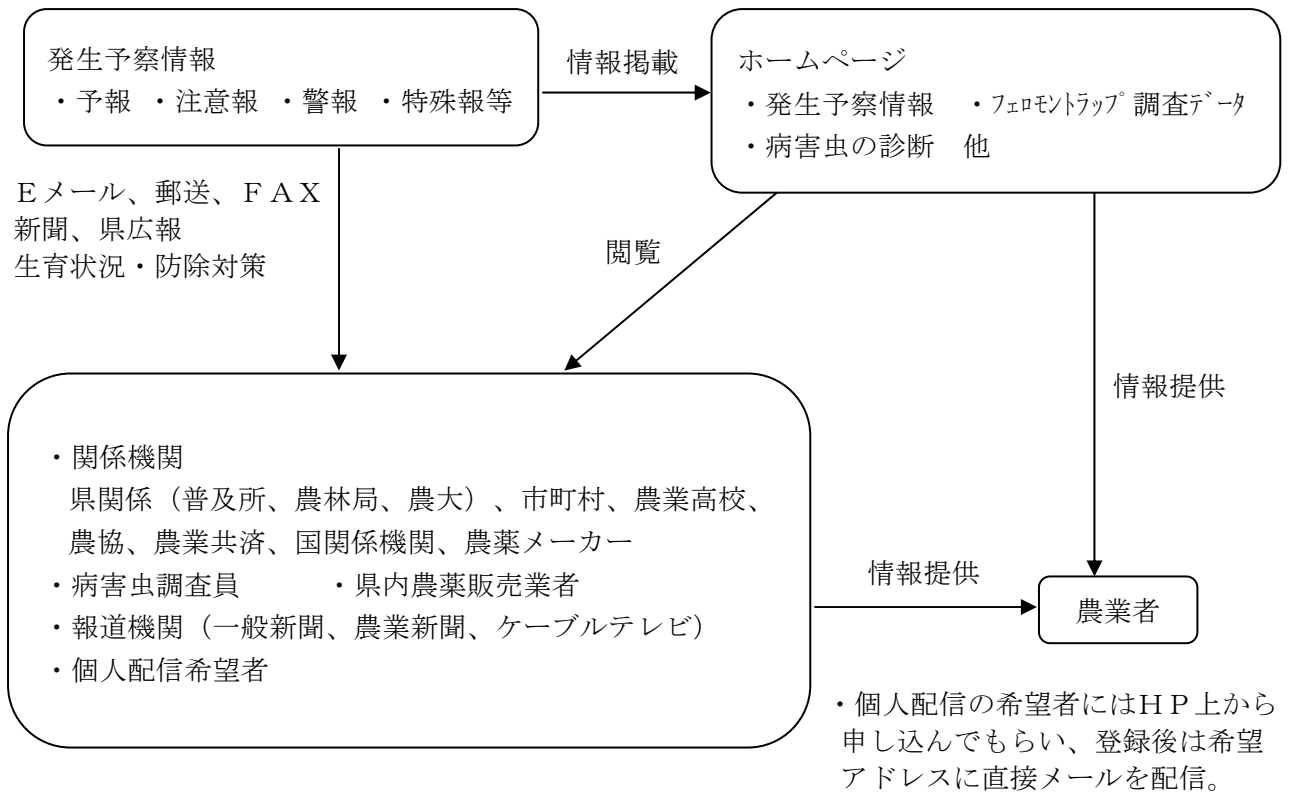
発 送 先	発送数	伝 達 手 段		
		A	B	C
県庁関係課（とっとり農業戦略課、生産振興課等）	5	○		
総合事務所農林局・振興局 農(林)業振興課	5	○		
農業大学校	1	○		
農業高等学校	4	○		
市町村関係課	19	○		
国関係機関	3	○		○
農業協同組合	3	○		
県農業協同組合連合会（中央会、全農県本部）	2	○		
県農業共済組合連合会	1	○		
県産米改良協会	1	○		
病虫害調査員	17		○	
個別配信				
農業改良普及所（所長、次長）	7	○		
とっとり農業戦略課（専門技術員等）	7	○		
生産振興課（係長等）	4			
農業試験場（関係研究員）	5	○		
園芸試験場（関係研究員）	6	○		
農業協同組合等（各課、各営農センター等）	21	○		
農薬製造販売会社	2			
鳥取大学	6	○		
ケーブルテレビ放送会社	3	○		
新聞社	1	○		
情報配信希望者（農業者他）	22	○	○	
合 計	145			

注）（１）発表した情報：病虫害発生予報、注意報、警報、特殊報、指導情報
（上記以外の指導情報については、該当農業改良普及所に作目ごとに随時提供）

（２）伝達手段

A：電子メール、B：郵送、C：植物防疫総合情報ネットワーク（JPP-NET）

(4) 情報発信の流れ図



6 普通作物病害虫の発生予察調査結果

(1) 主な普通作物病害虫の発生程度別面積

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	年次	発生程度別面積 (ha)					面積率 (%)
				甚	多	中	少	計	
イ ネ	本年	葉いもち	本年	1	3	10	588	602	4.8
			平年	8	120	627	2486	3241	24.0
	平年	穂いもち	本年	0	3	7	420	430	3.4
			平年	5	24	194	1314	1537	11.4
	前年	紋枯病	本年	0	84	252	4452	4788	38.0
			平年	15	60	221	5413	5709	42.3
		ばか苗病	本年	0	0	0	50	50	0.4
			平年	0	0	0	45	45	0.3
		心枯線虫病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	1	1	0.0
		もみ枯細菌病	本年	0	0	2	336	338	2.7
			平年	0	1	1	213	215	1.6
		ごま葉枯病	本年	3	360	648	1224	2235	17.7
			平年	1	12	89	463	565	4.2
		縞葉枯病	本年	0	0	0	3276	3276	26.0
			平年	0	0	42	1262	1304	9.7
		ニカメイガ 第1世代	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	137	137	1.0
		ニカメイガ 第2世代	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	103	103	0.8
		セシロウカ	本年	0	0	0	7144	7144	56.7
			平年	0	0	328	7448	7776	57.6
		トビイロウンカ	本年	0	6	126	4423	4555	36.2
			平年	0	0	0	392	392	2.9
		ヒメトビウンカ	本年	0	88	2423	9475	11986	95.1
			平年	0	11	500	8208	8719	64.6
		ツマグロヨコバイ	本年	0	0	0	6439	6439	51.1
			平年	0	77	690	6399	7166	53.1
		イチモンジセリ	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	169	169	1.3
		コブノメイガ	本年	0	0	0	6640	6640	52.7
			平年	0	0	52	1469	1521	11.3
		イネミスズムシ	本年	0	0	0	4876	4876	38.7
			平年	0	0	146	3864	4010	29.7
		斑点米カメシ類	本年	191	382	3818	6873	11264	89.4
			平年	142	591	2038	6594	9365	69.4
		フタオビコヤガ	本年	0	0	0	1172	1172	9.3
			平年	6	182	716	3250	4154	30.8

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	年次	発生程度別面積 (ha)					面積率 (%)
				甚	多	中	少	計	
ムギ	本年	うどんこ病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	3	5	10	13	31	28.7
	平年	赤かび病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	1	1	0.8
	前年	斑葉病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0.2	0.2	0.2
		黒穂病類	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	0	0	0	0
		黒節病	本年	0	0	0	0	0	0
			平年	0	0	1	2	3	2.8
		網斑病	本年	0	0	0	94	94	100
			平年	0	8	11	79	98	90.7
ダイズ	本年	紫斑病	本年	0	0	0	192	192	30.0
			平年	0	0	7	175	182	23.5
	平年	モザイク病 (褐斑粒)	本年	0	0	0	86	86	13.4
			平年	0	0	6	144	150	19.4
	前年	ハスモンヨトウ	本年	0	0	0	568	568	88.6
			平年	59	79	149	393	680	87.1
		カメシ類	本年	0	0	0	613	613	95.6
			平年	12	54	163	412	641	82.6
		マメシクイガ	本年	24	0	24	217	265	41.3
			平年	-	-	-	-	-	-
		シロイチモシマダラ メイガ	本年	0	0	0	72	72	11.2
			平年	-	-	-	-	-	-

* 平年値は過去 10 年間の平均値。

注) 発生程度別面積は、定点巡回調査、必要に応じた追加調査をもとに算出。

(2) 主な病害虫の発生概要と発生原因の解析

ア. イ ネ

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
苗立枯病 (平 年 並)	一部で発生が認められた。	育苗環境が不適切であった。
葉いもち (やや少ない)	本田における葉いもちの発生は、7月上旬以降に山間地等の常発地および一部の平坦地において目立ち始めたが、梅雨明け(7月25日頃)後は病勢が停滞した。 8月上旬の発生ほ場率は、平年よりやや低かった(本年:4.8%、平年:23.7%)。	本病弱抵抗性品種の作付割合が90%以上と高く、本病の発生リスクが高い。 本年は、苗いもちの発生が少なかった。 6月下旬から7月25日頃の梅雨明けまで、曇雨天が続いたが、その後は高温で経過したため、病勢が停滞した。
穂いもち (やや少ない)	出穂期は平年並であった。 一部の山間地等の常発地および一部の中生品種において穂いもちの発生がみられた。9月上旬の発生ほ場率は平年よりやや低かった(本年:3.4%、平年:11.2%)。	早生品種は、穂いもち感染期間にあたる7月下旬から8月第3半旬が高温で経過し、降雨日が少なかったため、感染に不適であった。8月第4半旬以降は、曇雨天が続いたため、一部の中生品種において発病が助長された。
紋枯病 (平 年 並)	9月上旬の発生ほ場率は、平年並であった(本年:38.0%、平年:42.3%)。 近年、発生 of 地域間差、ほ場間差が大きくなっている。	梅雨明け(7月25日頃)から8月第3半旬は降雨日が少なかったため、発病に不適であった。8月第4半旬から9月第1半旬は降雨日が多く、9月第1半旬から第3半旬は高温で経過したため、後期の病勢進展が助長された。 本病の被害を受けやすい早生品種「コシヒカリ」の栽培面積はやや減少しているが、防除時期がより遅く発生リスクが高い中生品種の栽培面積が増加している。
ばか苗病 (平 年 並)	一部で発生が認められた。 近年、問題となる大発生はないが、一部の糯米、酒米等で発生が散見されている。	J Aから供給される温湯消毒種子の使用が大半であるが、酒米、糯米では消毒時間が短いため効果が不十分である。 一部の大規模農家の種子消毒が不適切であった。
心枯線虫病 (平 年 並)	発生は認められなかった。	前年の本種による葉先枯症状は認められなかったため、汚染率は低いと推察される。
もみ枯細菌病 (やや多い)	中生品種を中心に発生が認められ、本年の発生ほ場率は平年と比較してやや高かった(本年:2.7%、平年:1.6%) が、発病程度は軽かった。 近年、発生が増加傾向にある。	近年、本病が発生しやすい中生品種の栽培面積が増加している。

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
もみ枯細菌病 (苗腐敗症) (やや少ない)	一部の加温ハウス育苗等で発生が認められた。	育苗環境が不適切であった。
ごま葉枯病 (やや多い)	中生品種を中心に発生が認められ、一部の秋落ち症状が発生しやすい地域では、多発生ほ場も散見された。早生品種では、平年の発生はほとんど認められないが、本年は軽度の発病ほ場が散見された。全体の発生ほ場率は平年よりやや高かった(本年：17.7%、平年：4.3%)。	8月上旬から第3半旬および9月上旬から第3半旬の高温が秋落ち症状の原因となったと考えられる。 近年、秋落ち症状が発生しやすい中生品種の栽培面積が増加している。
縞葉枯病 (多 い)	発生ほ場率は平年より高く(本年26.0%、平年9.0%)、2016～2018年と同程度からやや多い発生であった。発生の主体は中生品種栽培ほ場で、中平坦の全域で本病が散見された。 大半が少発生ほ場であるが、県中部の一部では中発生以上のほ場が散見された。	近年、ヒメトビウンカの発生が増加しており、ウイルス保毒虫率も上昇傾向にある。また、近年、本病が発病しやすい中生品種の作付面積が増加している。
ニカメイガ 第1世代 (平 年 並)	発生は認められなかった。	前年の第2世代幼虫の発生は認められなかった。
ニカメイガ 第2世代 (平 年 並)	発生は認められなかった。	第1世代幼虫の発生は認められなかった。
セジロウンカ (平 年 並)	予察灯への初誘殺は平年より早く(本年：5月17日、平年：7月2日)、7月下旬までの誘殺数は平年並であった。7月下旬の発生ほ場率は56.7%(平年：57.1%)で、平年並の発生であった。	5月から断続的に飛来した。主な飛来波は6月上旬頃で、飛来量は平年並であった。
トビイロウンカ (多 い)	8月下旬までの予察灯への誘殺数は平年より多く、8月下旬～9月上旬のウンカ類常発地における発生ほ場率も平年より高かった。 その後も発生が増加し、9月中下旬の巡回調査地点における発生ほ場率は36.2%(平年：2.8%)で、過去10年間で最も多い発生となった。 坪枯れは9月10日頃から発生しはじめ、中山間地を中心に坪枯れほ場が散見された。	近年の中では飛来量が非常に多かった。 飛来場所は県下全域であったと推測されるが、主要な飛来が5月末と6月上旬だったため、5月下旬までに移植したほ場を中心に発生した。 ウンカ類の発生が比較的少ないとされてきた中山間地を中心に坪枯れが発生した要因として、本地域は平坦地と比較して5月下旬までに移植するほ場の割合が高いことが考えられる。

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
ヒメトビウンカ (多 い)	8 月上～中旬の発生ほ場率は95.6% (平年：65.2%で平年より多い発生であった。少発生ほ場が大半を占めたが、前年より中発生ほ場の割合が増加した。	2013 年以降、発生ほ場率が増加傾向にある要因の一つとして、県内で広域に使用される育苗箱施用剤の防除効果および残効性の低下が考えられる。
ツマグロヨコバイ (平 年 並)	7 月下旬の発生ほ場率は45.3% (平年：52.2%)、9 月上旬の発生ほ場率は50.7% (平年：52.9%) で、平年並の発生であった。少発生ほ場が大半であった。	近年、発生量が減少傾向にあるが、要因は不明である。
コブノメイガ (多 い)	7 月下旬の発生ほ場率は8.0% (平年：7.3%) で平年並の発生であった。その後、発生が増加し、9 月上旬の発生ほ場率は52.7% (平年10.8%) であった。平年より多い発生となったが、すべて少発生ほ場であったため、実害は発生しなかった。	飛来量が平年より多かった。
イネミズゾウムシ (平 年 並)	水田への成虫侵入盛期は平年よりやや遅かった。6 月中旬の発生ほ場率は38.7% (平年：29.8%) で、平年並の発生であった。	効果の高い育苗箱施用剤が県下全域で普及している。
斑点米カメムシ類 (やや多い)	6～7 月の予察灯への誘殺数および7 月中旬の水田周辺のイネ科雑草地における発生は、平年並～やや少なかった。 7 月下旬の極早生品種における斑点米カメムシ類の発生は平年並であったが、その後、発生量が急増し、8 月中旬の早生品種栽培ほ場での発生ほ場率は89.4% (平年：69.8%)、平均すくい取り虫数は10.7 頭(25 往復50 回振り虫数、平年：8.1 頭)と平年よりやや多い発生となった。	6 月上旬～7 月中旬の気象経過は本種の発生にやや不適であったこと、その後、畦畔の管理が徹底されたことから、7 月下旬時点での発生は平年並～やや少なかった。 しかし、梅雨明け後～8 月が、本県の主要種であるアカスジカスミカメおよびクモヘリカメムシに非常に好適な気象条件で経過した。そのため、雑草地等での発生量が急増し、水田への飛来量も急増したと考えられる。
フタオビコヤガ (少 な い)	7 月下旬の発生ほ場率は9.3% (平年：29.8%) で、平年より少ない発生であった。	本種の発生が多い地域では、効果の高い育苗箱施用剤が導入されたため、多発生ほ場が減少した。

イ. ムギ

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
うどんこ病 (やや少ない)	発生は認められなかった。	本病に強い品種が導入されている。
赤かび病 (やや少ない)	発生は認められなかった。	出穂期が平年より早かった。 感染適期が低温で経過した。
黒穂病類 (平 年 並)	発生は認められなかった。	採種ほ場における発生はほとんど認められていないことから、種子の保菌率は低いと考えられる。
黒節病 (やや少ない)	発生は認められなかった。	採種ほ場ではほとんど発生が認められていないことから、種子の保菌率は低いと考えられる。また、発病を助長する 3～4 月の霜害の発生がみられなかった。
斑葉病 (平 年 並)	発生は認められなかった。	採種ほ場ではほとんど発生が認められていないことから、種子の保菌率は低いと考えられる。
網斑病 (平 年 並)	発生ほ場率は 100% と高かったが、発生程度はやや軽かったため、全体として平年並の発生であった。	

ウ. ダイズ

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
紫斑病 (平 年 並)	発生ほ場率は 30.0% (平年: 24.0%) で平年並の発生であった。 大半が少発生ほ場だったが、一部地域では中発生以上のほ場が散見された。	本病に比較的強い品種が広く普及している。
モザイク病 (やや少ない)	発生ほ場率は 13.3% (平年: 19.0%) で平年並の発生であった。	保菌種子率が極低率であったと推察される。また、アブラムシ類の防除が徹底された。
ハスモンヨトウ (平 年 並)	8～9 月上旬のフェロモントラップ誘殺数は平年並～やや多かった。9 月中旬の発生ほ場率は 88.6% (平年: 87.1%) で平年並の発生となった。	8 月以降、本種の発生に好適な条件で経過したが、常発地では防除が徹底されたため、最終的には平年並の発生となった。
カメムシ類 (平 年 並)	一部で多発ほ場が確認されたが、最終的な発生ほ場率は 96.7% (平年 84.7%) と平年並であった。	基幹防除が行われたため、平年並の発生となった。
マメシクイガ (やや多い)	発生ほ場率は 36.7% で平年よりやや多い発生であった。中山間地を中心に一部で甚～多発ほ場が確認された。	近年、発生が増加傾向であるが、原因は不明である。
シロイモリマダラメイガ (平 年 並)	発生ほ場率は 10.0% で平年並の発生であった。	

(3) 調査の概要と結果

ア. イネ

(ア) 調査地点

a. 県予察ほ場 鳥取市橋本

b. 一般ほ場

地区名	市町村名	発生程度別調査定点		ウンカ類追加調査地点
		巡回調査地点	程度別追加調査地点	
東部	鳥取市	嶋	賀露、朝月、河内	細川 下坂本 浦富
	〃 国府町	玉鉾	下原 小別所	
	〃 福部町	栗谷		
	〃 気高町	重高		
	〃 鹿野町	奥崎 福和田 鷹狩		
	〃 青谷町			
	〃 河原町			
	〃 用瀬町	古市 浦富 橋本		
	〃 佐治町			
	岩美町			
	八頭町（旧郡家町）			
	〃（旧船岡町）			
〃（旧八東町）	徳丸 須澄 三田			
若桜町				
智頭町				
中部	倉吉市	小鴨	下米積、服部	石脇 曲 穂波 笠見
	〃 関金町	今西	北福 牧 米里	
	湯梨浜町（旧羽合町）	長瀬		
	〃（旧泊村）	瀬戸 美好 出上		
	〃（旧東郷町）			
	三朝町			
	北条町			
	大栄町			
	琴浦町（旧東伯町）			
〃（旧赤碕町）				
西部	米子市	東八幡	奈喜良、車尾	車尾、東八幡 富吉 下甲
	〃 淀江町	福岡	下鴨部	
	境港市	原 天万 吉長 二部、宇代		
	南部町（旧西伯町）			
	〃（旧会見町）			
	伯耆町（旧岸本町）			
	〃（旧溝口町）			
	日吉津村	佐摩	平 旧奈和 羽田井	
	大山町			
	〃（旧名和町）			
	〃（旧中山町）	洲河崎 黒坂 矢戸、下石見		
	江府町			
	日野町			
	日南町			
調査地点数・ほ場数		巡回調査 30地点×3ほ場 程度別調査 30地点×5ほ場	程度別調査 20地点×5ほ場 （気象条件、発生状況により実施の有無を判断）	12地点×5ほ場 （予察灯への誘殺状況により実施の有無を判断）
調査時期		6月上旬～中旬、 6月下旬 7月上旬～中旬 7月下旬～8月上旬、8月中旬 7月下旬、9月上旬	7月下旬、9月上旬	8月下旬～9月上旬
調査項目		初期害虫、いもち病他、 カメシ類	全般	ウンカ類

c. 予察灯

鳥取市橋本、岩美町牧谷、琴浦町光好、日吉津村富吉

(イ) 調査観察結果

a. イネの生育状況

第1表 県予察ほ場におけるイネの生育遅延状況

品種	生育遅延状況 (月. 日)		
	田植期 (平年比)	出穂期 (平年比)	収穫期
コシヒカリ (5.27植)	5.27 (+2)	8.7 (+1)	9.17
日本晴 (5.27植)	5.27 -	8.15 -	9.30

b. 病害の発生状況

(a) 県予察ほ場

第2表 県予察ほ場における葉いもち、穂いもちの発病状況

(無防除区)

品種	調査 月日	葉いもち						穂いもち		
		発病株率 (%)			病斑面積率 (%)			発病穂率 (%)		
		本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比
コシヒカリ (5.27植)	6.21	0	0	±0	0	0	±0			
	7.1	0	0	±0	0	0	±0			
	11	0	0.8	-0.8	0	0.00	±0			
	22	32.0	5.6	+26.4	0.06	0.01	+0.05			
	31	38.0	10.6	+27.4	0.08	0.03	+0.05			
	9.13							0.33	0.21	+0.12
日本晴 (5.27植)	6.21	0	-	-	0	-	-			
	7.1	0	-	-	0	-	-			
	11	0	-	-	0	-	-			
	22	32.0	-	-	0.09	-	-			
	31	26.0	-	-	0.05	-	-			
	8.9	12.0	-	-	0.02	-	-			
	9.20							0.17	-	-

注1) フェルテラチエス箱粒剤(50g/箱)。

第3表 県予察ほ場における紋枯病の発生状況

(無防除区)

品種	調査月日	発病株率 (%)			病斑高率 (%)			被害度			発病度		
		本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比
コシヒカリ (5.27植)	6.21				0	0	±0						
	7.1				0	0	±0						
	11				0	6.8	-6.8						
	22				20.3	16.6	+3.7						
	31				22.7	24.2	-1.5						
	8.9				27.1	32.6	-5.5						
	21				32.8	38.9	-6.1						
	9.2				50.2	50.0	+0.2						
	11				54.8	56.4	-1.6						
	13	69.6	59.3	+10.3	54.8	56.1	-7.3	39.3	36.8	+2.5	42.0	37.5	+4.5
日本晴 (5.27植)	6.21				0	-	-						
	7.1				0	-	-						
	11				0	-	-						
	22				22.3	-	-						
	31				23.4	-	-						
	8.9				26.6	-	-						
	21				28.9	-	-						
	9.2				45.8	-	-						
	11				50.5	-	-						
	9.20	55.2	-	-	55.2	-	-	31.4	-	-	24.6	-	-

注1) フェルテラチエス箱粒剤(50g/箱)。

第4表 県予察ほ場における内穎褐変病(収穫後調査)、もみ枯細菌病(本田調査)の発生状況

品種	内穎褐変病 発病粗率 (%)				もみ枯細菌病 発病穂率 (%)
	濃い	薄い	しいな	計	
コシヒカリ (5.27植)	2.8	7.5	3.8	14.1	0.1
日本晴 (5.27植)	8.5	11.9	4.0	24.4	6.7

注) 内穎褐変病発病粗率は収穫後に無防除区を調査

(調査粒数は、コシヒカリ:約28,000粒、日本晴:約23,000粒)。

(b) 一般ほ場

第5表 一般ほ場におけるいもち病、ばか苗病、ごま葉枯病の発病状況

地区	月・ 半旬	いもち病							ばか苗病							ごま葉枯病						
		調 査 ほ数	発病程度別ほ場数					発 生 ほ 場 率（％）	調 査 ほ数	発病程度別ほ場数					発 生 ほ 場 率（％）	調 査 ほ数	発病程度別ほ場数					発 生 ほ 場 率（％）
			甚	多	中	少	計			甚	多	中	少	計			甚	多	中	少	計	
東部	7・6	60	0	0	0	1	1	1.7	60	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
	8・6	60	0	0	0	2	2	3.3	-	-	-	-	-	-	-	60	0	0	8	7	15	25.0
中部	7・6	30	0	0	0	0	0	0	30	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
	8・6	30	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	30	0	5	0	2	7	23.3
西部	7・6	60	0	0	0	4	4	6.7	60	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
	8・6	60	0	0	0	3	3	5.0	-	-	-	-	-	-	-	60	0	0	1	8	9	15.0
全県	7・6	150	0	0	0	5	5	3.3	150	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
	8・6	150	0	0	0	5	5	3.3	-	-	-	-	-	-	-	150	0	5	9	17	31	20.7

注) いもち病は、7月は葉いもち、8月は穂いもち（早生品種主体）の調査。発生ほ場率は、地区毎の単純平均。

第6表 一般ほ場における紋枯病、縞葉枯病、白葉枯病の発病状況

地区	月・半旬	紋枯病							縞葉枯病							白葉枯病							
		調査ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場率(%)	調査ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場率(%)	調査ほ数	発病程度別ほ場数					発生ほ場率(%)	
			甚	多	中	少	計			甚	多	中	少	計			甚	多	中	少	計		
東部	7・6	60	-	-	-	-	11	18.3	200	0	0	0	15	15	7.5	60	0	0	0	0	0	0	0
	8・6	60	0	1	2	21	24	40.0	-	-	-	-	-	-	60	0	0	0	0	0	0	0	
中部	7・6	30	-	-	-	-	3	10.0	120	0	0	0	72	72	60.0	30	0	0	0	0	0	0	
	8・6	30	0	0	1	13	14	46.7	-	-	-	-	-	-	30	0	0	0	0	0	0	0	
西部	7・6	60	-	-	-	-	5	8.3	180	0	0	0	43	43	23.9	60	0	0	0	0	0	0	
	8・6	60	0	0	0	19	19	31.7	-	-	-	-	-	-	60	0	0	0	0	0	0	0	
全県	7・6	150	-	-	-	-	19	12.7	500	0	0	0	130	130	26.0	150	0	0	0	0	0	0	
	8・6	150	0	1	3	53	57	38.0	-	-	-	-	-	-	150	0	0	0	0	0	0	0	

第7表 一般ほ場におけるもみ枯細菌病の発病状況

地区	月・ 半旬	もみ枯細菌病					
		調査 ほ数	発病程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計
東部	8・6	60	0	0	0	0	0
中部	8・6	30	0	0	0	0	0
西部	8・6	60	0	0	0	0	0
全県	8・6	150	0	0	0	0	0

c. 害虫の発生状況

(a) 県予察ほ場

第8表 県予察ほ場におけるニカメイガフェロモントラップの半旬別誘殺数

世 代	月	半 旬					
		1	2	3	4	5	6
越冬世代成虫	4月	0	0	0	0	0	0
	5月	0	0	0	0	0	0
	6月	0	0	0	0	0	0
	7月	0	0	0	0	0	0
第1世代成虫	8月	0	0	0	0	0	0

第9表 県予察ほ場におけるセジロウンカ成幼虫の発消消長（25株払い落とし虫数）

調 査 月 日	コシヒカリ (5. 28植)						きぬむすめ (5. 28植)					
	防 除 区			無防除区			防 除 区			無防除区		
	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計
7.2	0	0	0	0	6.9	6.9	0	0	0	0.5	7.4	7.8
11	0	0	0	0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	0.5	0	0.5
22	0	2.0	2.0	0	40.2	40.2	0	1.0	1.0	0	7.8	7.8
8.9	0	11.8	11.8	1.5	53.9	55.4	0	2.9	2.9	3.4	119.1	122.5
22	1.0	12.7	13.7	2.0	362.3	364.2	0.5	36.8	37.3	2.9	139.2	142.2
9.2	0	32.4	32.4	7.8	267.6	275.5	1.0	103.9	104.9	9.3	232.4	241.7

第10表 県予察ほ場におけるトビイロウンカ成幼虫の発消消長（25株払い落とし虫数）

調 査 月 日	コシヒカリ (5. 28植)						きぬむすめ (5. 28植)					
	防 除 区			無防除区			防 除 区			無防除区		
	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計
7.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9.2	0	0	0	0	4.9	4.9	0	2.0	2.0	0	6.4	6.4

第11表 県予察ほ場におけるヒメトビウンカ成幼虫の発消消長（25株払い落とし虫数）

調 査 月 日	コシヒカリ (5. 28植)						きぬむすめ (5. 28植)					
	防 除 区			無防除区			防 除 区			無防除区		
	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計	成虫	幼虫	計
7.2	0	0	0	0	16.2	16.2	0	0	0	1.0	37.7	38.7
11	0	1.5	1.5	0	16.7	16.7	0	6.4	6.4	0	28.9	28.9
22	0	3.4	3.4	0.5	35.8	36.3	2.0	12.7	14.7	2.9	50.5	53.4
8.9	0	11.8	11.8	0.5	81.9	82.4	0	34.8	34.8	5.4	199.5	204.9
22	5.4	31.9	37.3	12.3	335.3	347.5	2.5	66.7	69.1	4.4	225.5	229.9
9.2	2.9	164.7	167.6	10.8	616.2	627.0	6.9	178.4	185.3	10.3	345.1	355.4

(b) 一般ほ場

第12表 一般ほ場におけるイネミズゾウムシの発生状況

地区	月・ 半旬	調査 ほ場 数	イネミズゾウムシ					
			発病程度別ほ場数					発生ほ場 率（％）
			甚	多	中	少	計	
東部	6・3	60	0	0	0	23	23	38.3
中部		30	0	0	0	8	8	26.7
西部		60	0	0	0	27	27	45.0
全県		150	0	0	0	58	58	38.7

第13表 一般ほ場におけるセジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカの発生状況

地区	月・ 半旬	調査 ほ場 数	セジロウンカ						トビイロウンカ						ヒメトビウンカ					
			発病程度別ほ場数					発生ほ場 率(%)	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率(%)	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率(%)
			甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
東部	7・6	60	0	0	0	32	32	53.3	0	0	0	0	0	0	0	0	10	48	58	96.7
	8・6	55	-	-	-	-	-	-	0	0	0	25	25	45.5	-	-	-	-	-	-
中部	7・6	30	0	0	0	16	16	53.3	0	0	0	0	0	0	0	1	10	18	29	96.7
	8・6	30	-	-	-	-	-	-	0	0	0	20	20	66.7	-	-	-	-	-	-
西部	7・6	60	0	0	0	37	37	61.7	0	0	0	0	0	0	0	0	8	43	51	85.0
	8・6	60	-	-	-	-	-	-	0	0	0	34	34	56.7	-	-	-	-	-	-
全県	7・6	150	0	0	0	85	85	56.7	0	0	0	0	0	0	0	1	28	109	138	92.0
	8・6	145	-	-	-	-	-	-	0	0	0	79	79	54.5	-	-	-	-	-	-

第14表 一般ほ場におけるイネシנגアレセンチュウ、フタオビコヤガの発生状況

地区	月・ 半旬	調査 ほ場 数	イネシングアレセンチュウ						フタオビコヤガ					
			発病程度別ほ場数					発生ほ場 率(%)	発病程度別ほ場数					発生ほ場 率(%)
			甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
東部	7・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	8.3
	8・6	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中部	7・6	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3.3
	8・6	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西部	7・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	13.3
	8・6	60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全県	7・6	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	14	9.3
	8・6	150	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第 15 表 一般ほ場におけるニカメイガ、コブノメイガの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	ニカメイガ						コブノメイガ					
			発病程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	発病程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
			甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
東部	7・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	8.3
	8・6	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	25	45.5
中部	7・6	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	10.0
	8・6	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	20	66.7
西部	7・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	6.7
	8・6	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	34	56.7
全県	7・6	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	12	8.0
	8・6	145	0	0	0	0	0	0	0	0	0	79	79	54.5

第 16 表 一般ほ場におけるツマグロヨコバイの発生状況

地区	月・半旬	調査ほ場数	ツマグロヨコバイ					
			発病程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
			甚	多	中	少	計	
東部	7・6	60	0	0	0	28	28	46.7
	8・6	60	0	0	0	25	25	41.7
中部	7・6	30	0	0	0	12	12	40.0
	8・6	30	0	0	0	16	16	53.3
西部	7・6	60	0	0	0	28	28	46.7
	8・6	60	0	0	0	35	35	58.3
全県	7・6	150	0	0	0	68	68	45.3
	8・6	150	0	0	0	76	76	50.7

第 17 表 フェロモントラップにおけるニカメイガ雄成虫の半旬別誘殺数

世代	月・半旬	琴浦町槻下	
		本年	平年
越冬世代	5・5	0	0.0
	5・6	0	0.0
	6・1	0	1.2
	6・2	0	0.4
	6・3	0	1.3
	6・4	0	1.6
	6・5	0	0.5
	6・6	0	0.4
	合計	0	5.4
第 1 世代	8・1	0	2.9
	8・2	0	0.5
	8・3	0	0.8
	8・4	0	6.7
	8・5	0	1.2
	8・6	0	2.5
	合計	0	14.6

第 18 表 一般ほ場における斑点米カメムシ類の発生状況（8 月 4 ～ 13 日調査）

地区名	市町村名	地点名	斑点米カメムシ類の種類								合計
			アカシ カスミカメ	ホソミドリ カスミカメ類	ホソハリ カメムシ	トゲシラホシ カメムシ	クモハリ カメムシ	シラホシカメ ムシ	ムギカスミ カメ	その他	
東部	鳥取市(旧国府町)	玉鉾	38.0	0	0	0	1.0	0	0.3	0	39.3
	〃 (旧福部村)	栗谷	1.3	0	0	0	4.7	0	0	0	6.0
	〃 (〃)	重高	1.7	0	0	0	4.0	0	0	0	5.7
	〃	嶋	4.7	0	0	0.3	1.3	0	0	0	6.3
	岩美町	蒲生	2.3	0	0	0	0.7	0	0	0	3.0
	若桜町	須澄	8.3	0	0	0	0	0	0	0	8.3
中部	倉吉市	小鴨	4.7	0	0	0	1.0	0	0	0	5.7
	〃 (旧関金町)	今西	4.3	0	0	0	3.7	0	0	0	8.0
	湯梨浜町	長瀬	5.0	0	0	0.3	1.7	0	0	0	7.0
	北栄町	瀬戸	28.7	0.7	0.3	0	1.7	0	0	0	31.4
	琴浦町	出上	15.7	0	0	0	0	0	0	0	15.7
	〃	美好	23.0	0.7	0	0	1.7	0	0	0	25.4
西部	米子市	東八幡	4.7	0	0.3	0	0.3	0	0	0	5.3
	〃	福岡	4.7	0	0.3	0	0.7	0	0	0	5.7
	南部町(旧西伯町)	天万	13.0	1.3	0	0	0	0	0	0	14.3
	〃 (〃)	原	1.3	0	0	0	2.3	0	0	0	3.6
	伯耆町(旧岸本町)	吉長	4.7	0	0	0	0	0	0	0	4.7
	〃 (旧溝口町)	二部	3.7	0	0	0	6.7	0	0	0	10.4
	日野町	黒坂	2.3	0	0	0	0.7	0	0	0	3.0
	日南町	矢戸	2.7	0	0	0	0	0	0	0	2.7
	〃	下石見	2.0	0	0	0	1.3	0	0	0	3.3
	大山町	佐摩	4.0	0	0	0	0	0	0	0	4.0
東部	虫 数 (頭)		9.4	0	0	0.1	2.0	0	0.1	0	11.4
	発生ほ場率 (%)		72.2	0	0	5.6	61.1	0	5.6	0	88.9
中部	虫 数 (頭)		13.6	0.2	0.1	0.1	1.6	0	0	0	15.5
	発生ほ場率 (%)		94.4	22.2	5.6	5.6	61.1	0	0	0	100.0
西部	虫 数 (頭)		4.3	0.1	0.1	0	1.2	0	0	0	5.7
	発生ほ場率 (%)		73.3	3.3	6.7	0	33.3	0	0	0	90.0
県平均 R01年	虫 数 (頭)		8.2	0.1	0.0	0.0	1.5	0	0	0	9.9
	発生ほ場率 (%)		78.8	7.6	4.5	3.0	53.0	0	1.5	0	92.4

注) 捕虫網 25 往復 50 回振りすくい取り平均成幼虫数。

(c) 予察灯

第19表 予察灯におけるニカメイガ成虫誘殺状況

項 目		地				点			
		鳥取		岩美		琴浦		日吉津	
		本 年	平 年	本 年	平 年	本 年	平 年	本 年	平 年
越冬世代成虫	初飛来日	-	-	-	-	-	-	-	-
	最盛日	-	-	-	-	-	-	-	-
	最盛半旬	-	-	-	-	-	-	-	-
	50%誘殺日	-	-	-	-	-	-	-	-
	終息日	-	-	-	-	-	-	-	-
	総誘殺数(頭)	0	0	0	0	0	0	0	0
	性比(♀/(♀+♂))	-	-	-	-	-	-	-	-
第1世代成虫	初飛来日	-	-	8月20日	-	-	-	-	-
	最盛日	-	-	8月20日	-	-	-	-	-
	最盛半旬	-	-	8月4半旬	-	-	-	-	-
	50%誘殺日	-	-	-	-	-	-	-	-
	終息日	-	-	8月20日	-	-	-	-	-
	総誘殺数(頭)	0	0	1.0	0	0	0	0	0
	性比(♀/(♀+♂))	-	-	1.0	-	-	-	-	-

注) -は値がない、または総誘殺数10頭以下の年が過去10年間の内、5年以上ある場合。

第20表 予察灯におけるセジロウンカ成虫誘殺状況

項 目		地				点			
		鳥取		岩美		琴浦		日吉津	
		本 年	平 年	本 年	平 年	本 年	平 年	本 年	平 年
	初飛来日	6月28日	7月12日	5月17日	7月5日	7月12日	7月9日	6月29日	6月25日
	最盛半旬	8月5, 6半旬	8月6半旬	8月6半旬	8月4半旬	8月6半旬	8月5半旬	8月6半旬	8月2半旬
	最盛半旬誘殺数(頭)	(7)	29	323	317	125	137	224	239
	終息日	10月18日	10月2日	10月7日	10月13日	10月1日	10月8日	10月18日	10月13日
	誘殺日数(日)	18	21.1	33	48.4	15	36.3	35	53.7
	総誘殺数(頭)	29	66.7	371	767.0	156	307.6	283	557.2
	性比(♀/(♀+♂))	(0.41)	0.34	0.38	0.36	0.31	0.41	0.27	0.38

注) () 内数値は、誘殺数が30頭以下で少ない等により、確定できない場合の参考値。

第21表 予察灯におけるトビイロウンカ成虫誘殺状況

項 目		地				点			
		鳥取		岩美		琴浦		日吉津	
		本 年	平 年	本 年	平 年	本 年	平 年	本 年	平 年
	初飛来日	9月10日	9月11日	7月4日	8月24日	9月2日	9月14日	9月3日	9月13日
	最盛半旬	9月2半旬, 10月3半旬	9月3半旬	9月1半旬	9月3半旬	9月1半旬	10月1半旬	9月2半旬	10月2半旬
	最盛半旬誘殺数(頭)	((5))	13.0	38	40.6	((8))	77.7	(12)	89.0
	終息日	10月13日	10月21日	10月8日	10月3日	9月10日	10月2日	9月8日	10月9日
	誘殺日数(日)	4	0.9	22	5.9	4	1.3	4	2.0
	総誘殺数(頭)	6	2.0	92	32.4	9	24.9	20	24.9
	性比(♀/(♀+♂))	((0.0))	0.43	0.53	0.51	((0.44))	0.69	(0.5)	0.37

注) () 及び(())内数値は、誘殺数が30頭以下及び10頭以下で少ない等により、確定できない場合の参考値。

第22表 予察灯におけるヒメトビウンカ成虫誘殺状況

項 目	地				点			
	鳥取		岩美		琴浦		日吉津	
	本 年	平 年	本 年	平 年	本 年	平 年	本 年	平 年
初飛来日	5月30日	7月25日	6月7日	7月12日	6月27日 6月5半旬, 8月6半旬, 9月1半旬	7月10日	7月8日	6月20日
最盛半旬	7月1半旬	9月2半旬	8月6半旬	8月6半旬	8月6半旬, 9月1半旬	8月5半旬	8月6半旬	8月3半旬
最盛半旬誘殺数(頭)	(8)	47.6	20	37.1	((1))	5.9	(8)	15.4
終息日	9月16日	9月25日	10月7日	9月30日	9月2日	9月13日	9月22日	9月30日
誘殺日数(日)	18	12.3	15	27.9	3	8.9	15	23.7
総誘殺数(頭)	26	51.8	33	103.3	3	14.8	23	55.0
性比(♀/(♀+♂))	(0.19)	0.36	0.45	0.33	((0))	0.36	(0.35)	0.31

注) () 及び(())内数値は、誘殺数が30頭以下及び10頭以下で少ない等により、確定できない場合の参考値。

第23表 予察灯におけるツマグロヨコバイ成虫誘殺状況

項 目	地				点			
	鳥取		岩美		琴浦		日吉津	
	本 年	平 年	本 年	平 年	本 年	平 年	本 年	平 年
初飛来日	6月27日	7月4日	6月26日	6月20日	6月27日	6月19日	6月29日	6月18日
最盛半旬	9月1半旬	8月3半旬	9月2半旬	8月6半旬	8月1半旬	8月4半旬	9月2半旬	8月2半旬
最盛半旬誘殺数(頭)	(6)	112.4	288	1733.6	131	540.2	16	102.3
終息日	9月10日	9月18日	10月2日	9月30日	9月22日	9月27日	9月16日	9月24日
誘殺日数(日)	15	24.3	52	57.0	47	60.1	22	42.4
総誘殺数(頭)	19	247.7	767	4032.9	394	1499.4	51	313.9
性比(♀/(♀+♂))	(0.47)	0.39	0.43	0.44	0.42	0.48	0.25	0.21

注) () 内数値は、誘殺数が30頭以下で少ない等により、確定できない場合の参考値。

第24表 予察灯によるニカメイガ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	—	0	—	0	—
	6	0	0	0	—	0	—	0	—
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
7	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
8	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	1.0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	1.0	0	0	0	0	0
9	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
10	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		0	0	1.0	0	0	0	0	0

第25表 予察灯によるセジロウンカ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0		—		—		—
	6	0	0		—	0	—	0	—
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	1.0	0	0	0	0	0
	5	0	0	1.0	0	0	0	0	0.1
	6	0	0	0	0	0	0	0	0.2
	小計	0	0	2.0	0	0	0	0	0.3
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0.2
	2	0	0	1.0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0.6
	4	0	0	0	0.1	0	0.3	0	6.8
	5	0	0.3	0	0.3	0	1.6	0	8.8
	6	2.0	0.2	2.0	3.7	0	0.1	1.0	6.7
	小計	2.0	0.6	3.0	4.1	0	2.0	1.0	23.0
7	1	3.0	1.0	2.0	3.9	0	3.4	0	21.4
	2	0	0.7	3.0	18.8	0	2.2	3.0	5.7
	3	0	3.2	0	61.6	1.0	16.4	1.0	98.3
	4	0	0.1	1.0	17.2	0	5.9	0	20.3
	5	1.0	1.2	1.0	13.0	0	7.2	0	13.7
	6	0	0.9	0	35.8	0	20.0	2.0	27.0
	小計	4.0	7.1	7.0	150.2	1.0	55.2	6.0	186.4
8	1	0	1.3	1.0	22.6	0	12.6	4.0	13.9
	2	0	2.8	0	32.1	0	33.7	1.0	19.8
	3	0	4.7	0	91.4	2.0	15.2	2.0	23.4
	4	0	10.5	3.0	110.8	15.0	75.7	9.0	44.1
	5	7.0	8.1	14.0	162.1	0	23.7	8.0	36.1
	6	7.0	10.3	323.0	67.5	125.0	28.7	224.0	106.8
	小計	14.0	37.7	341.0	486.5	142.0	189.4	248.0	244.0
9	1	2.0	2.7	7.0	31.4	9.0	16.6	17.0	7.3
	2	1.0	5.4	4.0	43.0	0	18.2	3.0	26.5
	3	1.0	6.9	2.0	38.4	0	18.9	0	18.8
	4	2.0	3.3	1.0	32.4	2.0	17.0	0	10.3
	5	0	0.6	0	9.7	0	7.0	2.0	4.1
	6	1.0	1.0	2.0	5.4	1.0	5.9	2.0	6.4
	小計	7.0	19.8	16.0	160.4	12.0	83.6	24.0	73.3
10	1	1.0	0.8	1.0	12.3	1.0	2.4	2.0	3.3
	2	0	0	1.0	1.3	0	3.3	1.0	2.3
	3	0	0.1	0	0.8	0	2.0	0	0.6
	4	1.0	0	0	0.4	0	0.2	1.0	0.6
	5	0	0.1	0	2.2	0	0.9	0	0.1
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2.0	1.0	2.0	17.1	1.0	8.9	4.0	6.8
合計		29.0	66.1	371.0	818.3	156.0	339.1	283.0	533.8

第26表 予察灯によるトビイロウンカ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	—	0	—	0	—
	6	0	0	0	—	0	—	0	—
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
7	1	0	0	8.0	0	0	0	0	0
	2	0	0	5.0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	13.0	0	0	0	0	0
8	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0.1	2.0	0.8	0	0	0	0
	3	0	0	2.0	0	0	0	0	0
	4	0	0	1.0	0.4	0	0	0	0
	5	0	0	1.0	0.7	0	0.5	0	0
	6	0	0	0	0.4	0	0	0	0.3
	小計	0	0.1	6.0	2.3	0	0.5	0	0.3
9	1	0	0	38.0	3.3	8.0	0.1	8.0	0
	2	2.0	0	10.0	0.8	1.0	0.3	12.0	0
	3	1.0	1.4	1.0	7.4	0	0	0	0
	4	1.0	0.2	4.0	1.0	0	0	0	0
	5	0	0	18.0	0.2	0	18.3	0	0.1
	6	0	0	1.0	4.5	0	1.1	0	1.2
	小計	4.0	1.6	72.0	17.2	9.0	19.8	20.0	1.3
10	1	0	0.1	0	1.1	0	0	0	2.6
	2	0	0.1	1.0	8.3	0	4.1	0	18.8
	3	2.0	0	0	3.2	0	0.4	0	2.3
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0.1	0	0.1	0	0	0	0
	6	0	0	0	0.1	0	0.1	0	0
	小計	2.0	0.3	1.0	12.8	0	4.6	0	23.7
合計		6.0	2.0	92.0	32.3	9.0	24.9	20.0	25.3

第27表 予察灯によるヒメトビウンカ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1		0		—		—		—
	2		0		—		—		—
	3		0		—		—		—
	4		0		—		—		—
	5		0		—		—		—
	6		0	0	—	0	—	0	—
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	1.0	0	0	0	0	0	0	0.2
	小計	1.0	0	0	0	0	0	0	0.3
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	1.0	0	0	0	0	0.2
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0.7
	5	0	0	0	0.1	0	0	0	1.0
	6	6.0	0	2.0	0.2	1.0	0.4	0	0.4
	小計	6.0	0	3.0	0.7	1.0	0.4	0	2.6
7	1	8.0	0.4	1.0	0.1	0	0.1	0	0.4
	2	1.0	0.1	1.0	0.4	0	0	2.0	0.8
	3	0	0.2	1.0	0.9	0	0	0	1.2
	4	0	0.3	0	2	0	0.7	1.0	2.1
	5	1.0	0	0	2.2	0	1.3	0	1.7
	6	0	0.1	0	0.9	0	1.3	0	3.6
	小計	10.0	1.2	3.0	6.1	0	3.7	3.0	9.8
8	1	0	0.1	0	1.3	0	0.9	0	2.6
	2	1.0	0	0	5.2	0	0.8	0	3.1
	3	0	0.7	0	2.8	0	1.1	1.0	2.1
	4	0	1.9	0	10.9	0	2.3	1.0	8.0
	5	1.0	2.8	3.0	24.6	0	2.7	3.0	8.5
	6	2.0	3.0	20.0	13.1	1.0	0.6	8.0	3.4
	小計	4.0	8.6	23.0	57.9	1.0	8.3	13.0	27.8
9	1	3.0	1.3	3.0	5.6	1.0	1.1	3.0	2.8
	2	1.0	1.3	0	12.1	0	1.1	2.0	1.8
	3	0	38.3	0	17.4	0	0.7	1.0	1.8
	4	1.0	1.3	0	6.2	0	0.1	0	1.5
	5	0	0.4	0	2.0	0	0.4	1.0	1.6
	6	0	0.9	0	1.4	0	0	0	0.6
	小計	5.0	43.7	0	44.8	1.0	3.4	7.0	10.0
10	1	0	0.6	0	1.0	0	0	0	0.6
	2	0	0	1.0	0.3	0	0.1	0	0
	3	0	0.1	0	0.2	0	0	0	0.1
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0.7	1.0	1.6	0	0.1	0	1.0
合計		26.0	54.1	30.0	111.0	3.0	16.0	23.0	51.5

第28表 予察灯によるツマグロヨコバイ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	—	0	—	0	—
	6	0	0	0	—	0	—	0	—
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	3	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	4	0	0	0	0.1	0	0.1	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0.1	0	0.1	0	0.2
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0.3	0	0	0	0.1
	3	0	0	0	1.1	0	0.3	0	1.2
	4	0	0.1	0	0.6	0	0.2	0	5.7
	5	0	0.4	0	0.6	0	0.9	0	15.2
	6	1.0	0.1	3.0	0.6	3.0	0.6	4.0	24.5
	小計	1.0	0.6	3.0	3.2	3.0	2.0	4.0	46.7
7	1	1.0	1.3	5.0	1.0	1.0	7.7	1.0	14.5
	2	2.0	2.3	3.0	6.0	2.0	13.9	0	13.4
	3	0	5.1	1.0	16.5	0	30.5	0	8.1
	4	1.0	6.7	3.0	44.4	2.0	39.9	0	7.2
	5	1.0	15.5	23.0	159.1	4.0	76.3	2.0	39.6
	6	0	66.7	66.0	130.2	20.0	173.8	6.0	63.7
	小計	5.0	97.6	101.0	357.2	29.0	342.0	9.0	146.5
8	1	0	39.9	64.0	78.6	131.0	184.2	2.0	39.2
	2	0	19.0	27.0	156.6	85.0	142.1	0	13.3
	3	0	3.6	3.0	108.7	14.0	59.9	1.0	4.2
	4	0	1.8	3.0	146.4	2.0	65.5	2.0	4.4
	5	0	2.2	2.0	128.8	0	12.7	0	5.0
	6	2.0	10.7	62.0	257.9	17.0	41.9	6.0	13.1
	小計	2.0	77.1	161.0	877.0	249.0	506.2	11.0	79.3
9	1	6.0	21.1	164.0	313.4	36.0	41.5	9.0	9.1
	2	5.0	23.6	288.0	556.8	66.0	58.6	16.0	7.8
	3	0	21.0	36.0	1551.8	6.0	372.2	1.0	7.4
	4	0	5.6	0	298.2	4.0	109.0	1.0	11.4
	5	0	1.1	0	46.5	1.0	63.7	0	1.1
	6	0	0	8.0	12.2	0	2.6	0	0.9
	小計	11.0	72.4	496.0	2778.9	113.0	647.6	27.0	37.8
10	1	0	0	6.0	6.3	0	1.2	0	0.2
	2	0	0	0	8.8	0	0.3	0	0.1
	3	0	0	0	1.4	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	6.0	16.5	0	1.5	0	0.3
合計		19.0	247.7	767.0	4032.9	394.0	1499.4	51.0	310.8

第29表 予察灯によるイネミズゾウムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	—	0	—	0	—
	6	0	0	0	—	0	—	0	—
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0.1	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	1.0	0
	3	0	0	0	0.3	0	0	0	0
	4	0	0	0	0.7	0	0	0	0
	5	0	0.1	0	1.1	0	0	1.0	0.2
	6	0	0.2	0	0.3	0	0	0	0
	小計	0	0.4	0	2.4	0	0	2.0	0.2
6	1	0	0.1	0	0.2	0	0	0	0
	2	0	0.2	0	0	0	0	0	0
	3	0	0.2	0	0.2	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	5	0	0.2	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0.7	0	0.4	0	0	0	0.1
7	1	0	0	1.0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0.1	0	0	0	0	0	0.1
	4	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	5	0	0	0	0.1	0	0.1	1.0	0.1
	6	0	0.3	0	0.6	0	0.2	0	0
	小計	0	0.4	1.0	0.7	0	0.3	1.0	0.2
8	1	4.0	0.3	0	0.4	0	0.4	0	0
	2	0	0.2	0	0.1	0	0.5	0	0
	3	1.0	0.6	0	0.2	2.0	0.2	0	0
	4	1.0	0.1	0	0.1	0	0.1	0	0
	5	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	6.0	1.2	0	0.9	2.0	1.2	0	0
9	1	0	0.2	0	0	0	0.1	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0.2	0	0	0	0.1	0	0
10	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		6.0	2.9	1.0	4.4	1.0	1.2	3.0	0.5

第30表 予察灯によるアカスジカスミカメ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0						
	2	0	0						
	3	0	0						
	4	0	0		0				
	5	0	0		0	0	0		0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0.1	0	0.1	0	0
	3	0	0.2	0	0.1	0	0.1	0	0.2
	4	4.0	2.8	2.0	0.3	0	0.3	0	0.1
	5	25.0	9.1	1.0	0.7	1.0	0	2.0	0.7
	6	57.0	12.3	4.0	4.6	2.0	0.5	0	0.8
	小計	86.0	24.4	7.0	5.8	3.0	1.0	2.0	1.8
6	1	41.0	11.2	6.0	7.4	0	0.4	0	1.3
	2	21.0	14.7	16.0	14.4	2.0	0.6	0	0.8
	3	1.0	7.2	8.0	27.6	0	2.5	0	0.4
	4	4.0	12.7	1.0	31.9	1.0	3.3	0	2.0
	5	6.0	60.3	29.0	64.7	0	6.7	0	6.1
	6	262.0	175.8	696.0	119.8	16.0	19.2	8.0	21.3
	小計	335.0	281.9	756.0	265.8	19.0	32.7	8.0	31.9
7	1	424.0	173.5	629.0	169.5	9.0	49.7	5.0	43.8
	2	198.0	225.1	262.0	198.7	12.0	106.3	1.0	33.2
	3	9.0	137.2	101.0	90.3	22.0	107.7	2.0	19.7
	4	14.0	94.0	41.0	55.1	19.0	58.1	22.0	15.0
	5	29.0	36.9	32.0	46.9	26.0	53.9	52.0	14.7
	6	2.0	20.8	22.0	43.9	11.0	62.0	11.0	10.3
	小計	676.0	687.5	1087.0	604.4	99.0	437.6	93.0	136.7
8	1	2.0	33.6	18.0	30.3	34.0	47.6	7.0	8.3
	2	5.0	36.2	25.0	28.9	19.0	58.4	15.0	11.1
	3	4.0	16.5	14.0	32.2	12.0	36.1	17.0	7.1
	4	0	19.6	9.0	41.4	9.0	28.2	7.0	8.1
	5	1.0	18.0	17.0	54.1	9.0	17.3	4.0	9.4
	6	3.0	19.2	45.0	51.4	17.0	17.1	28.0	7.7
	小計	15.0	143.0	128.0	238.3	100.0	204.6	78.0	51.8
9	1	5.0	18.9	48.0	50.6	14.0	9.2	39.0	5.5
	2	23.0	11.2	56.0	61.5	20.0	6.6	70.0	2.6
	3	2.0	24.9	33.0	86.2	7.0	8.9	18.0	2.2
	4	9.0	11.7	16.0	84.2	1.0	3.0	15.0	3.0
	5	2.0	3.4	14.0	29.1	3.0	2.4	3.0	1.0
	6	3.0	3.1	99.0	37.1	4.0	2.3	5.0	1.4
	小計	44.0	73.2	266.0	348.7	49.0	32.4	150.0	15.7
10	1	5.0	14.0	77.0	33.0	1.0	1.7	43.0	3.3
	2	0	3.5	4.0	34.9	0	0.6	11.0	0.1
	3	0	1.7	1.0	9.2	0	0.5	0	0.1
	4	0	0.1	4.0	2.4	0	0	3.0	0.3
	5	0	0.3	10.0	3.8	0	0.2	0	0
	6	0	0.2	0	5.1	0	0	0	0
	小計	5.0	19.8	96.0	88.4	1.0	3.0	57.0	3.8
合計		1161.0	1229.8	2340.0	1551.3	271.0	711.3	388.0	241.8

第31表 予察灯によるホソミドリカスミカメ類成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	—	0	—	0	—
	6	0	0	0	—	0	—	0	—
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0.1	0	0	0	0.3	0	0.3
	2	0	0	0	0.5	0	1.2	0	0.6
	3	0	0	1.0	0.2	0	0.1	0	2.1
	4	0	0.4	0	0.2	0	0.1	0	2.5
	5	0	0.1	0	0.1	0	0.3	1.0	1.0
	6	0	0.3	0	0.4	0	0	0	0.2
	小計	0	0.9	1.0	1.4	0	2.0	1.0	6.7
6	1	0	0.2	0	0.7	0	0.4	0	0.5
	2	0	1.8	0	5.9	0	0	0	6.5
	3	2.0	4.9	2.0	18.1	2.0	2.7	14.0	17.5
	4	8.0	8.7	3.0	12.4	0	5.4	7.0	56.4
	5	2.0	13.9	9.0	12.2	2.0	8.4	11.0	51.8
	6	10.0	10.0	24.0	11.0	13.0	18.0	27.0	48.6
	小計	22.0	39.5	38.0	60.3	17.0	34.9	59.0	181.3
7	1	8.0	9.3	7.0	12.3	2.0	32.5	14.0	39.0
	2	5.0	15.8	4.0	13.5	1.0	35.5	1.0	57.3
	3	2.0	22.5	7.0	13.1	8.0	43.5	25.0	65.4
	4	1.0	14.4	1.0	10.0	11.0	34.2	96.0	28.7
	5	1.0	3.7	4.0	6.3	11.0	34.5	45.0	18.0
	6	1.0	3.9	2.0	6.5	3.0	28.8	5.0	21.8
	小計	18.0	69.6	25.0	61.7	36.0	208.9	186.0	230.1
8	1	0	6.8	1.0	6.0	7.0	17.3	16.0	19.9
	2	0	6.4	0	10.0	7.0	16.5	28.0	19.1
	3	0	1.8	1.0	8.4	14.0	11.1	14.0	8.7
	4	0	1.1	0	9.4	6.0	6.4	5.0	9.0
	5	0	1.1	0	15.8	3.0	4.1	4.0	13.8
	6	0	1.5	15.0	19.2	7.0	2.6	14.0	6.3
	小計	0	18.7	17.0	68.7	44.0	57.9	81.0	76.8
9	1	0	0.6	14.0	9.2	3.0	3.1	8.0	7.9
	2	1.0	0.8	9.0	10.8	5.0	4.3	3.0	3.2
	3	1.0	0.6	2.0	5.4	0	2.9	1.0	6.1
	4	0	4.4	0	7.4	1.0	1.4	0	9.8
	5	0	0.3	3.0	2.5	0	2.5	1.0	6.0
	6	0	0.1	6.0	2.9	3.0	0.5	1.0	4.1
	小計	2.0	6.8	34.0	38.2	12.0	14.7	14.0	37.1
10	1	0	0.7	6.0	3.2	1.0	0.3	3.0	1.9
	2	0	0.5	1.0	2.2	0	0.2	0	0.6
	3	0	0.8	0	0.5	0	0.6	0	0
	4	0	0	2.0	0	0	0.1	4.0	0
	5	0	0.1	1.0	0	0	0.2	1.0	0.3
	6	0	0	0	0	0	0	0	0.4
	小計	0	2.1	10.0	5.9	1.0	1.4	8.0	3.2
合計		42.0	137.6	125.0	236.1	110.0	319.8	349.0	535.2

第32表 予察灯によるイナズマヨコバイ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0	0	—	0	—	0	—
	6	0	0	0	—	0	—	0	—
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0.1	0	0	0	0.1
	5	0	0.4	5.0	0.8	0	0.4	0	1.1
	6	0	1.6	10.0	11.7	1.0	5.6	0	4.1
	小計	0	2.0	15.0	12.6	1.0	6.0	0	5.3
6	1	0	1.2	6.0	30.0	0	2.0	1.0	22.6
	2	0	1.2	18.0	19.0	0	4.6	1.0	26.8
	3	0	0.5	7.0	13.8	0	1.3	1.0	20.6
	4	0	0.1	0	3.3	0	0.7	0	14.9
	5	0	0.2	1.0	1.2	0	0.5	0	12.3
	6	0	0.1	2.0	0.2	0	0	0	2.0
	小計	0	3.3	34.0	67.5	0	9.0	3.0	99.2
7	1	0	0	1.0	0.1	0	0.1	0	0.6
	2	0	0	0	0.7	0	1.1	0	2.3
	3	0	0	1.0	4.4	0	9.3	0	22.8
	4	0	0.1	1.0	28.3	0	24.7	2.0	46.4
	5	0	0.4	1.0	95.5	0	76.6	5.0	100.5
	6	1.0	0.2	2.0	76.0	0	104.2	0	99.2
	小計	1.0	0.7	6.0	205.0	0	215.9	7.0	271.8
8	1	0	0.1	0	50.5	4.0	83.7	0	62.4
	2	0	0.6	3.0	123.6	4.0	89.5	0	42.1
	3	0	0.9	0	102.1	5.0	161.2	0	77.6
	4	0	1.8	3.0	263.7	1.0	480.7	1.0	87.9
	5	1.0	0.6	1.0	80.1	4.0	32.9	0	114.3
	6	0	0.5	8.0	68.8	2.0	39.3	2.0	195.7
	小計	1.0	4.5	15.0	688.8	20.0	887.2	3.0	580.0
9	1	0	1.2	30.0	47.8	3.0	67.3	10.0	98.1
	2	0	0.4	47.0	64.2	2.0	40.5	5.0	91.3
	3	0	2.9	21.0	323.3	0	108.1	0	88.8
	4	0	0	2.0	73.2	0	13.5	0	50.4
	5	0	0.3	2.0	72.5	0	18.8	0	56.4
	6	0	0	6.0	20.6	2.0	6.3	0	34.2
	小計	0	4.8	108.0	601.6	7.0	254.4	15.0	419.3
10	1	0	0	21.0	20.6	1.0	3.4	0	31.8
	2	0	0	0	140.3	0	12.7	0	72.2
	3	0	0	0	12.7	0	1.4	0	6.1
	4	0	0	0	0.4	0	0.1	0	1.4
	5	0	0	0	0	0	0.1	0	0.2
	6	0	0	0	0	0	0	0	0.6
	小計	0	0	21.0	174.0	1.0	17.7	0	112.3
合計		2.0	15.3	199.0	1749.4	29.0	1390.2	28.0	1487.8

第33表 予察灯によるフタオビコヤガ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平均	本年	平均	本年	平均	本年	平均
4	1	0	0		—		—		—
	2	0	0		—		—		—
	3	0	0		—		—		—
	4	0	0		—		—		—
	5	0	0		—	0	—	0	—
	6	0	0	0	—	0	—	0	—
	小計	0	0	0	—	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0.1	0	0.1	0	0
	2	0	0	0	0.5	0	0.4	0	0
	3	0	0.3	1.0	1.4	0	1.4	0	0.2
	4	0	0.3	0	2.0	0	2.1	0	0.2
	5	0	0.7	0	2.4	0	0.9	0	0
	6	0	0.3	0	0.4	0	0.2	0	0.3
	小計	0	1.7	1.0	6.8	0	5.2	0	0.8
6	1	0	0.2	0	0.1	0	0	0	0
	2	0	0.3	0	0	0	0	0	0.2
	3	0	0.1	0	0.1	0	0	0	0
	4	0	0	0	0.1	0	0.1	0	0.6
	5	0	0.3	0	1.0	0	1.1	0	0.8
	6	0	2.8	0	1.2	1.0	0.4	0	3.9
	小計	0	3.8	0	2.5	1.0	1.7	0	5.4
7	1	0	3.1	0	0.8	0	0	0	4.9
	2	0	0.9	0	0.6	0	0.4	0	3.7
	3	0	1.0	0	2.2	1.0	2.2	0	5.7
	4	0	14.2	0	9.9	0	7.0	0	11.2
	5	1.0	19.2	0	8.6	0	5.2	0	19.3
	6	0	14.4	0	7.1	3.0	5.6	0	26.4
	小計	1.0	52.9	0	29.2	4.0	20.5	0	71.1
8	1	1.0	7.2	0	10.0	1.0	7.4	0	17.7
	2	1.0	7.7	0	37.6	6.0	35.4	0	12.4
	3	0	8.6	3.0	22.6	7.0	18.6	0	10.7
	4	1.5	13.7	4.0	14.1	11.0	12.8	2.0	11.4
	5	2.0	5.4	6.0	5.9	10.0	5.2	1.0	8.6
	6	2.5	3.8	9.0	3.6	11.0	4.2	1.0	5.8
	小計	8.0	46.3	22.0	93.8	46.0	83.7	4.0	66.6
9	1	0	0.4	7.0	1.7	6.0	2.1	1.0	2.7
	2	0	0.4	20.0	0.8	3.0	1.1	2.0	1.4
	3	0	0.4	3.0	0.7	1.0	0.9	0	0.4
	4	0	0	1.0	0.3	0	0.4	0	0
	5	0	0	1.0	0.1	1.0	0.3	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	1.3	32.0	3.6	11.0	4.9	3.0	4.6
10	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		9.0	106.0	55.0	135.8	62.0	115.9	7.0	148.4

イ. ムギ類（二条オオムギ）

（ア）調査地点

- a. 県予察ほ場 鳥取市橋本
b. 一般ほ場 倉吉市新田・中江、北栄町江北

（イ）調査観察結果

a. 県予察ほ場

第1表 県予察ほ場における調査（うどんこ病）

調査日	上位3葉の 平均病斑面積率(%)
12.19	0
1.21	0
2.18	0
3.15	0
4.5	0
15	0
25	0
5.4	0
15	0
24	0

注) 品種：しゅんれい

第2表 県予察ほ場における調査（赤かび病）

調査日	発病穂率(%)	発病度
4.15	0	0
20	0	0
25	0	0
30	0	0
5.4	0	0
10	0	0
15	0	0
20	0	0
24	0	0

注) 品種：しゅんれい

b. 一般ほ場（令和元年5月）

第3表 一般ほ場における調査（うどんこ病）

市町村	調査地点	調査番号	5月10日
			上位3葉の 平均病斑面 積率（％）
北栄町	江北	①	0
		②	0
		③	0
倉吉市	中江	①	0
		②	0
倉吉市	新田	①	0
		②	0
		③	0
		④	0
		⑤	0
発生ほ場率（％）			0

第4表 一般ほ場における調査（網斑病）

市町村	調査地点	調 査 番 号	5月10日	
			発病茎率 (%)	上位 3 葉 の平均病 斑面積率 (%)
北栄町	江北	①	100.0	22.3
		②	90.0	22.6
		③	10.0	0.3
倉吉市	中江	①	50.0	5.3
		②	10.0	1.3
倉吉市	新田	①	70.0	4.3
		②	40.0	1.4
		③	80.0	3.7
		④	25.0	0.9
		⑤	50.0	0.9
発生ほ場率 (%)			100.0	-

第5表 一般ほ場における調査（その他）

病害虫名	調査ほ場数	発生程度別ほ場数					発生ほ場率（%）
		甚	多	中	少	計	
縞萎縮病	10	0	0	0	0	0	0
小さび病	10	0	0	0	0	0	0
赤かび病	10	0	0	0	0	0	0
黒節病	10	0	0	0	0	0	0
雲形病	10	0	0	0	0	0	0
斑葉病	10	0	0	0	0	0	0

注）調査月日：令和元年5月9日

(ウ) 予察灯

第6表 予察灯によるキリウジガガンボ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0		—				
	2	1.0	0.2		—				
	3	0	0.1		—				
	4	0	0		—				
	5	1.0	0.3	0	—	0		0	
	6	0	0.2	0	—	0	—	0	—
	小計	2.0	0.8	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0.4	1.0	0.8	0	0.4	0	0
	2	1.0	0.1	0	1.0	0	0.2	0	0
	3	1.0	0.1	1.0	0.7	0	0.2	0	0.2
	4	0	0.2	0	1.9	2.0	0.9	0	0.1
	5	0	0	0	1.1	0	0.8	0	0.4
	6	0	0.1	0	0.3	0	0.7	0	0.1
	小計	2.0	0.9	2.0	5.8	2.0	3.2	0	0.8
6	1	0	0	0	0.3	0	0.2	0	0.3
	2	0	0	0	0.2	0	0.5	0	0
	3	0	0.2	0	0.1	0	0	0	0.1
	4	0	0	0	0	0	0.1	0	0.1
	5	0	0	0	0	0	0.1	0	0
	6	0	0	0	0	0	0.1	0	0
	小計	0	0.2	0	0.6	0	1.0	0	0.5
7	1	0	0	0	0	0	0.1	0	0
	2	0	0	1.0	0	0	0.3	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	1.0	0.1	0	0.4	0	0
8	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
9	1	0	0	0	0	0	0.3	0	0
	2	0	0	0	0.1	0	0.5	0	0
	3	0	0	2.0	0.1	0	1.2	0	0.2
	4	0	0	0	0.6	0	0.9	0	0
	5	0	0.1	0	0.3	0	0.7	0	0
	6	0	0	0	0.1	0	0.5	0	0
	小計	0	0.1	2.0	1.2	0	4.0	0	0.2
10	1	0	0	0	0.5	0	0.1	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0.2	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0.1	0	0	0	0.1	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0.1	0	0.7	0	0.2	0	0
合計		4.0	2.1	5.0	8.4	2.0	8.8	0	1.5

ウ. ダイズ

(ア) 一般ほ場における調査地点

市町村	地点	市町村	地点
鳥取市	中大路	湯梨浜町	長瀬
鳥取市	谷一木	北栄町	瀬戸
岩美町	大谷	米子市淀江町	亀浜
倉吉市	四王子	米子市	下郷
倉吉市	寺谷	米子市	東八幡

(イ) 一般ほ場における調査観察結果

第1表 一般ほ場におけるダイズ害虫の発生状況

調査月日	ハスモンヨトウ							
	調査 ほ場数	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	平均白変 か所数
		甚	多	中	少	計		
9月24～25日	35	0	0	0	31	31	88.6	0.9

第2表 一般ほ場における成熟期の被害状況（100英サンプリング調査）

サンプリング日	調査 ほ場数	紫斑病						モザイク病（褐斑粒）					
		発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
		甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
10月24日～11月6日	30	0	0	1	8	9	30.0	0	0	0	4	4	13.3

サンプリング日	調査 ほ場数	フタスジヒメハムシ						カメムシ類					
		発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
		甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
10月24日～11月6日	30	0	0	0	24	24	80.0	0	6	15	8	29	96.7

サンプリング日	調査 ほ場数	マメシクイガ						その他子実害虫類					
		発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場数					発生ほ場率 (%)
		甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計	
10月24日～11月6日	30	0	1	1	9	11	36.7	0	0	0	3	3	10.0

(ウ) フェロモントラップ

第3表 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の半旬別誘殺数

月・半旬	鳥取市橋本		鳥取市河原町		湯梨浜町長和田	
	本 年	平年	本 年	平年	本 年	平年
5・1	0.0	1.0	-	-	-	-
5・2	0.5	1.1	-	-	-	-
5・3	2.5	2.4	-	-	-	-
5・4	11.0	3.4	-	-	-	-
5・5	5.8	8.0	-	-	-	-
5・6	3.2	7.7	-	-	-	-
6・1	5.0	6.8	-	0.9	-	1.1
6・2	29.0	7.6	-	3.0	-	10.6
6・3	86.0	10.7	-	2.1	-	11.7
6・4	48.0	11.4	-	5.7	-	15.8
6・5	41.0	14.6	-	5.0	-	38.5
6・6	21.0	31.7	33.0	31.4	-	44.5
7・1	30.0	36.2	11.0	32.6	59.7	76.7
7・2	25.0	44.3	14.0	33.8	77.6	103.3
7・3	22.0	42.4	11.0	28.4	96.4	127.5
7・4	15.8	46.7	2.0	38.7	145.0	140.8
7・5	22.2	34.5	46.0	37.8	94.3	135.5
7・6	35.0	36.7	47.0	47.2	199.6	182.2
8・1	33.0	27.9	68.0	52.9	370.7	213.5
8・2	38.7	43.8	48.0	76.9	294.3	254.6
8・3	22.5	44.8	73.0	97.3	266.9	324.4
8・4	25.8	40.7	89.0	87.8	321.2	329.5
8・5	48.0	36.5	123.0	145.1	611.7	430.8
8・6	77.0	60.6	225.0	128.4	494.4	515.6
9・1	37.0	63.2	156.0	118.5	505.5	467.3
9・2	45.0	69.2	-	147.0	475.6	447.8
9・3	37.5	65.7	-	115.5	326.4	342.9
9・4	39.3	62.2	-	139.8	289.3	244.3
9・5	14.2	61.1	-	69.2	272.6	252.5
9・6	45.0	54.7	-	68.5	261.4	216.3
10・1	43.3	63.4	-	99.3	497.1	261.4
10・2	58.7	48.1	-	143.8	300.0	316.1
10・3	50.0	55.2	-	126.0	164.2	253.2
10・4	57.0	55.4	-	73.7	146.7	170.9
10・5	51.0	50.7	-	87.7	295.7	145.4
10・6	66.0	67.6	-	56.3	263.8	156.3

注) 鳥取市橋本：武田乾式トラップ、その他の地点：ファネルトラップ

(エ) 予察灯

第4表 予察灯によるイチモンジカメムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0						
	2	0	0						
	3	0	0						
	4	0	0						
	5	0	0	0		0		0	
	6	0	0	0	—	0	—	0	—
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0.1	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0.1	0	0.1	0	0	0	0.1
	小計	0	0.2	0	0.1	0	0	0	0.1
7	1	0	0.4	0	0	0	0	0	0.1
	2	1.0	1.3	0	0.2	0	0	0	0.1
	3	1.0	1.0	0	0	0	0.2	0	0
	4	5.0	0.7	0	0.3	0	0	0	0
	5	1.0	1.1	0	0.3	0	0	0	0.2
	6	1.0	0.5	0	0.2	0	0	0	0.1
	小計	9.0	5.0	0	1.0	0	0.2	0	0.5
8	1	0	1.1	0	0.5	0	0	0	0.1
	2	1.0	0.9	0	0.5	0	0	0	0.3
	3	0	0	0	0.7	0	0	0	0
	4	1.0	0.4	1.0	0.1	0	0.1	0	0
	5	1.0	0.1	0	0.4	0	0	0	0.2
	6	0	0	0	0.8	0	0	0	0.2
	小計	3.0	2.5	1.0	3.0	0	0.1	0	0.9
9	1	1.0	0.3	0	0.4	0	0	1.0	0.1
	2	0	0.3	1.0	0.2	0	0	1.0	0
	3	0	0.3	1.0	1.1	0	0	0	0
	4	0	0.4	2.0	0.4	0	0	1.0	0
	5	0	0.1	0	0.2	0	0	0	0
	6	0	0	0	0.3	0	0	0	0
	小計	1.0	1.4	4.0	2.6	0	0	3.0	0.1
10	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	3	0	0	0	0.2	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0.3	0	0	0	0
合計		13.0	9.1	5.0	7.0	0	0.3	3.0	1.6

第5表 予察灯によるホソヘリカメムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0						
	2	0	0						
	3	0	0						
	4	0	0						
	5	0	0	0		0		0	
	6	0	0	0	—	0	—	0	—
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0.1	0	0	0	0
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
7	1	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	2	0	0	1.0	0	0	0	0	0.2
	3	0	0	0	0	0	0	0	0.2
	4	0	0	0	0.2	0	0	0	0
	5	0	0.1	0	0.1	0	0	1.0	0.1
	6	0	0.1	0	0.3	0	0	2.0	0.2
	小計	0	0.2	1.0	0.6	0	0	3.0	0.8
8	1	0	0.2	0	0.2	0	0	0	0.2
	2	0	0.2	0	0.3	0	0	0	0.2
	3	0	0	0	0	0	0.1	0	0.3
	4	0	0.1	0	0	0	0.1	0	0.1
	5	1.0	0.1	0	0.3	1.0	0	1.0	0.1
	6	0	0	0	0.4	0	0	0	0.1
	小計	1.0	0.6	0	1.2	1.0	0.1	1.0	1.1
9	1	0	0.1	0	0.1	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0.1	0	0
	3	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0.2
	小計	0	0.1	0	0.2	0	0.1	0	0.3
10	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		1.0	0.9	1.0	2.0	1.0	0.2	4.0	2.3

第6表 予察灯によるアオクサカメムシ成虫の半旬別誘殺数

月	半旬	鳥取市橋本 (県予察ほ場)		岩美町牧谷		琴浦町光好		日吉津村富吉	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4	1	0	0						
	2	0	0						
	3	0	0						
	4	0	0						
	5	0	0	0		0		0	
	6	0	0	0	—	0	—	0	—
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0.2	0	0	0	0
6	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	1.2	0	0	0	0
	3	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0.1	0	0.1
	小計	0	0	0	1.3	0	0.1	0	0.1
7	1	0	0.1	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0.5
	3	0	0	0	0.5	0	0	0	0.1
	4	0	0.1	0	0.3	0	0	2.0	0.1
	5	0	0	0	0.3	0	0.3	1.0	0.2
	6	0	0.1	0	1.1	0	0.1	0	0.3
	小計	0	0.3	0	2.2	0	0.4	3.0	1.2
8	1	0	0.5	0	0.9	0	0.5	0	0.2
	2	0	0.8	0	0.6	1.0	0.1	0	0.1
	3	1.0	0	0	0.3	0	0.1	0	0
	4	0	0.3	0	0.5	0	0.7	0	0.3
	5	0	0.2	0	0.5	0	0.1	0	0
	6	0	0.1	0	0	0	0.6	0	0.2
	小計	1.0	1.9	0	2.8	1.0	2.1	0	0.9
9	1	0	0.1	0	0.5	0	0.2	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0.1	0	0	0	0.1
	4	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0.1	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0.1
	小計	0	0.2	0	0.6	0	0.2	0	0.2
10	1	0	0	0	0.1	0	0	0	0
	2	0	0	1.0	0.1	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0.1	0	0	0	0.1
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	1.0	0.3	0	0	0	0.1
合計		1.0	2.4	1.0	7.4	1.0	2.8	3.0	2.6

7 果樹病害虫の発生予察調査結果

(1) 主な果樹病害虫の発生程度別面積

作物名	作付面積* (ha)	病害虫名	発生程度別面積 (ha)					面積率** (%)
			甚	多	中	少	計	
ナシ	778	黒斑病	0	0	23	150	173	22.2
		黒星病	0	2	11	71	84	10.8
		赤星病	0	0	0	18	18	2.3
		うどんこ病	0	0	4	80	84	10.8
		輪紋病	0	0	1	37	38	4.9
		ナシヒメシンクイ	0	0	1	92	93	12.0
		モモシンクイガ	0	0	0	15	15	1.9
		ハマキムシ類	0	0	1	22	23	3.0
		ハダニ類	0	1	11	285	297	38.2
		カメムシ類	0	1	1	44	46	5.9
		コナカイガラムシ類	0	0	2	72	74	9.5
		アブラムシ類	0	0	8	187	195	25.1
		ニセナシサビダニ	0	0	4	250	254	32.6
ブドウ	66	晩腐病	0	0	1	25	26	39.4
		黒とう病	0	0	1	4	5	7.6
		べと病	0	0	1	25	26	39.4
		灰色かび病	0	0	1	22	23	34.8
		チャノキイロアザミウマ	0	0	2	24	26	39.4
		ハマキムシ類	0	0	1	15	16	24.2
カキ	270	炭疽病	0	0	2	61	63	23.3
		灰色かび病	0	0	1	10	11	4.1
		うどんこ病	0	0	5	78	83	30.7
		落葉病類	0	0	3	36	39	14.4
		カキノヘタムシガ	0	0	0	3	3	1.1
		カイガラムシ類	0	0	3	38	41	15.2
		カメムシ類	0	1	3	38	42	15.6
		ハマキムシ類	0	0	2	23	25	9.3
		チャノキイロアザミウマ	0	0	0	2	2	0.7
		カキクダアザミウマ	0	0	0	1	1	0.4
		樹幹害虫 (ヒメコスカシバ、フタモンマダラメイガ)	0	0	14	80	94	34.8

作付面積*は、農林水産省作物統計情報（平成31年3月6日確報より）

面積率** (%) = (発生程度別面積の合計 (ha) / 作付面積 (ha)) × 100

(2) 主な病害虫の発生概要と発生原因の解析

ア. ナシ

病害虫名（概評）	発生経過の概要	発生原因の解析
黒斑病 （平年並）	4月のポリ袋検定における幼果の発病率は平年に比べてやや高かった。6月の新梢葉における発生量は平年並であったが、7月は平年に比べてやや多くなった。一方、6月の被袋果実における発生量は平年に比べてやや少なく、その後も平年並に推移した。収穫期の果実においても目立った被害は無く、その発生量は平年並であった。	本病の越冬伝染源量は一部の地域で多い傾向であったものの、県下全体としては平年並であり、4～5月における半月別の胞子飛散量も平年並又は平年に比べてやや多い期間が多かったため、発生量は平年並に留まったと考えられる。
黒星病 （やや多い）	5月中旬における発生量は平年に比べてやや少なかったが、6月中旬には平年並となった。昨年の多発園を中心に、6月中旬頃から発生量が増加し、県下全体としての発生量は平年に比べてやや多くなった。	4月下旬に降雨が続き、越冬菌密度が高い園では、薬効を上回る感染圧になったと推察された。その後、5月は発病に不適な気象条件となったため、発病は遅れ、発病が袋掛け前頃に目立ったと考えられた。収穫果における主要感染時期は6月下旬～7月上旬であったと推察された。
輪紋病 （平年並）	9月中旬頃には、一部の地域において収穫果の被害が目立ったが、県下全体での発生量は平年並であった。	昨年の発生量は平年並であり、越冬菌密度も平年並と考えられた。梅雨入りは平年より19日遅い6月26日であり（平年：6月7日）、梅雨時期の降水量は概ね平年並に推移したため、感染量も平年並と考えられた。梅雨明け後は好天となり、感染を抑制する気象条件となった。発病果における主要感染時期は6月中～下旬であったと推察された。
ハダニ類 （平年並）	7月上旬頃から増加し、発生時期はほぼ平年並であった。梅雨明け後の気象条件がハダニ類の増殖にやや好適であったが、ほぼ平年並の発生量となった。8月以降、一部地域のナシ園においてハダニ類の発生密度の高い園が確認された。発生種はカンザワハダニやナミハダニが中心であった。	梅雨明けが遅く、ハダニ類の増殖には好適な条件ではなかった。8月以降は、気象条件がハダニ類の増殖にやや好適となったが防除が徹底された。
コナカイガラムシ類 （やや少ない）	収穫果実において寄生果がみられたが、平年と比べてやや少ない被害量であった。クワコナカイガラムシ孵化幼虫の発生時期は、越冬世代は早かった。マツモトコナカイガラムシの発生時期は、各世代ともにほぼ平年並となった。	被害量が平年に比べてやや少なかったことから防除が徹底されたと推察される。
アブラムシ類 （平年並）	発生時期はやや早く、発生量は平年並であった。5月以降に発生密度が高い園が散見された。	適期防除が実施された。アブラムシ類に効果の高い薬剤が普及している。
カメムシ類 （やや多い）	越冬密度調査から、クサギカメムシの越冬量はやや多いと推察された。予察灯の誘殺数は、チャバネアオカメムシは、5月下旬、7月上旬、8月中旬、9月上旬、10月上旬、クサギカメムシは7～8月に、ツヤアオカメムシの誘殺数は、6月上及び下旬、8月上旬頃に密度が増加した。一部地域のナシ園においてカメムシ類の飛来が確認された。カメムシ類の加害被害は一部で確認された。	カメムシ類の越冬量がやや多く、7月以降、カメムシ類の加害活動に好適な条件となった。7月下旬～8月中旬にかけて追加防除が実施された。
ニセナシサビダニ （やや少ない）	発生時期はやや早く、発生量はやや少なかった。新梢の停止時期はほぼ平年並で、新梢被害はやや少なかった。また、本種由来とされるモザイク症状の被害がみられた。	発芽前防除および5～6月の防除により発生密度が抑えられた。
モモシンクイガ （平年並）	フェロモントラップ調査の結果、平年に比べて誘殺数がやや多い地点もみられたが、全般的にはほぼ平年並の発生量であった。収穫果実の被害量はほぼ平年並であった。	防除の徹底。有袋栽培が主である。
ナシヒメシンクイ （平年並）	フェロモントラップ調査の結果、越冬世代の誘殺数が平年に比べてやや多い地点もみられたが、全体的にはほぼ平年並の発生時期、発生量であった。収穫調査の被害量はほぼ平年並であった。	7～8月の基幹防除の徹底、収穫前の防除の徹底により被害は最小限に抑えられた。
ハマキムシ類 （平年並）	フェロモントラップ調査の結果、平年に比べてやや多い誘殺数であった。一部地域のナシ園において被害果が確認されたが平年並の被害量であった。	平年に比べやや多い誘殺数であったが基幹防除が徹底されたと考えられる。

イ. ブドウ

病害虫名（概評）	発生経過の概要	発生原因の解析
晩腐病 （やや少ない）	一部の地域で発生が認められ、トンネル栽培でも発生が認められた。	防除が徹底された。
べと病 （やや少ない）	一部の園では発生が多かったが、県下全体での発生量はやや少なかった。	防除が徹底された。梅雨入りは平年より１９日遅い６月２６日であり（平年：６月７日）、梅雨時期の降水量は概ね平年並に推移したため感染圧は高くなかった。
灰色かび病 （やや少ない）	一部の園で発生が認められた。	防除が徹底された。
チャノキイロアザミウマ （平年並）	黄色粘着板トラップ（無加温ハウス）の結果、７月中～８月上旬にかけて平年に比べて多い発生量であったが、果実の被害量はほぼ平年並であった。	カサ掛け栽培が多いため、防除が十分に実施できない。
ハマキムシ類 （平年並）	フェロモントラップ調査の結果、越冬世代、第一世代、第二世代は平年並であったが、第三世代がやや多かった。発生時期はほぼ平年並であった。収穫果の被害量は、一部地域でやや多かったが、全体的に平年並であった。	カサ掛け栽培が多いため、防除が十分に実施できない。収穫後の防除が徹底されていない。第三世代の誘殺数がやや多かったがその要因は判然としない。

ウ. カキ

病害虫名（概評）	発生経過の概要	発生原因の解析
炭疽病 （平年並）	９月中旬の大雨以降に防除が不十分な園で発生が認められ、一部で発生量がやや多い地域や園が認められた。‘輝太郎’においても、発病果が認められた。	薬剤防除と耕種的防除が徹底された。９月中旬以降の降雨により、菌密度が高い園では発生が助長された。
うどんこ病 （平年並）	一部の園で発生が認められた。	防除が徹底された。
カキノヘタムシガ （平年並）	発生時期、発生量ともに平年並であった。	被害量は例年少ない。越冬量が平年並であったものと推察される。
カメムシ類 （やや多い）	越冬密度調査から、クサギカメムシの越冬量はやや多いと推察された。予察灯の誘殺数は、チャバネアオカメムシは、５月下旬、７月上旬、８月中旬、９月上旬、１０月上旬、クサギカメムシは７～８月に、ツヤアオカメムシの誘殺数は、６月上及び下旬、８月上旬頃に密度が増加した。９月以降密度が高い園が散見され、被害量はやや多かった。	カメムシ類の越冬量がやや多く、７月以降、カメムシ類の加害活動に好適な条件となった。７月下旬～８月中旬にかけて追加防除が実施された。追加防除を実施しなかった地域や防除が遅れた園で、被害が散見された。９月上旬～１０月上旬にかけて発生量が増加したことで晩生カキの被害が増加したと考えられる。着色期以降の防除が困難。
スリップス類 （やや少ない）	発生量、被害量ともにやや少なかった。	近年、被害が少ない。
フジコナカイガラムシ （平年並）	フジコナカイガラムシのフェロモントラップ調査の結果、越冬世代成虫の発生量は多く、第一世代成虫はやや少なかった。また第二世代成虫はやや多かった。発生時期は越冬世代成虫が遅かったが、第一世代成虫、第二世代成虫はほぼ平年並であった。収穫果の被害量は平年並であった。	成育のバラツキが大きく、適期防除が困難である。
樹幹害虫 （ヒメコスカシバ、フタモンマダラメイガ） （やや多い）	フェロモントラップ調査の結果（ヒメコスカシバ）、発生時期、発生量ともにほぼ平年並であった。	近年、被害が多い。簡易で安価な防除手法がない。

エ. その他（特記事項）

病害虫名 （概評） 【樹種】	発生経過の概要	発生原因の解析
クワゴマダラヒトリ （少ない） 【果樹類】	春季のクワゴマダラヒトリの発生量は少なかった。	発生量が減少した要因は不明であるが、現在、発生密度が低い時期と推察される。

(3) 調査の概要と結果

ア. ナシ

(ア) 生育状況

第 1 表 県予察ほ場及び地区予察ほ場における生育状況（二十世紀）

調 査 項 目				県予察ほ場（園試）		
				本 年	前 年	平 年 ^{注)}
ア	催	芽	期	3. 11	3. 14	3. 15
イ	発	芽	期	3. 19	3. 22	3. 28
ウ	脱	苞	期	3. 27	3. 26	3. 31
エ	展	葉	期	4. 4	4. 1	4. 6
オ	開	花	始 め	4. 8	4. 3	4. 9
	1	満	開	4. 15	4. 7	4. 12
	2	落	花	4. 22	4. 18	4. 21
カ	新梢の生育状況					
	1	新梢の伸長開始		4. 17	4. 14	4. 17
	2	停 止 期		7. 2	7. 2	7. 2
	3	第 2 次伸長停止期		8. 10	8. 8	8. 12
キ	袋	掛	期			
	1	小	袋	5. 10	5. 10	5. 14
	2	大	袋	6. 10	6. 7	6. 12
ク	落	葉	期	11. 25	11. 18	11. 18

（注）平年・・・平成 2 6 ～ 3 0 年の平均

概要：本年の県下の平均交配日は、平年に比べて 1 日遅い 4 月 1 6 日となった。葉色は、開花時期と開花後の気温の推移が平年並であったことから、平年値に近い値となった。副葉数については、5 月の降水量が少なかったため、発生が少ない傾向が見られた。

主な病害虫は、病害では黒星病の被害が例年に比べてやや多く、虫害ではカメムシ類の発生量がやや多かった。

(イ) 黒斑病

a. 分生胞子の形成状況

第2表 二十世紀ナシ露地栽培ほ場における胞子採集状況

月・半旬	本 年	平 年
3・5	7	-
6	18	4.3
4・1	4	6.3
2	5	3.8
3	3	6.6
4	9	6.7
5	25	9.2
6	4	12.6
5・1	31	11.0
2	16	15.2
3	11	30.5
4	11	60.5
5	123	68.1
6	35	146.2

(注) 平年・・・平成21～30年の平均
採集時間：午前10時30分～正午の1.5時間
検鏡：カバーガラス（18×18mm）
内の *Alternaria* spp.胞子数

b. 新梢葉の発病状況

第3表 県予察ほ場における発病状況

月・旬	調査葉数	病葉数	病葉率（%）	
			本 年	平 年
5・中	-	-	-	0.6
下	-	-	-	0.8
6・上	205	3	1.5	1.0
中	234	3	1.3	1.8
下	275	26	9.5	2.9
7・上	266	40	15.0	4.3
中	285	68	23.9	6.6
下	272	71	26.1	9.0
8・上	285	75	26.3	9.7
中	282	78	27.7	10.7
下	291	87	29.9	14.6
9・上	287	103	35.9	18.8
中	280	116	41.4	21.3
下	271	103	38.0	25.3

(注) 平年・・・平成21～30年の平均

第4表 新梢葉の発病状況

地 区		新 梢 葉 の 発 病 率 （%）								
		6 月			7 月			9 月		
		本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
県予察ほ場		1.5	3.8	2.2	23.9	5.2	8.7	38.0	9.6	21.3
東 部	鳥取市									
	河原町 山 上	1.4	8.4	1.9	13.4	18.3	9.6	26.8	57.1	14.8
	佐治町 高 山	1.5	19.0	2.6	21.9	26.8	7.7	37.4	54.9	12.4
	青谷町 青 谷	0.5	-	-	1.3	-	-	5.7	-	-
中 部	八頭町 花 原	0	2.4	0.3	0.9	1.7	1.4	9.6	1.6	2.9
	湯梨浜町1 別 所	0.5	2.0	1.3	1.0	3.5	1.5	1.9	6.7	2.9
	湯梨浜町2 勝負谷	2.4	0	0.6	4.7	5.6	1.0	15.8	5.0	2.4
	倉吉市 中 野	1.3	0	0.3	2.6	2.5	1.4	11.0	3.1	2.5
西 部	琴浦町 竹ノ内	0	1.0	0.7	4.0	9.1	2.6	10.6	1.8	2.2
	大山町1 中 山	0	0	0.2	0.9	0.5	1.9	6.4	3.5	4.9
	大山町2 中 山	1.8	-	-	0	-	-	1.4	-	-
	南部町 朝 金	0	-	-	0	-	-	2.4	-	-
平 均		0.9	4.1	1.1	6.2	8.1	4.0	13.9	15.9	7.4

(注) 平年・・・平成21～30年の平均

c. 果実の発病状況

第5表 収穫果実および病落果の発病状況

地 区	収 穫 果 実						病 落 果 率 (%)		
	月 日	調 査 果 数	病果数	病果率	前年	平年	本年	前年	平年
県予察ほ場	8.23	200果	5果	2.5%	6.5%	10.7%	5.1	6.5	13.0

第6表 ポリ袋検定による幼果の発病状況

地 区			ポリ袋検定法による 幼果の発病率 (%)		
			本 年	前 年	平 年
県予察ほ場			2.0	2.0	2.1
東 部	鳥取市				
	河原町	山 上	62.0	2.0	0.7
	佐治町	高 山	8.0	6.0	1.9
	青谷町	青 谷	1.0	-	-
	八頭町	花 原	0	0	0.3
中 部	湯梨浜町1	別 所	3.0	2.0	0.3
	湯梨浜町2	勝負谷	4.0	2.0	0.7
	倉吉市	中 野	1.0	1.0	0.6
	琴浦町	竹ノ内	3.0	4.0	0.8
西 部	大山町1	中 山	3.0	1.0	0.8
	大山町2	中 山	3.0	-	-
	南部町	朝 金	2.0	-	-
平 均			7.7	2.2	0.9

(注) 平年・・・平成21～30年の平均

第7表 破袋調査による果実発病状況

地 区			被 袋 果 の 発 病 率 (%)					
			6 月			7 月		
			本 年	前 年	平 年	本 年	前 年	平 年
県予察ほ場			1.7	0	2.7	3.3	6.7	9.3
東 部	鳥取市							
	河原町	山 上	0	18.3	2.2	10.0	30.0	4.4
	佐治町	高 山	1.7	13.3	2.0	10.0	26.7	5.0
	青谷町	青 谷	0	-	-	1.7	-	-
	八頭町	花 原	0	0	0.3	0	0	0.3
中 部	湯梨浜町1	別 所	0	0	0.2	0	0	0.2
	湯梨浜町2	勝負谷	0	0	0.2	0	0	0
	倉吉市	中 野	0	1.7	0.5	0	0	1.2
	琴浦町	竹ノ内	0	0	0.5	0	0	1.8
西 部	大山町1	中 山	1.7	3.3	0.5	1.7	0	1.2
	大山町2	中 山	0	-	-	0	-	-
	南部町	朝 金	1.7	-	-	0	-	-
平 均			0.6	4.1	1.0	2.2	7.0	2.6

(注) 平年・・・平成21～30年の平均

第8表 県内定点調査ほ場における越冬密度調査（12月下旬調査）

地 区		病 枝 率（％）		枝当たり病斑数(個)		短果枝の病芽率(％)	
		本 年	平 年	本 年	平 年	本 年	平 年
県予察ほ場		0	15.9	0	0.3	0	2.3
東 部	鳥取市						
	河原町 山 上	26.7	9.0	0.3	0.2	1.7	2.2
	佐治町 高 山	20.0	8.9	0.3	0.1	3.3	1.3
	青谷町 青 谷	6.7	-	0.1	-	0	-
	八頭町 花 原	6.7	1.3	0.1	0.0	6.7	3.4
中 部	湯梨浜町1 別 所	0	0.7	0	0.0	13.3	2.1
	湯梨浜町2 勝負谷	6.7	2.4	0.1	0.1	0	0.3
	倉吉市 中 野	6.7	3.6	0.2	0.0	1.7	1.8
	琴浦町 竹ノ内	13.3	4.5	0.1	0.1	0	0.6
西 部	大山町1 中 山	6.7	1.3	0.1	0.0	0	0.5
	大山町2 中 山	0	-	0	-	0	-
	南部町 朝 金	6.7	-	0.1	-	1.7	-
平 均		8.4	5.3	0.1	0.1	2.4	1.6

(注) 平年・・・平成22～令和元年の平均

(ウ) 黒星病

a. 分生孢子及び子のう孢子の孢子飛散消長

第9表 芽基部病斑上からの分生孢子採集数

月・半旬	雨水中の分生孢子数(個/10ml)		
	本 年	前 年	平 年
3・5	6.6	4.2	-
6	14.6	-	6.1
4・1	1.7	9.1	7.5
2	27.4	14.9	5.5
3	0	1.1	9.2
4	1.3	-	3.5
5	195.4	69.0	10.9
6	64.7	-	5.5
5・1	0	13.8	1.5
2	0.8	0	2.1
3	0	5.6	1.4
4	3.9	17.2	12.1
5	0	4.2	61.0
6	9.1	0.3	13.6

(注) 平年・・・平成21～30年の平均
表中の「-」は降雨なし

第10表 病落葉からの子のう孢子採集数

月・半旬	病落葉からの子のう孢子数(個)		
	本 年	前 年	平 年
3・5	0	0	-
6	0	0	0.1
4・1	0	0	0.1
2	0	0	2.5
3	0	0	3.8
4	0	0	1.2
5	0	1	2.6
6	0	0	1.6
5・1	0	0	0.7
2	0	0	0.6
3	0	0	0.4
4	0	0	0.5
5	0	0	0
6	0	0	0

(注) 平年・・・平成21～30年の平均

第11表 春期ナシ黒星病の分生孢子飛散時期

年 次	飛散始め	最 盛 期	終 期
本 年	3月23日	4月23日	5月31日
前 年	3月21日	4月24日	5月31日
平 年	3月27日	4月30日	5月27日

(注) 平年・・・平成21～30年の平均

第12表 春期ナシ黒星病の子のう孢子飛散時期

年 次	飛散始め	最 盛 期	終 期
本 年	3月22日	4月25日	5月 3日
前 年	4月 4日	4月23日	5月 1日
平 年	4月 9日	4月19日	5月 4日

(注) 平年・・・平成21～30年の平均(平成21～27年は静置式孢子採集法、平成28年以降は吸引式孢子採集法の値を採用)。平成28年より改良型(吸引式)の手法で実施。

b. 幼果の発病調査

第13表 県内定点調査ほ場における発病状況(5月下旬調査)

地 区 名		品 種	発 病 果 率 (%)		
			本 年	前 年	平 年
県予察ほ場		幸 水	0	0	0
東 部	鳥取市 久末	豊 水	0.7	0	0.1
	佐治町 津無	豊 水	0	0	0
	佐治町 津無	新甘泉	0	0	-
	青谷町 河原	幸 水	0	-	-
	八頭町 山路	豊 水	0	0	0.1
中 部	湯梨浜町 方面	新甘泉	0	0	0
	倉吉市 悴谷	幸 水	0	0	0
	倉吉市 関金	幸 水	0.3	4.7	1.6
	琴浦町 西宮	幸 水	0	0	0
西 部	大山町 陣構	新甘泉	0.7	0	0.8
	米子市 稲吉	新甘泉	0	0	0.1
	南部町 朝金	幸 水	0	0	0.0
平 均		-	0.1	0.4	0.2

(注) 平年・・・平成21～30年の平均

c. 休眠期における芽りん片病斑の発生状況

第14表 ナシ黒星病の越冬病芽割合(2月調査)

地 区 名		品 種	花芽数	病芽数	病 芽 率 (%)		
					本 年	前 年	平 年
県予察ほ場		新甘泉	92	0	0	0	-
		幸 水	88	0	0	0	0.6
東 部	鳥取市1	豊 水	83	10	12.0	3.6	3.9
		幸 水	95	1	1.1	0.6	1.4
	鳥取市2	新甘泉	249	0	0	0	-
		豊 水	133	19	14.3	1.5	2.7
	鳥取市3	新甘泉	106	0	0	-	-
	八頭町	新甘泉	93	0	0	-	-
中 部		豊 水	129	0	0	3.5	3.3
	湯梨浜町	新甘泉	125	1	0.8	0	-
	倉吉市	新甘泉	32	0	0	0	-
		幸 水	64	0	0	0	0.2
西 部	琴浦町	新甘泉	126	0	0	-	-
西 部	大山町1	新甘泉	112	0	0	1.7	-
	大山町2	新甘泉	180	1	0.6	0	-
平 均			113.8	2.1	1.9	0.9	2.0

(注) 平年・・・平成22～令和元年の期間で3年以上の値の平均値

(エ) 赤星病

a. バクシン上の冬孢子堆と小生子の形成時期

第15表 県予察ほ場におけるバクシン上の冬孢子堆成熟状況及び小生子形成状況

調査月・日	ナシの生育状況	冬孢子堆成熟状況		小生子形成状況	
		本年	前年	本年	前年
3.26	展葉期	30%	30%		
3.29					
4.1					
4.2			50%		
4.4					
4.5	満開期	80%	80%	+	+
4.8					
4.13					++
4.15					
4.17					+++
4.19					
4.22					
4.25		100%	100%		

b. 果そう葉の発病状況

第16表 県予察ほ場及び地区予察ほ場における赤星病の発病状況（6月上旬）

項目	八頭町		湯梨浜町		県予察ほ場	
	本年	前年	本年	前年	本年	前年
調査葉数	300	—	300	300	300	300
病葉率(%)	0	—	0	0	0	0

(オ) ナシヒメシンクイ

第17表 フェロモントラップ（大塚製）による誘殺消長

月・旬	県予察ほ場		湯梨浜町		鳥取市福部町		八頭町花原	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	3.8	22.8	59.8	5.0	16.9	9.8	12.9
中	5.8	2.4	89.2	64.2	22.5	46.0	68.3	26.9
下	2.2	1.3	58.9	33.3	7.5	24.9	55.8	35.6
5・上	1.2	2.2	26.0	20.1	14.0	14.8	13.3	10.0
中	0.8	0.3	25.0	17.4	4.2	5.3	10.7	4.9
下	0	0.2	9.2	5.0	8.4	4.3	3.4	1.5
6・上	0	1.7	31.8	31.7	25.8	13.5	26.6	8.1
中	1.0	3.2	14.8	54.8	35.6	38.2	11.6	30.4
下	3.0	3.0	18.3	27.6	22.0	29.3	5.5	30.1
7・上	5.0	2.4	12.6	26.4	10.0	16.3	7.0	13.4
中	1.0	7.4	17.5	39.9	28.0	28.7	7.3	19.5
下	0	2.7	24.5	27.4	55.0	29.9	19.7	27.9
8・上	10.0	12.6	24.8	39.2	13.0	23.5	6.7	24.9
中	0	11.0	20.6	37.2	32.0	24.5	6.7	19.6
下	3.6	5.3	44.8	44.2	42.0	31.4	14.3	25.6
9・上	13.4	25.6	102.1	65.2	32.0	35.3	11.4	17.1
中	3.3	9.6	16.5	28.1	17.0	23.4	8.0	10.6
下	0.7	1.0	4.5	5.5	7.0	7.8	0	2.0
10・上	0	0.2	0	1.1	3.0	1.5	0	0.4
中	0	0	0	0.3	0	0.1	0	0
下	0	0	2.0	0.1	0	0	0	0
計	51.0	96.2	572.0	628.7	384.0	415.5	286.0	321.7

(注) 平年・・・平成21～30年の平均

要約：ほぼ平年並の誘殺数であった。

(カ) モモシンクイガ

第18表 フェロモントラップ（武田製）による誘殺消長

月・旬	県予察ほ場		湯梨浜町		鳥取市福部町		八頭町花原	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0	0	0
下	0	0	0	0	0	0	0	0
5・上	0	0	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	1.2	0	0.1	0	0
下	0	0	23.0	27.1	5.1	1.8	0.0	3.0
6・上	0	0.2	100.0	93.3	10.8	5.1	24.0	7.1
中	1.0	0.2	70.1	70.2	25.1	11.6	48.6	12.4
下	0	0	50.8	34.7	20.0	11.4	16.4	16.1
7・上	0	0	92.4	66.7	40.0	18.2	7.0	13.9
中	0	0	32.5	14.3	11.4	7.0	0.9	8.6
下	0	0	34.5	24.4	2.6	6.3	0.1	5.3
8・上	0	0.5	76.3	61.9	0	20.2	7.9	13.1
中	0	0.1	41.5	36.0	6.0	14.7	9.2	8.4
下	0	0	77.0	24.1	3.0	5.8	0.9	6.0
9・上	0	0	79.0	53.7	1.0	3.3	0	0.6
中	0	0	27.2	11.7	0	1.7	0	0.3
下	0	0	1.8	0.6	0	0.4	0	0.1
10・上	0	0	0	0.3	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0	0	0
下	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1.0	1.0	706.0	520.4	125.0	107.4	115.0	95.0

(注) 平年・・・平成21～30年の平均

要約：平年並～やや多い誘殺数であった。

(キ) ハマキムシ類

a. チャノコカクモンハマキ

第19-1表 フェロモントラップ（大塚製）による誘殺消長

月・旬	チャノコカクモンハマキ							
	県予察ほ場		八頭町池田		鳥取市福部町		湯梨浜町北福	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	2.8	0	0.3	0	0.1	6.0	2.0
中	8.2	2.1	2.0	0.5	0	0.5	5.0	1.4
下	6.8	4.9	7.0	1.6	6.0	2.8	1.0	1.5
5・上	42.2	31.2	3.0	7.0	49.0	14.5	1.0	0.1
中	31.8	17.0	11.0	5.1	31.0	16.3	4.0	0.7
下	3.2	3.7	6.0	1.7	15.0	4.5	0.0	0.1
6・上	11.8	1.3	2.0	0.2	2.0	2.7	0	0
中	11.0	3.1	6.0	0.9	28.0	2.6	5.0	0
下	18.0	6.8	12.0	3.1	49.0	6.0	0.0	0
7・上	58.0	14.6	29.0	3.7	37.0	5.9	3.0	0
中	10.0	3.8	3.0	2.7	15.0	4.8	2.0	0
下	3.0	2.7	5.0	1.8	21.0	4.9	4.0	0
8・上	4.0	3.8	27.0	4.0	33.0	7.5	1.0	0
中	0	5.8	27.0	1.6	20.0	4.5	1.0	0
下	0.9	3.2	3.0	1.1	8.0	12.2	4.0	0
9・上	0.1	3.0	3.0	1.3	12.0	31.8	0	0
中	5.0	8.7	12.0	2.6	30.0	11.1	1.0	0
下	15.0	22.3	16.0	2.9	24.0	9.7	1.0	0.3
10・上	62.0	23.5	35.0	3.4	33.0	12.2	0	0
中	13.0	23.9	4.0	4.2	47.0	5.8	0	0
下	18.0	11.5	10.0	1.0	8.0	2.8	2.0	0
計	340.0	199.5	223.0	50.6	468.0	163.2	41.0	6.1

(注) 平年・・・平成21～30年の平均

要約：全地点で平年と比較して多い誘殺数であった。

b. チャハマキ

第19-2表 フェロモントラップ（大塚製）による誘殺消長

月・旬	チャハマキ							
	県予察ほ場		八頭町池田		鳥取市福部町		湯梨浜町北福	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0.1	0	0.6	4.0	1.8
中	0	0	8.0	0.7	2.0	1.1	57.0	2.5
下	0	0.1	41.0	3.6	1.0	2.7	60.0	6.0
5・上	0	0.3	38.0	5.1	73.0	10.3	62.0	13.3
中	0	0.1	57.0	3.6	53.0	20.9	59.0	34.6
下	0	0.8	21.0	1.5	62.0	20.6	47.0	58.1
6・上	0	0.2	32.0	3.0	32.0	12.5	71.0	61.8
中	1.0	0.2	18.0	1.8	23.0	4.6	28.0	48.8
下	0.0	0.1	14.0	0.7	17.0	8.3	23.0	34.7
7・上	4.0	0.3	13.0	1.9	28.0	6.5	17.0	14.9
中	0.9	0	15.0	1.7	18.0	8.7	37.0	20.4
下	2.1	0.1	21.0	1.4	15.0	10.8	52.0	25.3
8・上	0	0.2	38.0	1.7	0	11.2	24.0	21.9
中	0	0.1	39.0	0.4	2.0	9.1	23.0	20.8
下	0	0	17.0	0.1	3.0	9.8	17.0	17.4
9・上	0	0.7	27.0	0.8	12.0	9.1	37.0	36.4
中	1.1	0	18.0	0.9	14.0	21.0	30.0	38.6
下	0.9	0.5	23.0	0.8	10.0	36.5	26.0	24.8
10・上	6.0	2.2	29.0	0.1	31.0	33.1	20.0	9.5
中	18.0	2.1	7.0	0.8	49.0	10.2	20.0	5.9
下	5.0	0.8	46.0	0.3	46.0	2.9	33.0	1.0
計	39.0	8.8	522.0	30.9	491.0	250.5	747.0	498.5

(注) 平年・・・平成21～30年の平均

要約：平年と比較してやや多い～多い誘殺数であった。

c. ハマキムシ類による幼果の被害

第20表 地区予察ほ場における被害状況（6月上旬調査）

地 点	6月		収穫期	
	調査果数	被害果率(%)	調査果数	被害果率(%)
八 頭 町	900	0.1	150	0.0
湯梨浜町	300	0.0	60	0.0

要約：収穫期に一部果実で被害が確認された。

(ク) コナカイガラムシ類

a. コナカイガラムシ類の越冬密度調査

第21表 県内定点ほ場における発生状況（1バンドあたり）

年次	県予察ほ場		巡回調査園(9園)	
	幼虫 ¹⁾	卵のう ²⁾	幼虫	卵のう
本 年	0	0	0	0
平 年	0	0	0	0

(注) 1)：マツモトコナカイガラムシ幼虫

2)：クワコナカイガラムシ卵のう

要約：発生が確認されなかった。

b. クワコナカイガラムシ

第22表 県予察ほ場におけるふ化状況

区別		ふ化 初日	50% ふ化日	ふ化 終息日	50%ふ化日 平年比
		月 日	月 日	月 日	
百 葉 箱	越冬世代	5. 6 (5. 2)	5.10 (5. 9)	5.20 (5.21)	1
	第1世代	— (7. 4)	— (7. 8)	— (7. 20)	—

(注) ()内は平年・・・平成21～30年の平均

要約：越冬世代のふ化時期は、平年並であった。第1世代はコンタミネーションにより調査を中断した。

c. 収穫果実の被害

第23表 果実の被害状況

	被害果率(%)		
	県予察ほ場(6号)	八頭町	湯梨浜町
本年	0	0	0
平年	0	0	0

(注) 平年・平成21～30年の平均
要約：被害は確認できなかった。

(ケ) ハダニ類

第24表 県予察ほ場におけるハダニ類の越冬密度調査

種 類	年次別	県予察ほ場
1. クワオオハダニ卵 (短果枝あたり)	本年	0
	平年	1.6
2. カンザワハダニ (バンドあたり)	本年	0
	平年	0.6
3. ナミハダニ (バンドあたり)	本年	0
	平年	0

(注) 平年・平成21～30年の平均
ハダニ類成虫はカンザワハダニ
及びナミハダニの合計値。
要約：越冬密度は平年と比較して少なかった。

第25表 県内定点調査ほ場におけるハダニ類の越冬密度調査

調査地点		カンザワハダニ (バンドあたり)			ナミハダニ (バンドあたり)			クワオオハダニ (短果枝あたり)		
		本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
東 部	鳥取市 佐治町	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.5
	鳥取市 青谷町	0	(1.2)*	0.0	0	(1.2)*	0.0	0	0	0.3
	八頭町	0	0	38.7	0	0	0.4	0	0	0.5
中 部	倉吉市 中野	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0
	湯梨浜町 別所	0	0	0.8	0	0	0.1	0	0	2.3
	北栄町 由良宿	0	(0.7)*	0.6	0	(0.7)*	0	0	0	1.6
	琴浦町 竹ノ内	0	0	9.3	0	0	0	0	0	1.5
西 部	大山町 中山	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0.5
	南部町 朝金	0	0	0.0	0	0	0	0	0	3.2
県平均		0	0	5.5	0	0	0.1	0	0	1.2

(注) 平年・平成21～30年の平均、琴浦町は平成20年度から、八頭は平成26年度から、大山町と南部町は令和元年から調査地点変更（大山町と南部町の前年および平年値は昨年までの調査地点の値を示す）

*は、カンザワハダニまたはナミハダニの確認数、種の判別ができなかったため参考表記。

要約：越冬密度は平年と比較して少なかった。

第26表 県予察ほ場におけるクワオオハダニ越冬卵のふ化状況

区別	ふ化 初日	50% ふ化日	ふ化 終息日	50%ふ化日 平年比
百 葉 箱	4.19 (4.15)	月 日 4.25 (4.25)	月 日 5. 3 (5. 4)	±0

(注) ()内は平年・・・平成21～30年の平均

要約：50%ふ化日はほぼ平年並であった。

第27表 県予察ほ場におけるハダニ類の発消長（1葉あたり雌個体数）

月・旬	カンザワハダニ		ナミハダニ		クワオオハダニ	
	本 年	平 年	本 年	平 年	本 年	平 年
5・上	0	0.00	0	0.00	0	0.00
中	0	0.00	0	0.00	0	0.00
下	0	0.00	0	0.00	0	0.00
6・上	0	0.00	0	0.00	0	0.00
中	0	0.00	0	0.00	0	0.00
下	0	0.00	0	0.00	0	0.00
7・上	0	0.00	0	0.00	0	0.00
中	0	0.00	0	0.00	0	0.00
下	0	0.00	0	0.01	0	0.00
8・上	0	0.18	0	0.09	0	0.00
中	0	0.71	0.04	0.06	0	0.00
下	0	0.08	0.05	0.02	0	0.00
9・上	0	0.87	3.00	0.07	0	0.01
中	0	0.28	0	0.17	0	0.01
下	0	0.04	0	0.05	0	0.02
10・上	0	0.09	0	0.13	0	0.07
中	0	0.06	0	0.12	0	0.09
下	0	0.01	0	0.01	0	0.10

(注) 平年・・・平成21～30年の平均、3樹100葉調査(R1年から2樹100葉調査)、ダニ剤の散布履歴(5/24ダニトロンフロアブル、7/3ダニコングフロアブル、8/9ダニゲッターフロアブル)

要約：発生量はやや少ない～平年並であった。

第28表 地区予察ほ場におけるハダニ類寄生葉率¹⁾の推移

地区 月・旬	八 頭 町			湯 梨 浜 町		
	ナミハダニ	カンザワハダニ	クワオオハダニ	ナミハダニ	カンザワハダニ	クワオオハダニ
5・中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
6・中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
7・中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
8・中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
9・中	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

(注) 1) 50葉あたり寄生葉率、() 内の数字は1葉当たり虫数

要約：寄生は確認されなかった。

第29表 県内定点調査ほ場における発生状況（7月調査）

地 区			寄 生 葉 率 (%)					
			クワオオハダニ		カンザワハダニ		ナミハダニ	
			本年	平年	本年	平年	本年	平年
東 部	鳥 取 市 佐治町		1.7	2.5	1.7	10.0	0	0.0
	鳥 取 市 青谷町		0	0.7	0	4.7	0	0.0
	八 頭 町 花 原		0	13.5	0	2.2	0	0.7
中 部	倉 吉 市 中 野		0	0.0	0	0.0	0	0.2
	湯 梨 浜 町 別 所		0	5.5	0	6.3	0	4.8
	北 栄 町 園 試		0	0.0	0	0.0	0	0.0
	琴 浦 町 竹ノ内		0	8.2	0	6.2	0	0.0
西 部	大 山 町 中 山		0	9.3	0	0.7	0	0.0
	南 部 町 朝 金		0	0.5	6.7	0.0	0	0.0
平 均			0.2	4.5	0.9	3.3	0.0	0.6

(注) 平年・・・平成21～30年の平均、琴浦町は平成20年度から、八頭は平成26年度から、大山町と南部町は令和元年から調査地点変更（大山町と南部町の平年値は昨年までの調査地点の値を示す）。

要約：[クワオオハダニ] 前年比：並、平年比：やや少
 [カンザワハダニ] 前年比：少、平年比：やや少
 [ナミハダニ] 前年比：並、平年比：やや少

(コ) ニセナシサビダニ

第30表 ニセナシサビダニの成若虫の
葉当たり密度（県予察ほ場）

月・旬	本 年	平 年
5・上	2.6	2.6
中	6.6	10.1
下	42.4	80.7
6・上	49.6	458.4
中	31.0	1237.7
下	13.0	1491.3
7・上	339.2	615.4
中	—	834.0

(注) 平年・・・平成21～30年の平均、殺ダニ剤無散布条件下

要約：発生時期はやや早く、発生密度はやや低かった。

(サ) カメムシ類

a. 種類別の誘殺個体数

第31表 誘殺されたカメムシの種類別個体数（3地区合計）

種 類	本 年	平 年
チャバネアオカメムシ	14,389.6	6,557.1
クサギカメムシ	2,046.3	3,738.8
ツヤアオカメムシ	4,301.0	4,105.4
アオクサカメムシ	106.0	164.7

(注) 平年・・・平成21～30年の平均

要約：発生密度は、チャバネアオカメムシは高く、
ツヤアオカメムシ、アオクサカメムシは平年
並、クサギカメムシはやや低かった。

第32表 予察灯による誘殺状況（チャバネアオカメムシ）

月・旬	県予察ほ場		八頭町花原		湯梨浜町別所	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0.0	0	0.0
下	0	1.5	3.5	1.6	1.0	1.0
5・上	1.2	4.5	9.5	12.2	15.5	8.5
中	68.8	55.9	112.9	40.9	57.5	21.4
下	48.5	22.6	74.6	43.6	86.0	34.4
6・上	64.5	17.3	63.7	23.2	70.0	20.8
中	14.0	29.2	35.4	55.1	69.3	44.0
下	148.0	74.3	624.3	128.6	233.3	67.4
7・上	89.0	134.1	1366.6	204.9	114.3	111.5
中	23.8	121.9	279.1	430.4	248.2	96.6
下	28.2	114.3	225.8	527.9	157.3	100.6
8・上	502.0	239.3	248.2	363.0	266.5	177.0
中	1603.3	210.7	356.4	368.9	395.5	183.5
下	309.7	195.0	323.2	412.7	291.9	165.8
9・上	180.0	89.6	2389.8	256.1	1026.3	116.8
中	37.6	59.2	836.5	307.6	112.4	130.2
下	85.4	45.0	635.0	232.9	61.8	69.4
10・上	36.0	37.1	302.0	245.4	18.0	65.1
中	4.0	1.3	21.0	34.5	4.0	6.4
下	1.0	0.5	7.0	1.7	1.0	0.3
合計	3245.0	1453.2	7914.6	3691.1	3230.0	1412.8

(注) 平年・・・平成21～30年の平均

要約：全地点やや多い～多い誘殺数であった。

第33表 予察灯による誘殺状況（クサギカメムシ）

月・旬	県予察ほ場		八頭町花原		湯梨浜町別所	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0.1	0	0.1
中	0	0	0	0.2	0	0.1
下	0	0	15.0	0.5	5.0	0.4
5・上	0	0.2	0	2.8	0.2	0.8
中	1.0	1.4	0	4.1	0.8	0.3
下	0	0.8	4.6	7.9	1.1	1.4
6・上	0	0.3	16.9	10.4	0.9	2.1
中	1.0	1.7	7.0	18.8	0.2	1.5
下	3.0	5.4	32.4	40.0	1.8	6.0
7・上	1.0	11.2	65.4	90.2	0.2	16.6
中	15.7	29.6	83.0	251.0	33.6	25.1
下	11.3	73.0	405.2	498.8	50.7	68.9
8・上	102.0	105.7	321.2	505.5	106.9	128.9
中	98.7	104.8	144.5	530.7	84.5	189.9
下	10.6	43.0	44.3	342.2	30.5	110.6
9・上	10.8	8.6	116.2	93.6	33.7	30.9
中	0	4.8	72.5	100.9	8.9	26.6
下	0	1.2	25.0	62.3	8.2	18.2
10・上	0	3.0	21.0	62.4	8.0	20.8
中	1.0	3.2	15.5	23.2	8.0	21.0
下	0	4.3	7.5	11.9	10.0	9.9
合計	256.0	402.0	1397.1	2657.2	393.2	679.6

(注) 平年・・・平成21～30年の平均

要約：平年と比較してやや少ない誘殺数であった。

第34表 予察灯による誘殺状況（ツヤアオカメムシ）

月・旬	県予察ほ場		八頭町花原		湯梨浜町別所	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0
下	0	0	0	0.1	1.0	0
5・上	1.5	0.6	1.4	0.4	3.0	0.2
中	24.5	5.7	9.6	2.0	15.0	2.5
下	18.2	7.2	17.0	2.4	32.6	6.6
6・上	116.8	10.8	37.4	8.4	45.5	15.1
中	36.0	40.3	20.6	38.6	56.5	29.2
下	299.0	123.2	184.3	102.3	155	74.7
7・上	143.0	138.6	92.2	143.4	55.5	86.0
中	35.3	75.6	33.9	385.6	161.8	71.5
下	41.7	41.8	65.4	341.6	71.3	77.0
8・上	597.0	77.8	78.3	331.3	65.1	192.6
中	262.7	100.8	49.4	158.9	70.6	129.3
下	39.8	50.7	32.2	79.9	42.3	78.6
9・上	8.5	46.9	157.3	80.6	84.1	55.1
中	4.7	27.6	29.5	86.6	22.4	50.5
下	28.3	19.9	154.5	159.8	26.4	42.3
10・上	16.0	29.9	190.0	231.3	30.0	44.9
中	52.0	7.4	149.0	100.8	30.0	14.5
下	81.0	11.8	186.0	55.6	39.0	11.1
合計	1806.0	816.6	1488.0	2309.6	1007.0	979.2

(注) 平年・・・平成21～30年の平均

要約：平年並～やや多い誘殺数であった。

第35表 予察灯による誘殺状況（アオクサカメムシ）

月・旬	県予察ほ場		八頭町花原		湯梨浜町別所	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0	0	0
中	0	0	0	0	0	0
下	1.0	0	0	0	0	0
5・上	0	0	0	0.1	0	0
中	0	0.1	0	0.1	0	0
下	0	0	0	0	0	0
6・上	0	0.1	0	0.1	0	0.0
中	0	1.7	0	0.2	0	0.1
下	0	0.4	0	0	0	0.4
7・上	0	2.7	2	0.4	0	0.1
中	11.7	17.6	3.4	2.9	0	0.3
下	2.3	24.9	8.7	4.5	0	0.7
8・上	0	28.9	16.9	7.4	0	0.5
中	12.3	22.2	17.6	11.7	0	0.5
下	1.5	14.6	3.1	6.7	0	0.4
9・上	2.3	2.2	2.8	3.1	0	0.4
中	4.6	0.4	2	4.0	0	0
下	1.4	0.7	2.5	0.8	0	0
10・上	0	0.3	7	1.8	0	0
中	1.0	0.1	1.5	0.3	0	0.4
下	0	0.1	0.5	0	0	0
合計	38.0	117.0	68.0	43.9	0	3.8

(注) 平年・・・平成21～30年の平均

要約：平年に比べ県予察ほ場と湯梨浜町別所でやや少なく、八頭町花原でやや多かった。

第36表 合成集合フェロモントラップ¹⁾による誘殺状況

月・旬	県予察ほ場				八頭町花原（水田畦畔）			
	チャバネアオカメムシ	クサギカメムシ	ツヤアオカメムシ	マルホシヒラタヤトトリハエ	チャバネアオカメムシ	クサギカメムシ	ツヤアオカメムシ	マルホシヒラタヤトトリハエ
4・上	0	0	0	0	0	0	0	0
中	1.7	0.8	0	1.7	0	0	0	0
下	6.3	7.2	6.0	3.3	1.2	0.4	0	0
5・上	40.7	11.2	8.2	26.5	7.0	0.6	0	0
中	32.3	10.8	26.8	20.5	24.9	0	0	1.0
下	21.2	12.7	11.0	92.0	53.5	0	0	5.1
6・上	45.8	9.3	12.0	56.0	33.5	0	0	5.5
中	18.0	8	17.0	83.0	1.3	0	0	5.7
下	84.0	3	12.0	53.0	210	0	0	2.5
7・上	99.0	3.0	4.0	19.0	834.7	0	0	11.9
中	46.8	2.0	2.7	7.9	237.0	0	0	2.3
下	16.2	1.0	0.3	12.1	70.0	0	0	0
8・上	9.0	0	0	4.0	71.0	0	0	0
中	5.0	0	0	0	4.2	0	0	0
下	6.1	0	1.7	8.9	0.8	2.7	0	0
9・上	10.9	0	0.3	25.1	5.5	2.3	0	1.0
中	1.9	0	0.6	22.3	7.5	0	0	0
下	14.1	0	2.4	7.7	14.3	0	0	1.0
10・上	9.0	0	2.0	32.0	15.7	0	0	10.0
中	2.0	0	1.0	2.0	2.0	0	0	9.0
下	6.0	1.0	3.0	5.0	3.0	0	2.0	2.0
合計	476.0	70.0	111.0	482.0	1597.0	6.0	2.0	56.9

(注) ¹⁾ ルアーはチャバネアオカメムシ用誘引剤、水盤式トラップ

要約：チャバネアオカメムシの誘殺数は県予察ほ場で、4月下旬～7月下旬、9月上旬、八頭町では5月上旬～8月上旬、9月下～10月上旬に増加した。

第37表 クサギカメムシの越冬調査

地点	個体数/トラップ					
	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
佐治町	0.5	0	0	9.5	6.5	5.5
河原町	0	9.5	19.5	25.0	29.0	24.5
八頭町	0	0	6.0	3.5	9.0	8.5
湯梨浜町	1.0	2.5	6.5	3.0	7.5	11.0
関金町	0	0	2	1.0	2.5	0.5
倉吉市				3.4	54.0	10.5
北栄町	1.0	0	2.0	0.5	1.0	0.5
琴浦町	0	0	10.0	5.0	17.0	8.0
大山町	0.5	1.5	0.5	7.0	4.0	0.5
南部町	0.5	1.0	5.0	3.0	10.5	2.0
平均	0.6	2.4	5.7	6.1	14.1	7.2

注) 平成25年から調査方法を変更、表中の数字はトラップあたりの成虫の捕獲数。倉吉市は平成29年に設置場所を追加。

要約：前年と比較してやや少ない誘殺数であった。

b. 果実の被害調査

第38表 地区予察ほ場における被害状況

月・旬	八頭町（新興）			湯梨浜町（山梨）		
	調査 果数	被害果率(%)		調査 果数	被害果率(%)	
		本年	平年		本年	平年
5・中	50	0.0	0.4	50	0.0	0.0
7・下	50	6.0	0.0	50	0.0	0.0

(注) 調査日：八頭町池田・・・5月16日・7月31日

湯梨浜町・・・5月15日・7月20日

平年・・・平成21～30年の平均

要約：八頭町で平年に比べやや多い被害果率であった。

第39表 定点調査ほ場における被害状況（7/23, 24 調査）

調査 地点	品 種	被害果率 (%)		
		本年	前年	平年
鳥取市	豊 水	0	-	0.1
倉吉市	幸 水	0	0	0.1
北栄町	幸 水	0	0	0.1
平 均		0.0	0.0	0.1

(注) 平年・・・平成21～30年の平均

鳥取市佐治：平成30年7月調査 土砂崩れの為調査中止
北栄町は、200果/園の露地無袋果実（幸水・豊水等）に
おける調査。

要約：被害は確認できなかった。

(シ) アブラムシ類

第40表 県予察ほ場におけるアブラムシ類の寄生新梢率の推移

月・半旬	寄生新梢率 (%)					
	ワタアブラムシ		モモアカアブラムシ		ユキヤギアブラムシ	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4月 5半旬	4.9	0.1	0	0	0	0
	15.3	1.0	1.7	0.3	1.7	0.2
5月 1半旬	28.1	2.4	5.6	1.0	16.9	1.2
	29.5	3.4	4.2	1.4	9.5	3.6
	19.4	5.3	0.9	1.8	7.4	5.6
	15.7	7.0	1.9	1.8	3.7	12.4
	18.5	13.1	1.9	1.6	7.4	17.9
	18.8	19.2	0	1.3	16.1	24.1
6月 1半旬	26.3	20.2	0	0.9	11.4	24.9
	26.5	16.2	0	0.7	22.2	24.9
	22.1	10.6	0	0.3	16.4	16.5
	17.1	10.6	0	0.2	18.6	15.1
	7.0	6.9	0	0	6.2	11.5
	2.3	2.9	0	0.2	2.3	5.0
7月 1半旬	-	2.3	0	0.4	0	2.6
	-	0.5	-	0	-	1.5
	-	0.2	-	0	-	2.6
	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-

(注) 平年・・・平成21～30年の平均、殺虫剤無散布の条件下

要約：発生時期はやや早く、盛期は平年並。発生密度ワタアブラムシでやや高かった。

第41表 県内定点調査ほ場*における発生状況（5月調査）

地 区			寄生新梢率（％）							
			ワタアブラムシ（黒）		ワタアブラムシ（緑）		モモアカアブラムシ		ユキヤナギアブラムシ	
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
東 部	鳥取市	佐治町	0	0.7	0	0	10.0	0.7	0	0
		青谷町	6.7	0	0	0	0	0.3	3.3	0.7
	八頭町	上峰寺	0	1.0	0	0	10.0	3.0	20.0	1.7
中 部	倉吉市	中 野	0	2.3	0	0.3	0	0	0	0
	湯梨浜町	別 所	0	0	0	0	0	2.0	0	0.3
	北栄町	園 試	0	0.4	0	0	0	0	10.0	1.1
	琴浦町	竹ノ内	3.3	0.3	0	0	0	1.3	0	0.3
西 部	大山町	坪 田	16.7	0.0	0	0	3.3	1.3	16.7	1.0
	南部町	朝 金	16.7	5.7	0	1.0	0	1.3	3.3	0.7
平 均			4.8	1.2	0	0.1	2.6	1.1	5.9	0.6

（注）平年・・・平成21～30年

要約：ワタアブラムシは平年比やや多い、モモアカアブラムシは平年並、ユキヤナギアブラムシは平年比やや多い。アブラムシ類全般では平年並～やや多い発生量であった。

イ. ブドウ

（ア）生育状況

第1表 県予察ほ場における生育状況（園芸試験場砂丘地農業研究センター）

作型・品種	年次	萌芽期	展葉期	開 花 期			着色期	成 熟 期	落 葉 期
				始め	満開	終り			
無加温ハウス デラウェア	本年	3.11	3.22	5.09	5.11	5.13	6.17	7.18～7.23	11.13
	前年	3.12	3.24	5.01	5.04	5.10	6.13	7.12～7.23	11.19
	平年	3.18	3.26	4.28	5.03	5.09	6.07	7.16～7.21	11.06
巨 峰	本年	3.11	4.02	5.13	5.20	5.23	6.29	8.05～8.20	11.13
	前年	3.12	3.28	5.08	5.15	5.18	6.30	8.06～8.23	11.20
	平年	3.20	3.29	5.03	5.12	5.16	6.25	8.06～8.11	11.16
ピオーネ	本年	3.11	4.02	5.13	5.20	5.23	6.29	8.05～8.16	11.13
	前年	3.13	3.26	5.08	5.14	5.18	6.29	8.06～8.16	11.20
	平年	3.20	3.29	5.04	5.13	5.17	6.27	8.08～8.14	11.18

（注）平年・・・平成21～30年の平均

要約

- ・暖冬で積雪がほとんど無く、天井ビニールの被覆時期は2月下旬ごろが中心となり、例年より早い被覆時期となった。被覆後も平均気温、日照時間ともに平年以上であり、各品種の萌芽期は平年に比べて7～9日早かった。
- ・萌芽期の生育は進んでいたが、ハウス被覆後の急激な温度変化により新梢の生育がばらついたため、芽かき回数を増やし、摘心の強弱で新梢生育を揃える必要があった。
- ・4月上旬～5月上旬が低温で推移したため、各品種の満開日は平年に比べて7～8日遅かった。
- ・デラウェアの出荷ピークは7月下旬で平年よりも遅かった。梅雨時期の降水量が少なく、収穫直前の裂果、病害の発生は少なかった。
- ・巨峰・ピオーネは着色期の6月下旬～7月中旬に気温が低めで、着色は良好であった。
- ・病害虫の発生は少なかったが、梅雨時期にはべと病、白腐病が一部で見られた。虫害では暖冬のため越冬害虫の発生時期が平年よりも早い傾向であった。ハマキムシ類、アザミウマ類の発生量やや多かった。

（イ）晩腐病・灰色かび病など

第2表 県予察ほ場（無加温ハウス栽培）における被害状況（砂丘農業研究センター）

病害名	調査月日	品種	調査樹数	調査果房数	被害果房数	被害果房率	同左前年
晩腐病	8月4日	巨峰	2樹	45房	0	0%	0%
灰色かび病	5月8日	巨峰	2樹	45房	0	0%	0%
白腐病	8月4日	巨峰	2樹	45房	0	0%	0%

要約： 晩腐病、灰色かび病、白腐病の発生は見られなかった。

(ウ) チャノキイロアザミウマ

第3表 粘着トラップ「黄色平板」によるチャノキイロアザミウマの誘殺消長
(砂丘地農業研究センター：露地栽培、無加温ハウス栽培)

月・旬	露地栽培		無加温ハウス栽培	
	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0	0	0
中	0	0	0	0
下	0	0	0	0
5・上	0	0	0	0
中	0	1	0	0
下	2	1	17	1
6・上	2	1	6	1
中	0	1	4	1
下	1	7	9	1
7・上	1	15	53	3
中	2	34	191	16
下	19	72	1,548	31
8・上	20	103	289	52
中	16	161	126	92
下	5	128	71	71
9・上	12	87	42	57
中	7	71	30	51
下	2	28	10	18
10・上	0	8	3	11
中	0	2	0	3
下	0	0	0	1
合 計	89	721	2,399	409

(注) 平年・・・平成21～30年

要約：露地は少発で推移し、7月下旬～8月中旬が発生のピークであった。無加温ハウスは、7月上旬から発生量が増え、7月下旬が発生のピークで、平年より発生が多かった。

(エ) チャノコカクモンハマキ

第4表 フェロモントラップによるチャノコカクモンハマキの誘殺消長
(砂丘地農業研究センター：露地栽培、無加温ハウス栽培)

月・旬	露地栽培		無加温ハウス栽培	
	本年	平年	本年	平年
4・上	0	2	0	0
中	15	7	3	2
下	28	19	0	4
5・上	37	38	9	7
中	26	22	2	4
下	1	4	0	1
6・上	1	1	0	0
中	13	8	1	1
下	7	35	1	5
7・上	12	18	1	4
中	2	8	1	2
下	21	28	6	7
8・上	40	26	13	5
中	25	13	1	3
下	15	9	3	2
9・上	60	15	14	5
中	51	54	31	18
下	47	54	20	21
10・上	131	26	47	15
中	61	22	24	14
下	53	14	20	7
11・上	1	9	2	3
中	3	2	0	1
下	0	2	2	0
合 計	650	432	201	131

(注) 平年・・・平成21～30年

要約：露地は平年に比べ発生量はやや多く、9月～10月にかけて多く推移した。

無加温ハウスは9月～10月にかけてやや多く推移した。露地では、5月上旬、6月中旬、7月上旬、8月上旬、9月上旬、10月上旬にピークが見られた。

無加温では、5月上旬、8月上旬、9月中旬、10月上旬にピークが見られた。

第5表 県予察ほ場（無加温ハウス栽培）における被害状況（砂丘地農業研究センター）

虫害名	調査月日	品 種	調査樹数	調査果房数	被害果房数	被害果房率	同左前年
ハマキムシ類	8月4日	ピオーネ	2樹	15房	0房	0%	0%

要約：被害はなかった。

(オ) 果実吸蛾類

第6表 県予察ほ場（無加温ハウス栽培）における被害状況（砂丘地農業研究センター）

虫害名	調査月日	品 種	調査樹数	調査果房数	被害果房数	被害果房率	同左前年
果実吸蛾類	8月4日	ピオーネ	2樹	15房	0	0%	0%

要約：被害はなかった（防蛾灯設置あり）。

ウ. カ キ

(ア) 生育状況（品種：富有64年生）

第1表 県予察ほ場における生育状況（園芸試験場河原試験地）

調 査 項 目	本 年	平 年
萌 芽 期	2.21	2.20
発 芽 期	3.09	3.17
展 葉 期	4.09	4.11
開 花 初 期	5.22	5.23
最 盛 期	5.24	5.26
終 期	5.27	5.29
新梢発育停 止 期	5.28	5.28
果実の着色 始 め	9.23	9.26
落 葉 期	12.10	11.29

(注) 平年・・・平成21～30年の平均

要約：展葉期は、平年より2日早く、開花期は平年より2日早く、着色初めは平年より3日早かった。

果実の10日間肥大量は、ほぼ平年並に推移し、果実肥大もほぼ平年並であった。

病害虫については、8月中旬、9月上旬、9月下旬から10月上旬にカメムシ類が多発したが、果実被害は平年並みであった。

ヘタスキの発生はやや多く、9月、10月の気温が高く推移したことから収穫期は遅くなった。

(イ) カメムシ類・カキノヘタムシガ・モモノゴマダラメイガ

第2表 県予察ほ場における予察灯による誘殺状況（河原試験地）

月・半月	カメムシ類								カキノヘタムシガ		モモノゴマダラメイガ	
	チャバネアオカメムシ		アオクサカメムシ及びツヤアオカメムシ		クサギカメムシ		総計		本年	平年	本年	平年
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年				
5・1	0	1.6	0	0.1	0	1.0	0	2.7	0	0.0	0	0.0
2	1	1.9	0	0.1	0	0.7	1	2.7	0	0.0	0	0.0
3	12	3.7	2	0.2	0	0.3	14	4.2	0	0.0	0	0.0
4	21	14.4	1	1.9	0	2.8	22	19.1	0	0.1	0	0.0
5	53	12.0	2	0.6	1	0.7	56	13.3	0	0.0	0	0.0
6	487	12.6	2	2.9	0	2.2	489	17.7	0	0.9	0	0.2
6・1	22	6.3	8	1.2	3	1.0	33	8.5	0	1.0	1	0.1
2	21	7.4	22	4.2	14	1.5	57	13.1	0	0.9	2	0.7
3	1	22.1	15	14.7	2	3.0	18	39.8	0	0.2	0	0.7
4	3	25.1	16	17.6	4	2.1	23	44.8	0	0.0	0	1.1
5	8	21.2	29	15.6	2	1.9	39	38.7	0	0.0	0	1.6
6	120	41.4	136	47.6	0	3.5	256	92.5	0	0.0	0	0.9
7・1	199	52.6	64	55.9	8	9.5	271	118.0	0	0.0	0	0.7
2	67	40.2	20	32.0	6	12.9	93	85.1	0	0.0	0	0.2
3	35	51.7	32	44.1	12	26.9	79	122.7	0	0.0	0	0.2
4	78	126.7	14	56.5	22	49.5	114	232.7	0	0.1	0	0.0
5	102	179.8	45	42.7	145	82.0	292	304.5	0	0.1	0	0.4
6	59	116.7	39	59.0	108	139.2	206	314.9	0	1.5	0	0.3
8・1	53	154.6	52	66.8	101	154.7	206	376.1	0	1.3	0	0.0
2	120	149.8	74	86.0	58	142.8	252	378.6	0	0.2	0	0.1
3	310	171.8	112	96.7	78	180.0	500	448.5	0	0.0	0	0.8
4	475	153.8	88	72.5	97	154.3	660	380.6	0	0.2	0	0.7
5	390	204.8	86	50.4	96	147.7	572	402.9	0	0.0	0	0.7
6	213	142.6	36	44.9	27	65.1	276	252.6	0	0.0	0	0.2
9・1	602	80.1	40	33.0	39	23.7	681	136.8	0	0.0	0	0.2
2	1647	80.9	56	29.8	54	15.8	1757	126.5	0	0.0	0	0.1
3	468	92.4	11	19.6	25	21.3	504	133.3	0	0.0	0	0.4
4	286	71.4	9	20.8	18	19.1	313	111.3	0	0.0	0	0.4
5	37	120.9	3	36.6	0	24.2	40	181.7	0	0.0	0	1.2
6	622	64.5	59	64.6	6	11.6	687	140.7	0	0.0	1	0.2
10・1	518	40.8	35	53.8	10	9.4	563	104.0	-	-	-	-
2	16	83.3	43	48.4	0	10.9	59	142.6	-	-	-	-
3	16	10.8	17	18.7	0	5.4	33	34.9	-	-	-	-
4	0	3.4	95	39.7	4	5.8	99	48.9	-	-	-	-
5	3	2.4	65	18.8	5	4.7	73	25.9	-	-	-	-
6	5	0.1	18	11.4	2	2.1	25	13.6	-	-	-	-
合 計	7070	2365.8	1346	1209.5	947	1339.3	9363	4914.6	0	6.5	4	12.1

要約：カメムシ類の発生は、チャバネアオカメムシは5月下旬、6月下旬から7月上旬、8月中旬、9月から10月上旬に増加し、発生量は平年を上回った。クサギカメムシは発生時期、発生量ともほぼ平年並であった。追加防除等を行った結果、果実被害は平年並であった。

カキノヘタムシガの誘殺数は0頭で、果実被害も見られなかった。

モモノゴマダラメイガの誘殺数は平年より少なかった。

(ウ) ハマキムシ類、ヒメコスカシバ

(エ) アワフキ類

第3表 県予察ほ場における誘殺消長

月・旬	チャハマキ		チャノコカクモンハマキ		ヒメコスカシバ	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
4・上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
中	1	0.1	2	0.3	0	0.0
下	7	0.6	1	2.7	0	0.2
5・上	7	1.8	9	9.9	1	1.1
中	17	1.1	31	4.8	2	0.8
下	12	0.8	2	1.4	2	0.7
6・上	13	0.2	0	0.0	1	0.1
中	8	1.0	7	2.5	0	0.1
下	4	0.2	15	7.4	0	0.1
7・上	0	0.1	26	10.3	0	0.0
中	6	0.1	2	2.6	0	0.2
下	9	1.7	16	1.9	1	0.7
8・上	2	0.3	18	4.3	4	3.6
中	2	0.2	19	3.2	5	3.6
下	2	0.2	3	0.8	2	4.0
9・上	3	0.3	7	1.5	0	1.9
中	2	0.6	25	9.7	2	1.1
下	8	0.3	24	11.9	2	0.9
10・上	3	0.7	9	9.5	0	0.4
中	22	1.4	15	5.0	1	0.4
下	4	1.0	6	1.9	0	0.1
合 計	132	12.8	237	91.6	23	20.1

(注) 平年・・・平成21～30年の平均

要約：チャハマキ及びチャノコカクモンハマキの誘殺数は平年より多かったが、追加防除等により果実被害は少なかった。
ヒメコスカシバの誘殺数は平年並で、被害も平年並であった。

第4表 予察灯による成虫の誘殺状況

月・半旬	コガシラアワフキ		モンキアワフキ	
	本年	平年	本年	平年
5・1	0	0.0	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0
4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.4
6・1	0	0.0	0	0.1
2	0	0.0	0	0.2
3	0	0.1	0	0.1
4	0	0.0	0	0.0
5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0
7・1	8	1.0	0	0.0
2	1	0.8	0	0.1
3	3	1.5	0	0.1
4	0	1.1	0	0.0
5	0	0.3	0	0.0
6	0	0.1	0	0.0
8・1	0	0.1	0	0.0
2	0	0.0	0	0.0
3	0	0.0	0	0.0
4	1	0.0	0	0.1
5	0	0.0	0	0.0
6	0	0.0	0	0.0
9・1	0	0.0	0	0.2
2	0	0.0	0	1.6
3	0	0.0	0	7.6
4	0	0.0	1	18.9
5	0	0.0	11	33.3
6	0	0.0	26	37.1
10・1	0	0.0	20	22.1
2	0	0.0	2	8.2
3	0	0.0	0	2.4
4	0	0.0	0	0.7
5	0	0.0	0	0.4
6	0	0.0	0	0.0
合計	13	5.1	60	133.6

(注) 平年・・・平成21～30年の平均

要約：コガシラアワフキの誘殺数はやや多く、モンキアワフキの誘殺数は平年より少なかった。果実の被害は平年よりやや多かった。

8 野菜病害虫の発生予察調査結果

(1) 主な野菜病害虫の発生程度別面積

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	発生程度別面積 (ha)					面積率 (%)
			甚	多	中	少	計	
スイカ	385	つる枯病			9	101	110	28.6
		炭そ病			9	98	107	27.8
		疫病・褐色腐敗病				5	5	1.3
		うどんこ病				40	40	10.4
		菌核病		1	14	79	94	24.4
		アブラムシ類		2	17	236	255	66.2
		ハダニ類		2	8	131	141	36.6
キャベツ	109	黒腐病				12	12	11.0
		菌核病				5	5	4.6
		べと病				7	7	6.4
		軟腐病				5	5	4.6
		モンシロチョウ				28	28	25.7
		コナガ		2	28	20	50	45.9
		ヨトウガ		2	15	17	34	31.2
		ハスモンヨトウ	1	4	40	26	71	65.1
		シロイチモジヨトウ				6	6	5.5
		アブラムシ類		2	17	30	49	45.0
		ハマダラノメイガ				19	19	17.4
ブロッコリー	749	軟腐病		5	19	71	95	12.7
		べと病				14	14	1.9
		黒腐病		4	15	211	230	30.7
		コナガ	3	30	70	265	368	49.1
		ハスモンヨトウ	5	30	90	280	405	54.1
		ハマダラノメイガ				48	48	6.4
夏ネギ	182	さび病			20	105	125	68.7
		黒斑病		3	32	101	136	74.7
		萎縮病				3	3	1.6
		べと病		4	24	31	59	32.4
		軟腐病		2	25	33	60	33.0
		ネギハモグリバエ		4	10	56	70	38.5
		ネギアザミウマ	7	28	57	75	167	91.8

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	発生程度別面積 (ha)					面積率 (%)
			甚	多	中	少	計	
秋冬ネギ	347	さび病				12	12	3.5
		黒斑病			29	74	103	29.7
		萎縮病				2	2	0.6
		萎凋病		2	7	30	39	11.2
		べと病			2	7	9	2.6
		軟腐病		3	11	20	34	9.8
		アブラムシ類				3	3	0.9
		ネギハモグリバエ		6	22	125	153	44.1
		ネギアザミウマ	2	20	60	155	237	68.3
		ネギコガ				31	31	8.9
		シロイチモジヨトウ				115	115	33.1
		ハスモンヨトウ				110	110	31.7
イチゴ	26	灰色カビ病			2	12	14	53.8
		うどんこ病				10	10	38.5
		炭疽病				11	11	42.3
		アブラムシ類			2	10	12	46.2
		ハダニ類			1	12	13	50.0
		ハスモンヨトウ			3	5	8	30.8
ナガイモ	51	炭疽病		2	5	23	30	58.8
		ナガイモコガ		1	2	15	18	35.3
		ハダニ類		4	9	14	27	52.9
		シロイチモジヨトウ				9	9	17.6
ラッキョウ	176	白色疫病			1	18	19	10.8
		灰色かび病		1	18	119	138	78.4
		ネギハモグリバエ		2	10	40	52	29.5
		ネギアザミウマ		5	18	84	107	60.8

作付面積は、農林水産省統計情報、平成30年産野菜生産出荷統計（令和元年12月9日確報）より。ただしいちごは平成28年産野菜生産出荷統計（平成29年11月27日公表）を、ラッキョウは平成30年産地域特産野菜生産状況（令和2年3月24日公表）を参照。

(2) 主な病害虫の発生概要と発生原因の解析

ア. ス イ カ

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
つる枯病 (平年並)	発生時期は平年並で、トンネル作型において、5月下旬から発生し、6月以降発生量が増加したが、最終的な発生量は平年並であった。	5～6月の降水量が少なく、梅雨入りも遅かったことから、本病発生を助長する気象条件とならなかったことに加え、発生初期からの防除の徹底により、発生の増加が抑えられた。
疫病・ 褐色腐敗病 (平年並)	発生時期は平年並で、収穫期の発生量は平年並であった。	6月の降水量が少なく、発生初期からの防除の徹底により、発生の増加が抑えられた。
炭疽病 (平年並)	発生時期は平年並で、5月下旬から発生し、6月以降発生量が増加したが、最終的な発生量は平年並であった。	5～6月の降水量が少なく、梅雨入りも遅かったことから、本病発生を助長する気象条件とならなかったことに加え、発生初期からの防除の徹底により、発生の増加が抑えられた。
うどんこ病 (平年並)	発生時期は平年並で6月下旬から発生し、発生量は調査期間を通して平年並であった。	5～6月は高温で降水量も少なく、本病発生を助長する気象要因であったが、発生初期からの防除の徹底により、発生の増加が抑えられた。
菌核病 (平年並)	発生時期は平年並で、5月上旬から発生し、発生量は調査期間を通して平年並であった。	4月は低温で本病発生を助長する気象条件であったが、防除の徹底と5月以降の高温により、発生の増加が抑えられた。
アブラムシ類 (平年並)	黄色水盤トラップの結果、誘殺数は多かったが、ほ場における発生量は平年並であった。	4月中旬と5月の降水量が少なく、5月の気温が高く推移したため飛来数が増加したが、定期防除によりほ場での発生の増加が抑えられた。
ハダニ類 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	5月の気温が高く発生を助長する気象条件だったが、定期防除により発生の増加が抑えられた。

イ. キ ャ ベ ッ

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
黒腐病 (平年並)	発生時期は平年並で、8月下旬からわずかに発生し、9月以降発生量が増加したが、最終的な発生量は平年並であった。	8月下旬の降水量が多いのに加えて、台風の通過により発生が助長された。
菌核病 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
軟腐病 (平年並)	発生時期は平年並で、8月下旬からわずかに発生し、9月以降発生量が増加したが、最終的な発生量は平年並であった。	8月下旬の降水量が多いのに加えて、台風の通過により発生が助長された。
べと病 (平年並)	発生時期はやや遅く、発生の増加は全般的に緩慢で、10月以降に発生したが、最終的な発生量は平年並であった。	10月以降の気温の低下に伴って発生量が増加した。
黒斑細菌病 (平年並)	発生時期は平年並で、8月下旬からわずかに発生し、9月以降発生量が増加したが、最終的な発生量は平年並であった。	8月下旬の降水量が多いのに加えて、台風の通過により発生が助長された。
アブラムシ類 (平年並)	黄色水盤トラップの結果、誘殺数は多かったが、発生時期、発生量ともに平年並であった。	9月の高温少雨のため飛来数が増加したが、定期防除により、発生の増加が抑えられた。
モンシロチョウ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
コナガ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数はやや少なかった。発生時期、発生量は平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ヨトウガ・ ハスモンヨトウ・ シロイチモジヨトウ (やや多い)	フェロモントラップ調査の結果、ハスモンヨトウの誘殺数はやや多かったが、ヨトウガ、シロイチモジヨトウの誘殺数はやや少なかった。ほ場でのハスモンヨトウの発生量はやや多かった。	ハスモンヨトウは8月以降の高温と9月の少雨のため、発生が増加した。
タマナギンウワバ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハイマダラノメイガ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。

ウ. ブロッコリー

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
軟腐病 (平年並)	発生時期は平年並で、8月下旬からわずかに発生し、9月以降発生量が増加したが、最終的な発生量は平年並であった。	8月下旬の降水量が多いのに加えて、台風の通過により発生が助長された。
黒腐病 (平年並)	発生時期は平年並で、8月下旬からわずかに発生し、9月以降発生量が増加したが、最終的な発生量は平年並であった。	8月下旬の降水量が多いのに加えて、台風の通過により発生が助長された。
べと病 (平年並)	発生時期はやや遅く、発生の増加は全般的に緩慢で、10月以降に発生したが、最終的な発生量は平年並であった。	10月以降の気温の低下に伴って発生量が増加した。
黒すす病 (やや多い)	発生時期は平年並で、8月下旬から発生し、9月以降発生量が増加し、最終的な発生量はやや多くなった。	8月下旬の降水量が多く、台風の通過により本病発生が助長されたが、防除の徹底により発生の増加が抑えられた。
アブラムシ類 (平年並)	黄色水盤トラップの結果、誘殺数は多かったが、発生時期、発生量ともに平年並であった。	4月中旬の少雨と、5月、9月の高温少雨のため飛来数が増加したが、定期防除によりほ場での発生の増加が抑えられた。
モンシロチョウ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
コナガ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、6月の誘殺数は平年より多かったが、7月以降の誘殺数はやや少なかった。発生時期、発生量は平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ヨトウガ・ ハスモンヨトウ・ シロイチモジヨトウ (やや多い)	フェロモントラップ調査の結果、ハスモンヨトウの誘殺数はやや多かったが、ヨトウガ、シロイチモジヨトウの誘殺数はやや少なかった。ほ場でのハスモンヨトウの発生量はやや多かった。	ハスモンヨトウは、5月の高温少雨、8月以降の高温と9月の少雨のため、発生が増加した。
タマナギンウワバ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。

エ. ネ ギ

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
さび病 (やや少ない)	発生時期は平年並で、5月下旬から発生し、発生量は春期で平年並であったが、秋期はやや少なくなり、最終的な発生量はやや少なくなった。	夏場の高温により発病が抑制され、9月以降の発生の増加が抑えられた。
黒斑病 (平年並)	発生時期は平年並で、6月下旬から発生し、最終的な発生量は平年並であった。	8月下旬から降雨量が多く、台風通過により本病の発生が助長されたが、防除の徹底により発生の増加が抑えられた。
萎縮病 (平年並)	全般に平年並の発生量であった。	アブラムシ類の発生が平年並であったことから、平年並の発生量となった。
軟腐病 (やや多い)	発生時期は平年並で、6月下旬から発生し、7月以降発生量が増加し、最終的な発生量はやや多くなった。	7月の高温と降雨により発生が助長された。また、8～9月の台風通過などにより、発生量が増加した。
べと病 (平年並)	春期の発生時期は平年並、4月下旬の発生量は平年並、5月はやや少なかった。6月に一部地域で本病が多発したことから、6月14、27日付で指導情報を発表した。9月以降の発生量は平年並で、最終的な発生量は平年並となった。	5月の降水量が少なく、発生量はやや少なめに推移したが、6月に一部地域において本病が多発生となった。9月以降の降水量の増加に伴って発生量が増加したが、防除が徹底された。
白絹病 (平年並)	発生時期は平年並で、7月下旬から発生し、8月下旬以降発生量が増加し、最終的な発生量は平年並であった。	7月の高温と降雨により発生が助長されたが、防除の徹底により発生の増加が抑えられた。
萎凋病 (平年並)	発生時期は平年並で、7月下旬から発生し、8月以降発生量が増加したが、最終的な発生量は平年並であった。	7、8月の高温と8月下旬以降の降水量の増加により、本病発生が助長された。
アブラムシ類 (平年並)	黄色水盤トラップの結果、誘殺数は多かったが、発生時期・発生量は平年並であった。	他種との同時防除により、発生の増加が抑えられた。
ネギハモグリバエ (やや少ない)	発生時期は平年並であったが、発生量はやや少なかった。	5月の高温少雨は発生を助長する気象条件だったが、定期防除により発生の増加が抑えられた。
ネギアザミウマ (やや多い)	発生時期はやや早く5月、6月は発生量が増加し平年よりやや多い発生量となった。9月以降はやや少なく推移したが、通年での発生量はやや多かった。	5月の高温少雨のため、春期は発生が増加した。一方、8月の高温と、10月の降雨により、秋期は発生の増加が抑えられた。

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
シロイチモジヨトウ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、8月以降の誘殺数はやや少なかったが、発生時期・発生量は平年並であった。	9月の高温少雨は発生を助長する気象条件だったが、定期防除により発生の増加が抑えられた。
ネギコガ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数はやや多かったが、発生量は平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハスモンヨトウ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数はやや多かったものの、発生量は平年並であった。	定期防除により、発生の増加が抑えられた

オ. イ チ ゴ

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
灰色かび病 (平年並)	発生時期は平年並で、最終的な発生量は平年並であった。	11月以降の降水量が少なく、本ばにおける防除の徹底により、発生の増加が抑えられた。
炭疽病 (平年並)	発生時期は平年並で、最終的な発生量は平年並であった。	5～6月の降水量が少なく、発生の増加が抑えられた。また、育苗期における防除の徹底により、苗床での発生の増加が抑えられた。
うどんこ病 (やや少ない)	発生時期は平年並で、5月下旬から発生した。5月下旬の発生量は平年並であったが、6月の発生量は少なく推移し、最終的な発生量はやや少なくなった。	5～6月の降水量が少なく、本病発生を助長する気象条件であったが、育苗期や本ばにおける防除の徹底により、発生の増加が抑えられた。
アブラムシ類 (やや少ない)	黄色水盤トラップの結果、誘殺数は多かったが、ほ場における発生量はやや少なかった。	5月、9月の高温少雨は発生を助長する気象条件だったが、定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハダニ類 (やや少ない)	全般にほ場での発生量はやや少なかった。	5月、11月の高温少雨は発生を助長する気象条件だったが、定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハスモンヨトウ (平年並)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数はやや多かったものの、発生量は平年並であった。	誘殺数は多かったが防虫ネットと定期防除により、苗床での発生の増加が抑えられた。

カ. ナ ガ イ モ

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
炭疽病 (平年並)	発生時期は平年並で、7月下旬から発生し、最終的な発生量は平年並であった。	7月の高温と降雨により本病発生が助長された。また、8～9月の台風の通過などにより、発生量が増加した。
ナガイモコガ (やや少ない)	フェロモントラップ調査の結果、誘殺数はやや少なく発生量もやや少なかった。	8月下旬の気温の低下と降雨、定期防除により、発生の増加が抑えられた。
シロイチモジヨトウ (やや少ない)	フェロモントラップ調査の結果、8月以降の誘殺数はやや少なく、発生量もやや少なかった。	8月下旬の気温の低下と降雨、定期防除により、発生の増加が抑えられた。
ハダニ類 (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	8月下旬の気温の低下と降雨、定期防除により、発生の増加が抑えられた。

キ. ラ ッ キ ョ ウ (H31 年産)

病 害 虫 名 (概 評)	発生経過の概要	発生原因の解析
白色疫病 (平年並)	発生時期は平年並で、1月下旬から発生し、最終的な発生量は平年並であった。	1～2月の気温は平年より高く推移したが、降水量・降雪量が少なく、発生の増加が抑えられた。
灰色かび病 (平年並)	発生時期は平年並で、最終的な発生量は平年並であった。	定期防除の徹底により発生の増加が抑えられた。
ネギハモグリバエ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	5月の高温少雨は発生を助長する気象条件だったが、定期防除により発生の増加が抑えられた。
ネギアザミウマ (平年並)	発生時期、発生量ともに平年並であった。	5月の高温少雨は発生を助長する気象条件だったが、定期防除により発生の増加が抑えられた。

(3) 調査の概要と結果

ア. ス イ カ

ａ．県予察ほ場における調査（東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 黄色水盤によるアブラムシ類の誘殺数

月・半旬	虫数	月・半旬	虫数	月・半旬	虫数	月・半旬	虫数
4.1	8.4	6.1	147.9	8.1	2.5	10.1	142.9
4.2	16.4	6.2	33.6	8.2	8.1	10.2	77.0
4.3	163.3	6.3	40.0	8.3	9.4	10.3	50.0
4.4	172.3	6.4	39.3	8.4	5.8	10.4	72.9
4.5	130.7	6.5	19.2	8.5	14.5	10.5	43.7
4.6	30.0	6.6	55.7	8.6	12.7	10.6	49.1
5.1	60.0	7.1	41.8	9.1	9.0		
5.2	45.8	7.2	32.3	9.2	15.0		
5.3	36.3	7.3	30.0	9.3	8.6		
5.4	19.2	7.4	6.0	9.4	23.6		
5.5	43.8	7.5	0.1	9.5	93.7		
5.6	99.1	7.6	0.9	9.6	334.3		

ｂ．一般ほ場における調査

第2表 巡回調査ほ場の概要

作 型	定植期	開花期	収穫期	調査場所	調査ほ場数
ビニールハウス	3月上旬	4月下旬	6月中旬～下旬	東伯郡 北栄町(由良宿、妻波、大谷、高千穂、下種)	5 (各1ほ場)
大型トンネル	3月下旬	5月上旬	6月下旬～7月上旬	東伯郡 北栄町 由良宿	3
				〃 〃 大谷	2
				〃 〃 高千穂	1
				倉吉市 横田	1

第3表 巡回調査ほ場における発病調査（菌核病）

作型	地区	調査月日	菌核病					
			調査ほ場数	程度別ほ場数				
				甚	多	中	少	計
ビニールハウス	北栄	4.12	5	0	0	0	0	0
		5.8	5	0	0	0	1	1
トンネル	北栄	5.21	5	0	0	0	0	0
		6.25	5	0	0	0	0	0
	倉吉	5.21	2	0	0	0	0	0
		6.25	2	0	0	0	0	0
	合計	5.21	7	0	0	0	0	0
		6.25	7	0	0	0	0	0

第4表 巡回調査ほ場における発病調査（つる枯病、うどんこ病）

作型	地区	調査月日	つる枯病						うどんこ病					
			調査 地点数	程度別ほ場数					調査 地点数	程度別ほ場数				
				甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計
ビニール ハウス	北栄	4.12	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0
		5.8	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0
トンネル	北栄	5.21	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0
		6.25	25	0	0	0	2	2	25	0	0	0	0	0
	倉吉	5.21	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0
		6.25	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0
	合計	5.21	35	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0
		6.25	35	0	0	0	2	2	35	0	0	0	0	0

第5表 巡回調査ほ場における発病調査（疫病・褐色腐敗病、炭疽病）

作型	地区	調査月日	疫病・褐色腐敗病						炭疽病					
			調査 地点数	程度別ほ場数					調査 地点数	程度別ほ場数				
				甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計
トンネル	北栄	5.21	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0
		6.25	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	1	1
	倉吉	5.21	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0
		6.25	10	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0
	合計	5.21	35	0	0	0	0	0	35	0	0	0	0	0
		6.25	35	0	0	0	0	0	35	0	0	0	1	1

第6表 巡回調査ほ場における発生調査（アブラムシ類、ハダニ類）

作型	地区	調査月日	アブラムシ類						ハダニ類					
			調査 地点数	程度別ほ場数					調査 地点数	程度別ほ場数				
				甚	多	中	少	計		甚	多	中	少	計
ビニール ハウス	北栄	4.12	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0
		5.8	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0
トンネル	北栄	5.21	25	0	0	0	3	3	25	0	0	0	1	1
		6.25	25	0	0	0	6	6	25	0	0	0	1	1
	倉吉	5.21	10	0	0	0	6	6	10	0	0	0	0	0
		6.25	10	0	0	0	3	3	10	0	0	0	1	1
	合計	5.21	35	0	0	0	9	9	35	0	0	0	1	1
		6.25	35	0	0	0	9	9	35	0	0	0	2	2

イ. キャベツ

a. 県予察ほ場における調査（東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

コナガ						ヨトウガ					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	14.3	7.1	12.4	9.1	0	5.1	8.6	7.1	0.8	9.1	1.2
5.2	15.1	7.2	5.0	9.2	0	5.2	11.7	7.2	1.3	9.2	0.8
5.3	15.6	7.3	3.3	9.3	0.7	5.3	13.8	7.3	0.8	9.3	10.7
5.4	12.5	7.4	2.2	9.4	0.3	5.4	14.2	7.4	0.2	9.4	10.3
5.5	12.5	7.5	1.8	9.5	0.1	5.5	4.8	7.5	0	9.5	8.1
5.6	19.4	7.6	1.7	9.6	0.7	5.6	4.0	7.6	0	9.6	0.7
6.1	23.6	8.1	0	10.1	0.1	6.1	5.0	8.1	0	10.1	8.1
6.2	17.9	8.2	0	10.2	0	6.2	1.4	8.2	0	10.2	8.6
6.3	37.6	8.3	0	10.3	0	6.3	0.6	8.3	0	10.3	6.4
6.4	51.7	8.4	0	10.4	0	6.4	0	8.4	0	10.4	0
6.5	55.8	8.5	0	10.5	0	6.5	0	8.5	0	10.5	0
6.6	23.6	8.6	0	10.6	0	6.6	0	8.6	1.0	10.6	0

第2表 フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

カブラヤガ						タマナヤガ					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	12.1	7.1	4.4	9.1	0.7	5.1	0	7.1	0.3	9.1	0
5.2	14.2	7.2	3.1	9.2	3.3	5.2	0.8	7.2	0	9.2	0
5.3	15.6	7.3	2.5	9.3	2.9	5.3	1.3	7.3	0	9.3	0
5.4	17.5	7.4	1.5	9.4	4.1	5.4	2.5	7.4	0	9.4	0
5.5	10.5	7.5	1.1	9.5	4.3	5.5	1.0	7.5	0.1	9.5	0
5.6	8.7	7.6	0.9	9.6	1.4	5.6	0.8	7.6	0.9	9.6	0
6.1	4.3	8.1	0	10.1	2.0	6.1	0.7	8.1	0	10.1	0
6.2	0	8.2	0.4	10.2	2.7	6.2	0	8.2	0	10.2	0
6.3	1.7	8.3	0.6	10.3	3.6	6.3	1.3	8.3	0	10.3	0
6.4	2.3	8.4	0.8	10.4	0	6.4	1.9	8.4	0.8	10.4	0
6.5	0	8.5	0.2	10.5	0.4	6.5	0.8	8.5	1.5	10.5	0
6.6	6.4	8.6	0	10.6	2.0	6.6	0.7	8.6	0.7	10.6	0

b. 一般ほ場における調査

第3表 巡回調査ほ場の概要

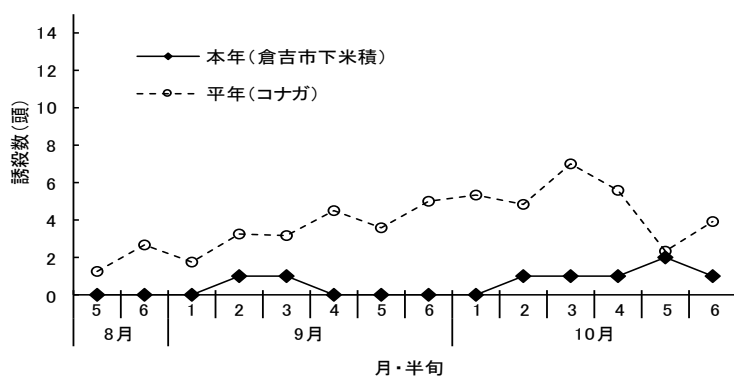
は種期	定植期	収穫期	調査場所	調査ほ場数
7月上旬	8月上旬	10月上旬	倉吉市 横 田	2
～	～	～	東伯郡 北栄町 高千穂	1
7月下旬	9月上旬	12月	〃 〃 此 山	2

第4表 フェロモントラップの設定

設置場所	調査期間	対象害虫	トラップの種類
倉吉市 下米積 (病害虫発生状況調査ほ)	8月21日～ 10月31日	コナガ	SEトラップ

第5表 フェロモントラップによるコナガ雄成虫の誘殺数（病害虫発生状況調査ほ場）

倉吉市下米積			
月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数
8.5	0	9.6	0
8.6	0	10.1	0
9.1	0	10.2	1.0
9.2	1.0	10.3	1.0
9.3	1.0	10.4	1.0
9.4	0	10.5	2.0
9.5	0	10.6	1.0



第1図 フェロモントラップによるコナガ雄成虫の誘殺消長

第6表 巡回調査ほ場における発病調査（黒腐病、菌核病、べと病）

地区	調査月日	調査ほ場数	黒腐病					菌核病					べと病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
北栄	8.27	3	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.25	3	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.23	3	0	0	0	2	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
倉吉	8.27	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.25	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.23	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.27	5	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.25	5	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.23	5	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第7表 巡回調査ほ場における発病調査（軟腐病、黒斑細菌病）

地区	調査月日	調査 ほ場数	軟腐病					黒斑細菌病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
北栄	8.27	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.25	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.25	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
倉吉	8.27	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.25	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.25	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.25	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第8表 巡回調査ほ場における発生調査（コナガ、アオムシ、ヨトウガ・ハスモンヨトウ）

地区	調査月日	調査 ほ場数	コナガ					アオムシ					ヨトウガ・ハスモンヨトウ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
北栄	8.27	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	10.25	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
倉吉	8.27	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.25	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	10.25	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

第9表 巡回調査ほ場における発生調査（アブラムシ、タマナギンウワバ、ネキリムシ）

地区	調査月日	調査 ほ場数	アブラムシ					タマナギンウワバ					ネキリムシ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
北栄	8.27	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.23	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
倉吉	8.27	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.23	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.27	5	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.23	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第10表 巡回調査ほ場における発生調査（ハイマダラノメイガ）

地区	調査月日	調査 ほ場数	ハイマダラノメイガ				
			程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計
北栄	8.27	3	0	0	0	0	0
	10.23	3	0	0	0	0	0
倉吉	8.27	2	0	0	0	0	0
	10.23	2	0	0	0	0	0
合計	8.27	5	0	0	0	0	0
	10.23	5	0	0	0	0	0

ウ. ブロッコリー

第1表 定点調査ほ場の概要

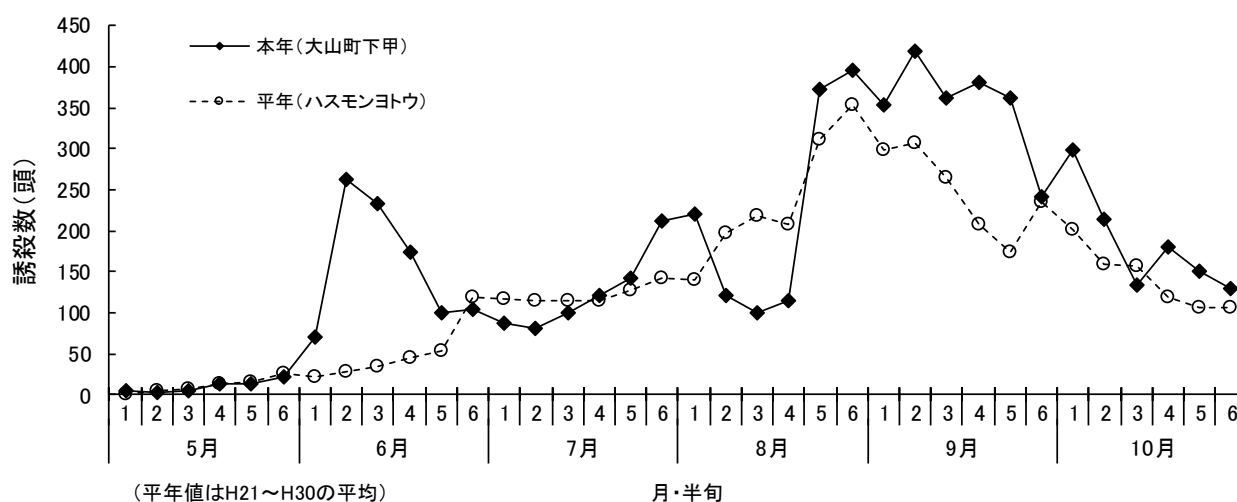
は種期	定植期	収穫期	調査場所	調査ほ場数
7月上旬	8月上旬	10月上旬	東伯郡 北栄町 高千穂	1
～	～	～	〃 〃 大谷	2
8月下旬	9月下旬	12月	西伯郡 大山町 下甲	4

第2表 フェロモントラップの設定

設置場所	調査期間	対象害虫	トラップの種類
西伯郡 大山町 下甲 (病害虫発生状況調査ほ)	5月1日～ 11月30日	ハスモンヨトウ	ファネルトラップ
		コナガ	SEトラップ

第3表 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺数（病害虫発生状況調査ほ場）

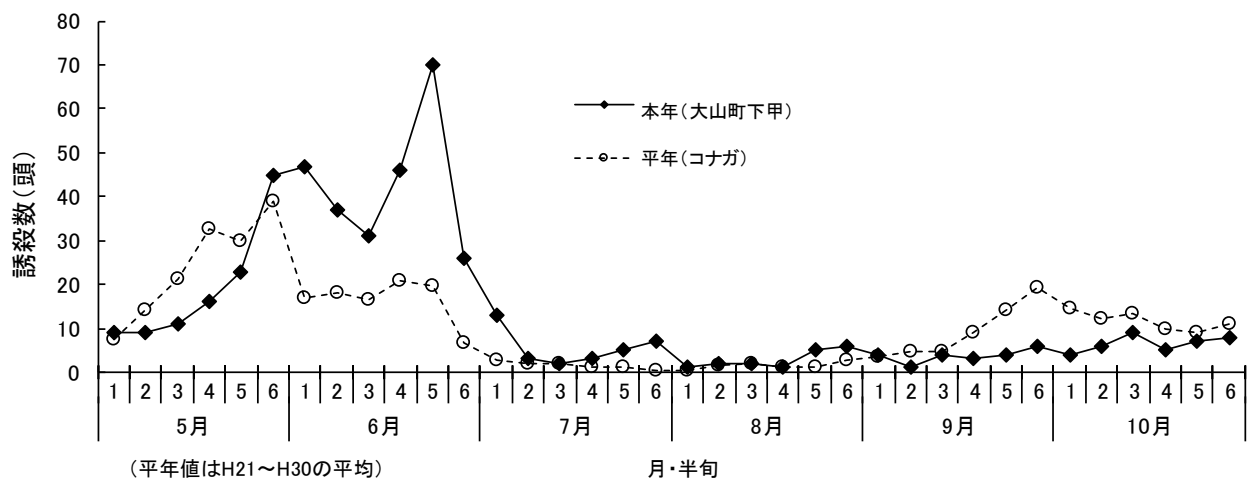
大山町下甲					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	3.6	7.1	88.0	9.1	353.0
5.2	2.7	7.2	81.4	9.2	418.6
5.3	4.6	7.3	98.6	9.3	360.7
5.4	14.3	7.4	119.7	9.4	380.0
5.5	14.3	7.5	141.9	9.5	362.4
5.6	22.3	7.6	211.1	9.6	240.6
6.1	70.7	8.1	220.0	10.1	297.9
6.2	262.1	8.2	121.0	10.2	214.3
6.3	232.4	8.3	100.0	10.3	133.1
6.4	174.4	8.4	115.0	10.4	181.4
6.5	98.6	8.5	372.1	10.5	149.8
6.6	104.3	8.6	396.3	10.6	128.8



第1図 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺消長（大山町）

第4表 フェロモントラップによるコナガ雄成虫の誘殺数（病害虫発生状況調査ほ場）

大山町下甲					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	8.6	7.1	12.7	9.1	3.6
5.2	9.0	7.2	3.3	9.2	1.4
5.3	10.7	7.3	2.1	9.3	3.6
5.4	16.4	7.4	2.7	9.4	3.1
5.5	23.3	7.5	4.6	9.5	3.5
5.6	45.0	7.6	7.4	9.6	6.3
6.1	47.4	8.1	1.4	10.1	3.7
6.2	37.1	8.2	1.8	10.2	6.4
6.3	30.9	8.3	1.7	10.3	9.4
6.4	45.6	8.4	0.8	10.4	5.0
6.5	70.0	8.5	5.0	10.5	6.9
6.6	26.4	8.6	6.0	10.6	8.1



第2図 フェロモントラップによるコナガ雄成虫の誘殺消長（大山町）

第5表 巡回調査ほ場における発病調査（黒腐病、べと病、軟腐病、黒すす病）

地区	調査月日	調査 ほ場数	黒腐病					べと病					軟腐病					黒すす病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
大山	5.14	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	8.29	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.25	4	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	10.28	4	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
北栄	5.14	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.29	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.25	3	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	10.28	3	0	0	0	2	2	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
合計	5.14	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	8.29	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.25	7	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	10.28	7	0	0	0	5	6	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6

第6表 巡回調査ほ場における発生調査（コナガ、アオムシ、ヨトウガ・ハスモンヨトウ）

地区	調査月日	調査 ほ場数	コナガ					アオムシ					ヨトウガ・ハスモンヨトウ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
大山	8.29	4	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	10.28	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
北栄	8.29	3	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	10.28	3	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	8.29	7	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	10.28	7	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2

第7表 巡回調査ほ場における発生調査（ネキリムシ、ハイマダラノメイガ）

地区	調査月日	調査 ほ場数	ネキリムシ					ハイマダラノメイガ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
大山	8.29	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.28	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北栄	8.29	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.28	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8.29	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10.28	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

エ. ネ ギ

a. 県予察ほ場における調査（東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

シロイチモジヨトウ						ネギコガ					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	0	7.1	9.4	9.1	29.5	5.1	0	7.1	69.6	9.1	19.7
5.2	2.6	7.2	5.6	9.2	22.5	5.2	0	7.2	111.3	9.2	15.8
5.3	4.4	7.3	8.3	9.3	77.9	5.3	0	7.3	80.0	9.3	3.6
5.4	13.3	7.4	27.2	9.4	63.7	5.4	0	7.4	77.0	9.4	11.7
5.5	8.2	7.5	31.5	9.5	47.6	5.5	1.0	7.5	70.6	9.5	26.1
5.6	7.5	7.6	36.0	9.6	20.7	5.6	1.0	7.6	57.4	9.6	62.1
6.1	5.0	8.1	6.7	10.1	56.1	6.1	0	8.1	20.8	10.1	36.4
6.2	5.7	8.2	5.8	10.2	51.3	6.2	0	8.2	7.7	10.2	24.6
6.3	11.7	8.3	5.6	10.3	30.7	6.3	0	8.3	4.4	10.3	16.4
6.4	14.2	8.4	30.0	10.4	2.9	6.4	0.3	8.4	2.5	10.4	27.1
6.5	8.3	8.5	30.0	10.5	5.0	6.5	1.7	8.5	15.8	10.5	18.6
6.6	15.0	8.6	37.0	10.6	11.1	6.6	7.1	8.6	24.2	10.6	13.4

第2表 黄色粘着トラップによるアザミウマ類成虫の誘殺数（県予察ほ場）

月・半旬	虫数	月・半旬	虫数	月・半旬	虫数
5.1	0	7.1	5.6	9.1	0.7
5.2	4.9	7.2	7.5	9.2	3.3
5.3	8.1	7.3	1.7	9.3	2.9
5.4	0	7.4	3.3	9.4	1.1
5.5	0	7.5	3.1	9.5	1.7
5.6	0	7.6	0.9	9.6	8.6
6.1	0	8.1	1.7	10.1	1.7
6.2	3.6	8.2	0.3	10.2	0.6
6.3	1.4	8.3	0	10.3	1.4
6.4	0	8.4	5.8	10.4	0
6.5	0	8.5	5.8	10.5	0.9
6.6	2.9	8.6	2.3	10.6	1.1

注) 黄色粘着トラップ10cm×10cm 当り虫数

b. 一般ほ場における調査

第3表 巡回調査ほ場の概要

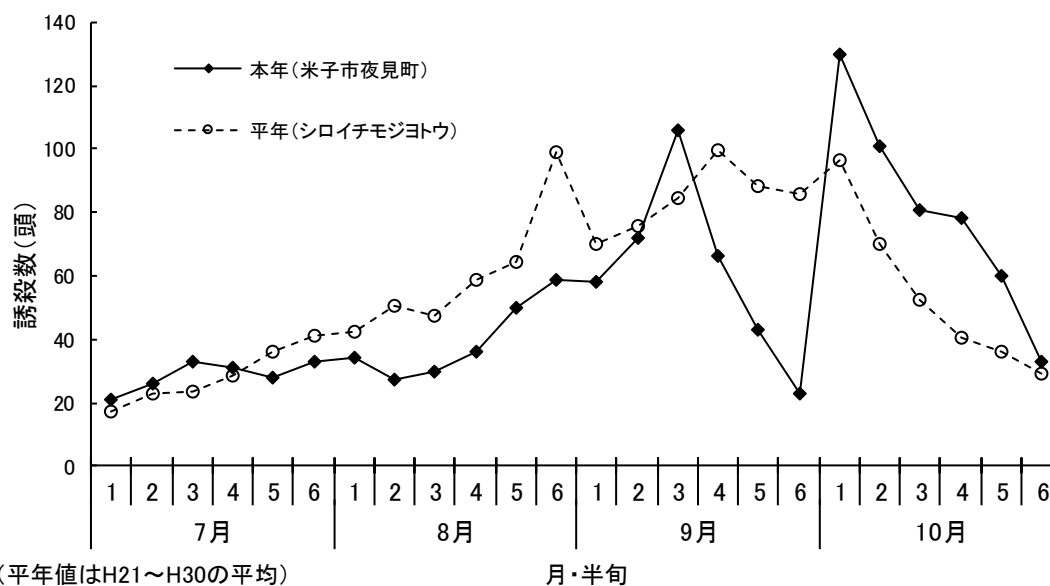
地 区	調査場所	調査ほ場数
米 子	米子市 富益	5
境 港	境港市 渡町	2
	新屋町	3

第4表 フェロモントラップ調査地点の設定

設置場所	調査期間	対象害虫	トラップの種類
米子市 夜見町 (病害虫発生状況調査ほ)	8月1日～ 10月31日	シロイチモジヨトウ	SEトラップ

第5表 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウ雄成虫の誘殺数

米子市夜見町			
月・半月	誘殺数	月・半月	誘殺数
7.1	20.6	9.1	57.9
7.2	25.5	9.2	72.1
7.3	32.9	9.3	106.4
7.4	31.4	9.4	65.9
7.5	27.6	9.5	42.6
7.6	33.4	9.6	22.9
8.1	33.6	10.1	130.0
8.2	27.1	10.2	101.3
8.3	30.1	10.3	81.3
8.4	35.7	10.4	77.9
8.5	50.0	10.5	60.1
8.6	59.3	10.6	33.4



第1図 フェロモントラップによるシロイチモジヨトウ雄成虫の誘殺消長(米子市夜見町)

第6表 巡回調査ほ場における発病調査（さび病、黒斑病、萎縮病、べと病）

地区	調査 月日	調査 ほ場数	さび病					黒斑病					萎縮病					べと病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
米子	4.11	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5.22	5	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.20	5	-	-	-	-	-	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	7.22	5	-	-	-	-	-	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	8.28	5	-	-	-	-	-	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	9.26	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
境港	4.11	5	0	0	0	1	1	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	5.22	5	0	0	1	2	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	6.20	5	-	-	-	-	-	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	7.22	5	-	-	-	-	-	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	8.28	5	-	-	-	-	-	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	9.26	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4.11	10	0	0	0	1	1	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5.22	10	0	0	2	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	6.20	10	-	-	-	-	-	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	7.22	10	-	-	-	-	-	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	8.28	10	-	-	-	-	-	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-
	9.26	10	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注) 表中の「-」は調査対象でないことを示す。

第7表 巡回調査ほ場における発病調査（軟腐病、萎凋病、白絹病）

地区	調査 月日	調査 ほ場数	軟腐病					萎凋病					白絹病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
米子	6.20	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.22	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	8.28	5	0	0	0	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1
境港	6.20	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.22	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	8.28	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
合計	6.20	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.22	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	8.28	10	0	0	0	2	2	0	0	1	1	2	0	0	0	1	1

第8表 巡回調査ほ場における発生調査（ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ、アブラムシ、ネギコガ）

地区	調査 月 日	調査 ほ場 数	ネギハモグリバエ					ネギアザミウマ					アブラムシ					ネギコガ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
米子	4.11	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5.22	5	0	0	0	2	2	0	0	3	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.20	5	0	0	0	0	0	0	3	1	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.22	5	0	0	0	3	3	0	1	2	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.28	5	0	0	0	3	3	0	1	3	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.26	5	0	0	0	3	3	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
境港	4.11	5	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5.22	5	0	0	0	0	0	0	0	3	2	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	6.20	5	0	0	0	0	0	2	0	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.22	5	0	0	0	0	0	0	2	1	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.28	5	0	0	0	1	1	1	2	2	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.26	5	0	0	0	3	3	0	0	1	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4.11	10	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5.22	10	0	0	0	2	2	0	0	6	4	10	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	6.20	10	0	0	0	0	0	2	3	2	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.22	10	0	0	0	3	3	0	3	3	4	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.28	10	0	0	0	4	4	1	3	5	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.26	10	0	0	0	6	6	0	0	1	9	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第9表 巡回調査ほ場における発生調査（シロイチモジヨトウ、ハスモンヨトウ）

地区	調査 月 日	調査 ほ場 数	シロイチモジヨトウ					ハスモンヨトウ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
米子	5.22	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6.20	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.22	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.28	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.26	5	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
境港	5.22	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6.20	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.22	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.28	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.26	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5.22	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6.20	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7.22	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8.28	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	9.26	10	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0

注) 表中の「-」は調査対象でないことを示す。

オ. イチゴ

第1表 巡回調査ほ場の概要

品 種	調査場所	調査ほ場数
とっておき	東伯郡 湯梨浜町 長瀬	2
章 姫	〃 〃 浅津	3
紅ほっぺ		

第2表 病害虫発生状況調査ほの概要

品 種	調査場所	調査ほ場数
とっておき	倉吉市 沢谷	1
章 姫	東伯郡 湯梨浜町 長瀬	1
	東伯郡 湯梨浜町 上浅津	1

第3表 病害虫発生状況調査ほにおける調査結果

地区	調査 月 日	病害虫名						
		灰色かび病	うどんこ病		炭疽病	アブラムシ類	ハダニ類	ハスモンヨトウ
		発病果率 (%)	発病葉率 (%)	発病果率 (%)	発病株率 (%)	寄生株率 (%)	寄生株率 (%)	幼虫寄生株率 (%)
倉吉	6.20	－	0	－	0	0	0	－
	11.20	0	－	0	0	0	0	0
	1.10	0	－	0	0	0	0	0
湯梨浜 1	6.20	－	0	－	4.0	0	0	－
	11.20	0	－	0	0	0	4.0	8.0
	1.10	0	－	0	0	0	0	4.0
湯梨浜 2	6.11	－	0	－	0	0	0	－
	11.22	0	－	2.2	0	0	12.0	0
	1.13	－	－	1.1	0	0	0	0

注) 表中の「－」は調査対象でないことを示す。

第4表 巡回ほ場における調査結果（うどんこ病、炭疽病）

地区	調査月 日	調査 ほ場数	うどんこ病					炭疽病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
湯梨浜	5.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6.25	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第5表 巡回ほ場における調査結果（アブラムシ類、ハダニ類）

地区	調査月 日	調査 ほ場数	アブラムシ類					ハダニ類				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
湯梨浜	5.27	5	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
	6.25	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

カ. ナガイモ（県予察ほ場：東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによるナガイモコガ雄成虫の誘殺数（東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

ネギコガ誘引剤						コナガ誘引剤					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	0	7.1	12.4	9.1	33.8	5.1	9.3	7.1	46.0	9.1	476.7
5.2	0	7.2	20.6	9.2	36.7	5.2	12.0	7.2	30.0	9.2	13.3
5.3	0	7.3	8.3	9.3	10.7	5.3	13.8	7.3	16.7	9.3	20.0
5.4	0	7.4	10.7	9.4	48.0	5.4	5.8	7.4	66.8	9.4	47.9
5.5	0.5	7.5	15.1	9.5	72.7	5.5	3.7	7.5	186.4	9.5	67.1
5.6	0.5	7.6	36.9	9.6	72.1	5.6	3.4	7.6	737.1	9.6	70.0
6.1	0	8.1	35.8	10.1	30.4	6.1	2.1	8.1	1032.5	10.1	16.3
6.2	0	8.2	16.9	10.2	18.3	6.2	30.0	8.2	450.5	10.2	1.7
6.3	0	8.3	12.2	10.3	15.7	6.3	23.6	8.3	305.0	10.3	0
6.4	0.3	8.4	27.5	10.4	24.3	6.4	17.3	8.4	878.3	10.4	0
6.5	1.7	8.5	30.8	10.5	11.4	6.5	9.2	8.5	664.3	10.5	0
6.6	0	8.6	39.2	10.6	2.6	6.6	70.0	8.6	718.3	10.6	0

キ. ラッキョウ

第1表 巡回調査ほ場の概要

地 区	品 種	調査場所	調査ほ場数
福 部	ラクダ	鳥取市 福部町 細川	2
		〃 〃 海士	1
		〃 〃 浜湯山	2
北 栄		東伯郡 北栄町 東新田場	1
		〃 〃 国坂	1
		〃 〃 西園	3

第2表 巡回調査ほ場における調査結果（白色疫病、灰色かび病）

地区	調査 月 日	調査 ほ場数	白色疫病					灰色かび病				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
福部	31. 3.28	5	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0
	R1.11.27	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	R1. 1.27	5	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0
北栄	31. 3.28	5	0	0	0	4	4	0	0	0	1	1
	R1.11.27	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
	R2. 1.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	31. 3.28	10	0	0	0	8	8	0	0	0	1	1
	R1.11.27	10	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
	R2. 1.27	10	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0

第3表 巡回調査ほ場における調査結果（ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ）

地区	調査 月日	調査 ほ場数	ネギハモグリバエ					ネギアザミウマ				
			程度別ほ場数					程度別ほ場数				
			甚	多	中	少	計	甚	多	中	少	計
福部	31. 3.28	5	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1
	R1.11.27	5	0	0	0	3	3	0	0	0	3	3
	R2. 1.27	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北栄	31. 3.28	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	R1.11.27	5	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
	R2. 1.27	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	31. 3.28	10	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1
	R1.11.27	10	0	0	0	3	3	0	0	0	7	7
	R2. 1.27	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注) 表中の「-」は調査対象でないことを示す。

ク. サトイモ（県予察ほ場：東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	0	7.1	75.5	9.1	269.0
5.2	0.8	7.2	60.6	9.2	315.0
5.3	1.3	7.3	46.7	9.3	364.3
5.4	9.2	7.4	80.3	9.4	278.1
5.5	5.3	7.5	92.6	9.5	204.1
5.6	7.2	7.6	129.4	9.6	137.9
6.1	9.3	8.1	145.8	10.1	395.0
6.2	116.4	8.2	121.2	10.2	351.6
6.3	188.9	8.3	115.0	10.3	190.6
6.4	224.9	8.4	210.0	10.4	235.7
6.5	175.8	8.5	252.0	10.5	237.9
6.6	97.9	8.6	311.0	10.6	245.1

ケ. トマト（県予察ほ場：東伯郡北栄町 園芸試験場内ほ場）

第1表 フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数（県予察ほ場）

タバコガ						オオタバコガ					
月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数	月・半旬	誘殺数
5.1	0	7.1	2.8	9.1	10.0	5.1	0.7	7.1	1.8	9.1	2.2
5.2	0	7.2	3.8	9.2	15.0	5.2	0.3	7.2	0.6	9.2	3.3
5.3	0	7.3	0.8	9.3	9.3	5.3	0	7.3	0	9.3	7.9
5.4	0	7.4	1.7	9.4	4.1	5.4	1.7	7.4	0	9.4	3.6
5.5	1.0	7.5	3.2	9.5	1.6	5.5	0.3	7.5	0	9.5	0.7
5.6	1.6	7.6	10.3	9.6	5.0	5.6	1.1	7.6	0	9.6	0.7
6.1	1.4	8.1	4.2	10.1	13.0	6.1	2.9	8.1	0.8	10.1	5.9
6.2	0.7	8.2	7.1	10.2	14.1	6.2	0.7	8.2	0.2	10.2	14.3
6.3	3.7	8.3	7.8	10.3	12.9	6.3	0.3	8.3	0	10.3	25.0
6.4	4.7	8.4	16.7	10.4	8.6	6.4	0.2	8.4	0	10.4	12.1
6.5	0.8	8.5	8.7	10.5	6.4	6.5	0.8	8.5	0	10.5	16.0
6.6	1.4	8.6	9.7	10.6	4.3	6.6	3.6	8.6	1.3	10.6	23.1

Ⅲ ミバエ類等侵入警戒調査事業

1 事業の目的

新たに国内に侵入し、又は既に国内の一部に存在している有害動物又は有害植物がまん延して有用な植物に重大な損害を与える恐れが生じる。その前に本県への侵入状況を把握し、これらの駆除又はそのまん延防止に資するため、ミバエ類等侵入警戒調査実施要領の定めるところにより、植物防疫所に協力する。本県では、チチュウカイミバエ、コドリング、火傷病、スイカ果実汚斑細菌病を対象として侵入警戒調査を実施する。

2 令和元年度調査結果

すべての調査地点において、当該病虫害は発見されなかった。

3 対象害虫

	チチュウカイミバエ	コドリング
寄主植物	果樹、果菜類、豆類	ナシ、リンゴ、モモ等
使用トラップ	スタイナー型	S Eトラップ（白）
使用誘引剤	トリメドラルア剤	コドレルア剤
調査方法	フェロモントラップによる誘殺数の確認	
トラップの設置場所	風通しの良い木陰等の地上1.5メートル程度の位置（樹園地等）	
調査地点	農試調査：鳥取市(1)、八頭町(1)、日吉津村(1) 園試調査：北栄町(1) (計4か所)	
調査期間	平成31年4月～令和元年11月	
調査時期	毎月2回、15日間隔	

4 対象病害

	スイカ果実汚斑細菌病	火傷病
寄主植物	スイカなど	ナシ、リンゴ、オウトウなど
調査方法	スイカの育苗期及び果実肥大期から結実期までについて、病徴の有無を確認調査	主な寄主植物（ナシなど）の開花期及び新梢伸長期から果実の肥大期までについて、病徴の有無を確認調査
調査地点	園試調査 倉吉市(2)、北栄町(10) (計12か所)	園試調査 鳥取市、八頭町、倉吉市、湯梨浜町、北栄町、琴浦町、大山町、米子市、南部町 (計25か所)
調査期間	平成31年2月～令和元年6月	平成31年4月～令和元年11月

付表 平成 31 年・令和元年 半旬別気象表

1 鳥取市（鳥取地方気象台）

月	半旬	気 温 (℃)					降水量 (mm)		日照時間 (h)		
		平 均		最 高		最 低					
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1 月	1	4.9	4.8	9.1	8.6	1.7	1.5	17.5	32.0	15.7	11.3
	2	4.9	4.4	8.4	8.2	1.0	1.2	3.0	33.9	6.4	11.0
	3	5.2	4.2	10.7	7.9	1.2	1.0	1.0	34.8	16.2	11.0
	4	5.3	3.8	9.3	7.6	2.0	0.6	55.5	33.0	8.4	11.1
	5	5.9	3.5	10.1	7.3	1.9	0.4	6.5	31.6	15.3	11.5
	6	4.7	3.3	8.7	7.1	1.1	0.2	35.0	38.3	14.0	14.2
平均 (合計)		5.2	4.0	9.4	7.8	1.5	0.8	118.5	203.6	76.0	70.1
2 月	1	6.8	3.5	12.4	7.4	1.8	0.2	9.0	29.9	13.5	12.3
	2	5.8	4.0	10.0	8.1	2.5	0.5	15.0	27.7	10.1	13.2
	3	4.5	4.4	8.2	8.7	1.5	0.8	15.5	28.1	8.5	13.7
	4	7.0	4.6	11.3	8.9	3.1	0.9	44.5	28.9	11.4	14.9
	5	7.7	4.9	13.1	9.2	3.0	1.0	0.0	28.4	33.1	16.1
	6	7.7	5.2	11.7	9.6	3.1	1.2	11.5	16.2	9.8	10.1
平均 (合計)		6.6	4.4	11.1	8.7	2.5	0.8	95.5	159.2	86.4	80.3
3 月	1	7.9	5.6	12.9	10.2	3.1	1.5	23.0	25.0	20.6	17.6
	2	9.1	6.4	13.5	11.2	4.5	2.0	37.0	22.9	22.0	18.9
	3	7.1	7.2	11.9	12.2	3.3	2.5	17.5	22.1	12.9	20.1
	4	8.7	7.9	15.1	13.0	2.7	3.1	14.0	22.3	25.9	21.2
	5	9.3	8.5	14.5	13.6	5.3	3.5	9.0	22.5	14.1	21.7
	6	10.6	9.2	17.2	14.4	4.9	4.1	48.0	25.6	27.9	27.5
平均 (合計)		8.8	7.5	14.2	12.4	4.0	2.8	148.5	140.4	123.4	127.0
4 月	1	8.0	10.4	13.4	15.8	2.9	5.1	28.0	19.4	33.9	25.4
	2	11.4	11.6	16.8	17.1	6.9	6.2	23.0	18.6	33.0	27.0
	3	10.8	12.6	16.2	18.1	5.3	7.2	7.5	19.3	36.0	27.9
	4	14.0	13.5	21.1	19.1	6.8	8.0	0.5	19.3	45.0	29.3
	5	17.7	14.5	22.7	20.2	12.1	8.9	15.5	17.5	22.8	31.2
	6	12.5	15.4	16.8	21.3	8.4	9.8	45.0	16.2	10.3	32.7
平均 (合計)		12.4	13.0	17.8	18.6	7.1	7.5	119.5	110.3	181.0	173.5
5 月	1	17.0	16.4	23.9	22.3	11.2	10.8	0.5	18.1	47.2	32.6
	2	15.7	16.9	22.8	22.7	8.4	11.5	21.0	22.1	49.1	31.8
	3	18.6	17.2	25.7	22.8	11.5	11.9	0.0	24.4	48.8	31.2
	4	22.1	17.7	27.1	23.2	17.2	12.5	15.0	22.5	31.8	31.6
	5	20.1	18.4	28.5	23.9	12.5	13.3	3.0	19.5	61.3	32.6
	6	20.9	19.2	28.2	24.7	14.8	14.2	11.5	21.1	41.3	40.0
平均 (合計)		19.1	17.6	26.0	23.3	12.6	12.4	51.0	127.7	279.5	199.8
6 月	1	22.7	20.0	29.4	25.4	16.6	15.2	0.0	16.5	47.5	32.7
	2	21.2	20.8	26.2	26.0	17.1	16.1	40.5	15.8	17.7	31.0
	3	20.5	21.4	25.4	26.5	16.6	17.1	72.0	17.6	22.8	28.8
	4	21.2	22.1	26.3	26.8	16.9	18.1	5.0	24.6	39.2	25.3
	5	21.4	22.6	26.8	27.1	17.9	19.1	17.5	34.7	22.9	20.9
	6	24.6	23.2	28.0	27.5	21.3	19.8	32.5	40.6	12.1	19.3
平均 (合計)		21.9	21.7	27.0	26.6	17.7	17.6	167.5	149.8	162.2	158.0

月半旬		気 温 (℃)						降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		平 均		最 高		最 低					
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
7 月	1	24.2	24.0	28.8	28.3	21.1	20.6	2.5	39.6	15.6	20.5
	2	24.0	24.7	28.7	29.1	20.9	21.3	19.5	40.1	17.0	21.4
	3	23.5	25.3	27.5	29.8	21.1	21.9	30.0	43.0	14.0	22.1
	4	25.0	26.0	28.8	30.7	22.0	22.3	64.0	37.2	20.7	26.2
	5	28.0	26.7	32.5	31.6	24.2	22.8	32.0	24.9	28.0	31.4
	6	29.3	27.2	34.9	32.3	25.3	23.2	6.5	19.6	50.8	41.7
平均 (合計)		25.7	25.7	30.2	30.3	22.4	22.0	154.5	204.4	146.1	163.3
8 月	1	29.7	27.5	36.1	32.6	25.3	23.3	0.0	13.8	51.8	36.4
	2	30.4	27.5	36.5	32.7	25.6	23.4	0.0	15.3	47.7	35.6
	3	30.9	27.3	37.0	32.6	26.0	23.3	0.0	18.6	37.2	33.7
	4	27.6	27.0	32.2	32.2	24.7	23.0	38.0	21.5	21.8	31.9
	5	26.2	26.6	31.2	31.8	22.6	22.5	35.0	22.3	17.3	31.1
	6	24.9	26.1	29.3	31.3	21.5	22.0	60.0	26.1	26.3	36.7
平均 (合計)		28.3	27.0	33.7	32.2	24.3	22.9	133.0	117.6	202.1	205.4
9 月	1	26.3	25.2	31.2	30.2	22.8	21.2	12.5	25.8	22.9	28.3
	2	29.3	24.1	34.9	29.0	24.8	20.2	6.0	31.9	46.1	25.1
	3	25.4	23.1	30.7	27.9	21.5	19.2	5.0	35.9	29.5	23.1
	4	22.4	22.2	27.5	27.0	18.0	18.3	7.0	37.0	27.6	22.4
	5	20.4	21.1	24.9	25.9	16.9	17.1	47.0	35.5	10.3	21.7
	6	23.8	20.1	29.3	24.9	19.5	16.0	1.5	32.2	18.8	21.2
平均 (合計)		24.6	22.6	29.8	27.5	20.6	18.7	79.0	198.3	155.2	141.8
10 月	1	23.8	19.1	27.5	24.1	20.7	14.9	16.5	28.2	17.2	21.7
	2	18.5	18.3	24.6	23.4	12.7	13.9	19.5	25.2	30.7	22.9
	3	18.7	17.4	22.3	22.7	15.4	12.9	89.5	24.5	9.9	24.4
	4	16.5	16.3	20.5	21.6	12.5	11.7	37.0	24.3	16.3	25.2
	5	17.4	15.2	20.3	20.6	15.2	10.7	50.0	23.7	5.7	24.6
	6	16.5	14.4	22.3	19.8	12.7	9.9	2.5	28.0	35.9	27.8
平均 (合計)		18.6	16.8	22.9	22.0	14.9	12.3	215.0	153.9	115.7	146.6
11 月	1	13.7	13.8	19.6	19.1	8.9	9.2	7.5	23.5	26.7	22.1
	2	13.2	13.1	20.0	18.2	7.8	8.7	2.5	24.2	37.0	20.5
	3	13.3	12.1	19.3	16.9	7.8	7.9	26.0	25.8	23.8	18.4
	4	12.6	10.9	17.2	15.7	9.0	6.8	18.0	26.0	8.8	17.1
	5	11.3	10.1	17.0	14.8	6.6	5.9	9.5	26.3	15.6	16.4
	6	9.0	9.3	13.1	13.9	5.2	5.2	24.0	28.5	14.1	15.7
平均 (合計)		12.2	11.6	17.7	16.4	7.6	7.3	87.5	154.3	126.0	110.2
12 月	1	8.7	8.5	11.4	13.1	4.9	4.5	47.0	31.3	1.3	15.5
	2	6.7	7.8	11.4	12.2	2.7	3.9	28.0	32.7	20.4	15.4
	3	8.0	7.0	12.6	11.3	3.5	3.3	14.5	32.1	11.6	14.5
	4	9.4	6.4	13.0	10.4	5.4	2.7	30.5	30.3	11.4	13.7
	5	7.6	5.9	12.7	9.9	3.4	2.4	6.0	29.5	16.8	13.3
	6	8.6	5.4	12.8	9.3	4.9	2.0	41.0	36.8	8.3	15.0
平均 (合計)		8.2	6.8	12.3	11.0	4.1	3.1	167.0	192.7	69.8	87.4

2 北栄町（園芸試験場）

平年値：昭和 52 年～平成 30 年の平均値
降水量・日照時間：倉吉アメダス観測データ

月 半旬		気 温 (℃)						降水量 (mm)		日照時間 (h)	
		平 均		最 高		最 低					
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	(平年)	本年	(平年)
1 月	1	6.6	4.9	7.0	8.5	6.5	1.5	20.0	27.7	14.2	12.6
	2	7.3	4.8	7.8	9.0	7.1	1.2	3.0	25.9	10.1	14.8
	3	7.4	4.1	7.8	8.0	7.2	0.8	0.0	30.0	17.3	13.4
	4	7.4	4.1	7.8	8.1	7.3	0.7	34.5	24.2	13.1	13.7
	5	7.7	3.4	8.1	7.4	7.6	0.1	3.5	27.9	16.4	13.8
	6	6.9	3.7	7.3	7.9	6.7	0.2	29.5	26.2	16.2	19.0
平均 (合計)		7.2	4.2	7.6	8.2	7.1	0.8	90.5	161.8	87.3	87.2
2 月	1	5.9	3.3	11.3	7.4	0.6	-0.1	6.5	22.1	16.0	14.6
	2	5.1	3.9	9.0	8.4	2.0	-0.1	13.5	23.3	9.6	17.5
	3	4.1	4.7	8.0	9.4	0.9	0.7	5.5	21.2	10.4	16.3
	4	6.0	4.1	11.1	8.8	1.7	0.1	52.0	23.6	13.7	17.7
	5	6.7	4.9	11.6	9.2	1.3	1.1	0.0	19.1	31.6	18.2
	6	6.4	5.3	10.1	10.2	1.4	0.8	10.5	12.0	7.6	13.5
平均 (合計)		5.7	4.4	10.2	8.9	1.3	0.4	88.0	121.3	88.9	97.8
3 月	1	6.9	5.7	11.8	10.4	2.3	1.4	22.5	23.4	25.4	20.0
	2	8.0	6.3	13.1	11.6	3.5	1.6	26.5	16.2	21.1	21.2
	3	6.6	6.9	11.5	12.4	2.0	1.7	11.5	17.6	17.0	23.8
	4	7.8	7.9	14.8	13.3	1.2	2.6	18.5	18.1	28.8	24.7
	5	8.5	7.8	14.1	13.1	4.1	2.7	11.5	23.1	12.2	24.6
	6	9.8	8.9	16.9	14.2	3.5	3.3	32.0	20.6	28.9	32.8
平均 (合計)		7.9	7.3	13.7	12.5	2.8	2.2	122.5	119.1	133.4	147.1
4 月	1	7.4	10.0	14.3	15.7	1.2	4.3	23.0	17.1	35.7	31.1
	2	10.2	11.4	15.6	17.0	4.8	5.9	28.5	17.4	32.1	27.8
	3	9.5	11.7	14.6	16.9	4.3	6.1	7.5	18.6	34.3	29.8
	4	12.4	12.8	18.8	18.7	5.3	7.2	2.0	19.2	42.5	33.7
	5	16.5	13.6	26.1	19.1	10.8	8.2	22.5	14.0	24.8	34.4
	6	11.8	14.8	15.6	20.8	8.4	8.5	54.5	12.9	9.8	37.9
平均 (合計)		11.3	12.4	17.5	18.0	5.8	6.7	138.0	99.2	179.2	194.8
5 月	1	15.6	15.7	33.8	21.3	9.2	9.8	2.5	14.0	47.3	34.5
	2	15.4	16.4	34.2	22.0	7.2	10.8	3.5	16.7	48.5	35.4
	3	18.0	16.4	50.8	21.7	9.9	10.8	0.5	29.3	50.1	32.7
	4	24.7	16.9	107.9	22.6	15.5	11.1	15.0	22.0	31.7	36.6
	5	28.8	17.9	185.3	23.5	11.0	12.2	0.0	14.3	63.9	37.7
	6	25.1	18.6	123.5	23.9	13.4	13.4	6.5	20.3	39.4	41.3
平均 (合計)		21.3	17.0	89.3	22.5	11.0	11.4	28.0	116.7	280.9	218.2
6 月	1	25.3	19.2	81.0	24.7	16.5	13.9	0.0	16.5	49.1	37.8
	2	28.6	20.1	126.6	25.0	18.4	15.3	31.0	17.5	12.2	33.1
	3	29.6	20.6	149.1	25.3	17.5	16.2	47.0	16.4	23.2	31.7
	4	23.8	21.6	92.8	26.1	16.1	17.5	5.0	23.8	34.9	29.8
	5	18.7	21.7	23.6	25.9	14.9	18.1	23.0	45.6	22.8	24.5
	6	22.7	22.8	26.9	26.7	19.6	19.4	24.5	43.2	12.4	23.5
平均 (合計)		24.8	21.0	83.3	25.6	17.2	16.7	130.5	161.9	154.6	180.4

月 半旬	気 温 (℃)						降水量 (mm)		日照時間 (h)		
	平 均		最 高		最 低						
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
7 月	1	21.9	23.6	25.7	27.7	19.2	20.3	0.5	44.6	19.8	24.1
	2	21.3	24.2	25.3	28.5	18.5	20.4	44.5	32.1	8.7	28.2
	3	21.8	25.1	25.8	29.4	19.3	21.6	26.5	42.4	16.6	24.8
	4	22.8	25.2	25.9	29.6	20.2	21.5	67.5	34.6	19.2	31.3
	5	26.0	26.4	31.2	31.1	22.9	22.4	32.5	18.5	23.2	37.0
	6	26.9	26.7	32.3	31.4	22.9	22.6	0.0	13.3	52.4	46.2
平均 (合計)	23.5	25.2	27.7	29.6	20.5	21.5	171.5	185.6	139.9	191.6	
8 月	1	26.9	27.6	31.6	31.8	23.0	22.8	0.0	16.9	54.4	40.7
	2	27.6	26.7	32.9	31.5	23.3	22.6	1.0	22.7	40.7	36.6
	3	27.2	26.5	31.9	31.4	23.2	22.6	4.0	22.2	41.7	34.7
	4	25.2	26.2	30.1	31.1	22.4	22.4	35.0	18.0	19.5	35.5
	5	24.0	25.9	29.1	30.6	20.2	21.9	28.5	26.0	17.5	30.8
	6	22.6	25.5	27.0	30.5	18.9	21.6	85.0	28.1	26.8	38.7
平均 (合計)	25.6	26.4	30.4	31.2	21.8	22.3	153.5	133.9	200.6	217.1	
9 月	1	24.0	24.6	28.6	29.4	20.7	20.5	26.5	39.6	19.8	31.7
	2	27.5	23.3	32.3	27.9	24.0	19.5	2.5	44.5	40.1	26.0
	3	24.2	22.8	29.1	27.4	20.4	18.9	13.5	32.9	23.7	25.9
	4	21.4	21.9	26.1	26.6	17.0	17.8	10.0	41.1	20.5	26.3
	5	19.8	20.7	24.4	25.3	16.5	16.7	40.5	37.3	10.8	23.2
	6	22.0	19.9	27.2	24.6	18.3	15.6	3.5	42.2	17.1	24.7
平均 (合計)	23.2	22.2	28.0	26.9	19.5	18.2	96.5	237.6	132.0	157.7	
1 0 月	1	22.8	18.9	26.3	23.9	19.6	14.3	13.5	26.8	24.9	25.0
	2	18.2	18.2	23.5	23.3	12.7	13.7	10.0	22.7	29.5	26.7
	3	15.5	17.5	19.4	22.7	12.4	12.7	16.5	28.2	10.3	25.5
	4	15.2	16.1	18.9	21.5	11.0	11.1	25.0	37.4	16.8	27.8
	5	16.3	15.2	20.0	20.8	14.3	10.3	38.0	25.6	5.2	27.0
	6	14.4	14.6	21.1	19.8	9.0	9.5	0.0	21.7	38.7	29.1
平均 (合計)	17.1	16.8	21.5	22.0	13.2	11.9	103.0	162.5	125.4	161.0	
1 1 月	1	11.3	13.5	17.8	19.1	5.6	8.5	2.5	28.6	29.3	24.2
	2	13.0	13.6	18.4	18.8	8.5	8.9	3.5	21.6	33.2	22.8
	3	10.8	12.1	17.9	17.0	5.2	7.7	13.5	32.7	22.9	18.1
	4	10.0	10.6	14.8	15.8	6.9	6.3	13.5	22.0	9.4	18.1
	5	10.2	10.0	16.1	15.3	5.6	5.4	10.5	20.7	14.3	19.4
	6	7.9	9.4	12.4	14.0	3.1	5.2	23.0	30.4	14.1	16.7
平均 (合計)	10.5	11.5	16.2	16.7	5.8	7.0	66.5	155.9	123.2	119.4	
1 2 月	1	5.6	8.5	8.5	13.6	3.4	4.1	31.0	23.4	2.0	18.4
	2	6.9	7.7	13.5	12.3	2.1	3.7	17.0	26.3	18.0	16.4
	3	6.0	7.0	11.7	11.3	0.9	3.3	4.0	28.4	11.0	14.6
	4	7.6	6.3	12.1	10.5	4.0	2.6	38.5	22.5	11.7	14.9
	5	7.0	6.4	12.5	10.6	3.2	2.6	11.5	22.6	17.2	15.0
	6	6.0	5.2	10.8	9.3	1.8	1.7	30.0	27.6	7.7	17.4
平均 (合計)	6.5	6.9	11.5	11.3	2.6	3.0	132.0	150.9	67.6	96.7	

＜本業務年報中の表における注意事項＞

表中に記載されている「-」および「空欄」は、「調査未実施」もしくは「データの蓄積年数が少ないことによる平年値の省略」を示す。

鳥 取 県 病 害 虫 防 除 所

〒680－1142 鳥取市橋本2 6 0

TEL：(0 8 5 7) 5 3－1 3 4 5

FAX：(0 8 5 7) 5 3－0 7 2 3

E-mail：byougaichu@pref.tottori.lg.jp

<ホームページアドレス>

<http://www.jppn.ne.jp/tottori/>
